



「市民の目線に立った
金沢パブリックアートプロジェクト」
～市民の目利きを高め、未来の旦那衆を期待して～
平成 18 年度活動報告書



平成 18 年 7 月
都市環境デザイン会議
北陸ブロック

目次

第1章. はじめに	1
1－1. プロジェクトの目的	
1－2. プロジェクトの進め方	
1－3. プロジェクトの体制	
第2章. パブリックアートについて	4
2－1. パブリックアートとは	
2－2. パブリックアートの歴史背景	
2－3. パブリックアートの現状	
2－4. 金沢のパブリックアート	
第3章. 今年度のパブリックアート評価	9
3－1. 評価対象の選定	
3－2. 評価項目と評価シート	
3－3. 評価の手順と参加者	
第4章. 評価データシート	18
4－1. 評価データシートについて	
4－2. 評価データシートのリスト	
第5章. 分析とまとめ	84
5－1. パブリックアート評価の分析	
5－2. まとめと今後の課題	
5－3. 参考文献・URL	
5－4. 報告書の執筆者	

第1章. はじめに

1-1. プロジェクトの目的

金沢は、江戸時代には加賀百万石の城下町として繁栄し、前田家の庇護のもと文化を中心にまちを構築し、質の高いまちづくりを展開してきた。またそれは、城下町の居住者である旦那衆によって引き継がれ守られてきた。しかしながら、高度成長期の都市開発により市街地が拡大し、都市としての文化の質が薄まってきているという危機意識が芽生えている。このような状況に対応し、金沢市、地元財界、学識経験者などがそれぞれさまざまな提案を行いつつ改善を目指している。

これらのうちの一つの動きとして、昨年10月には、金沢で現代美術館（「金沢21世紀美術館」）がオープンし、予想を上回る反響を得ており、市民にとってアートがより身近なものへとなっている。また、金沢駅から香林坊へ至る中心部の国道157号は、「アートアベニュー」と命名されアートのまちづくりが進められている。さらには、市内には金沢美術工芸大学もありアーティストが多く、金沢市民芸術村や湯涌創作の森など創作活動の場も整備されていることも特徴である。

一方、金沢においては、これまでパブリックアートの設置には明確な基準や選定の手順がないまま、設置者や製作者の成り行きと思惑で進められてきた。このため、作品の質やデザイン、ランドスケープへの配慮、設置の意義等に関して十分な精査や市民への理解がないまま進められてきたとすることができる。本来、パブリックアートとは、パブリック（一般市民）を対象とした芸術であることから、その受け手である市民のコンセンサスを得て設置されていくべきものであると考える。これまでの古いパブリックアートを見直し、歴史的な町並みや文化資産に加えて、美術館を中心にまち全体でアートを展開する時期にきている。金沢市においても、この状況を改善すべく学識経験者などによる「金沢まちなか彫刻設置検討委員会」を設立し、「金沢まちなか彫刻設置基本方針」を定め、今後設置するパブリックアートに対する一定の基準と手続きを設けている。

そこで、都市環境デザイン会議北陸ブロック（以下 JUDI 北陸と略す）では、これら行政の動きも見据え、市民の目を新しいアートに向けさせ、また、市民とアーティストとの交流を深めることにより、金沢の新しい旦那衆が生まれてくることを期待しつつ、本プロジェクトを推進することとする。



図 1-1. 金沢 21 世紀美術館

（出典：参照 URL－7）



図 1-2. 湯涌創作の森

（出典：参照 URL－7）

本プロジェクトの効果としては、以下のものが考えられる。

1. 金沢のアートを活かしたまちづくりに寄与することができ、アートのまちとしてのアイデンティティが高まることが考えられる。
2. パブリックアートという親しみやすい対象によって、新しい市民参加のかたち生まれることが期待される。
3. パブリックアートの認知度を高めることにより、まちなかのランドマーク機能を高め、市民や観光客の回遊性が増すことに寄与できる。
4. 地元のアーティストに新たな発表の場を提供することにより、アーティストと市民との交流が深まり、新たなアーティストの発掘にもつながることが望まれる。

1-2. プロジェクトの進め方

プロジェクトは以下の作業工程に沿って進められた。

- (1) パブリックアートの定義
- (2) パブリックアートの役割と課題
- (3) 海外事例調査
- (4) 金沢におけるパブリックアートのリストアップ
- (5) 設置経緯、製作者などの調査
- (6) 評価対象作品と評価項目の選定
- (7) 現地調査
- (8) パブリックアートのあり方を評価
- (9) 評価の分析と提言発表
- (10) 報告書の作成・まとめ

実際の作業としては、プロジェクトの決定が11月であったこと、また年度末（3月、4月）が都市環境デザイン会議の主要メンバーが所属する大学やコンサルタントの繁忙期であることから、準備作業が12月から1月に、評価の実施が5月から6月に行われた。詳細には以下のスケジュール表にしたがって行った。

表 1-3. 作業のスケジュール

期 間	活 動 内 容
2005 年 12 月	準備作業、組織体制の構築
2006 年 1 月	調査対象のリストアップ、事前現地調査
2～3 月	パブリックアートのあり方を調査
4 月	評価対象のパブリックアートの選定、評価シートの作成
5 月	現地調査による評価実施
6 月	評価結果の分析、プロジェクトのまとめ
7 月	J U D I 総会での報告、報告書作成

1-3. プロジェクトの体制

このプロジェクトは、都市環境デザイン会議北陸ブロックの有志メンバーによる4名のコアチームを中心に企画、運営がなされ、評価に際しては都市環境デザイン会議北陸ブロックの他のメンバー、地元で作家として活動する芸術家、金沢工業大学建築系の学生、まちづくりなどの市民活動に関心のある市民、新聞の記事を見て参加を希望した一般市民などからなるプロジェクトチームによって進められた。



図 1-4. コアチームの会議風景

第2章. パブリックアートについて

2-1. パブリックアートとは

パブリックアートとは、直訳すると「公共の芸術」ということになるが、公立の美術館に収蔵されているものも「公共の芸術」であることから、「公共の場におかれた芸術作品」と訳するのが妥当であろう。しかし訳語が長くなるため、本プロジェクトにおいてもカタカナ語のパブリックアートを使うこととする。

もとは英語の Public Art のことで、Wikipedia によると「パブリックアートは、通常は屋外や万人がアクセス可能な空間である公共領域に計画的に設置・演出されたあらゆる芸術作品を指す。このパブリックアートには、特に芸術の世界、美術館関係者、パブリックアート設置者などにとって、その土地に固有の場所性、地域社会との関係や協働の証としてという特に大きな意味が持たされている。しかし、しばしば素人たちによって単に公開された建物を含む公共空間におかれただけの芸術作品にも拡大解釈されている。 (“The term public art properly refers to works of art in any media that has been planned and executed with the specific intention of being sited or staged in the public domain, usually outside and accessible to all. The term is especially significant within the art world, amongst curators, commissioning bodies and practitioners of public art, to whom it signifies a particular working practice, often with implications of site specificity, community involvement and collaboration. The term is sometimes also misapplied by lay people to include any art which is exhibited in a public space including publicly accessible buildings.”)」と定義されている。しかし、このほかの多くの主要な英語系の辞書（たとえば、Webster's、American Heritage、Reader's など）には記載されておらず、それほど一般的な用語とは言えないようである。

これに反して、国語辞典には比較的取り上げられており、広辞苑にはないものの、マイペディアでは「広場や公園、ビルの前庭など公共の場に設置される作品のこと。」、大辞泉では「ホールの壁画や公園の彫刻など、公共空間を飾る芸術作品。」、三省堂デイリー新語辞典では「公共の空間（公園や市街地など）で表現または成立する芸術の総称。また、その作品。公共芸術。」と定義されている。このことからパブリックアートという言葉そのものは欧米よりもわが国でより使われていると推察できる。

一般的に言われるパブリックアートの範囲としては、屋外の彫刻、壁画、水景、モニュメントなどが含まれるが、広く捉える場合にはストリートファニチャーや街灯、看板、などを含む場合もある。そこで、このプロジェクトにおいては、パブリックアートの範囲をある程度限定するために、以下の基準を満たすものとする。

- ・公共の場（道路、アーケード内、地下通路、広場、公園、自由に出入りできる公共施設の外部空間・公開ホール空間、駅のコンコースなど）に置かれたもの、またはそのような公共空間から鑑賞されることを前提としたものとする（料金を取る美術館内のアート作品や民間施設内のアート作品は除く）。
- ・照明やサイン、ベンチなどアート作品として以外に特定の機能を持つものは除く（座れるアートなどはどちらが主かということになる）。

- ・ 広告や宣伝のために設置されたものは除く（看板や広告物などは除く）。
- ・ 人が入って何らかの経済活動を行うことが出来ないこと（キオスクやエレベータハウス、電話ボックスなどは除く）
- ・ 臨時または一定期間に限定して設置されるものは除く（すなわち展覧会やイベント時のアート作品は除く）。
- ・ 光や音による作品はある程度、視覚による認知を伴い恒常的に鑑賞できるもののみパブリックアートに含める（したがって、単なる音だけとか光だけというものは除く）。

2-2. パブリックアートの歴史背景

欧米では公共の場に記念碑（モニュメント）を設置する伝統があり、古くからの公園や広場、公共施設の前庭には、その地出身の偉人の彫像や、戦勝記念碑などが設置されている。これら自体にも芸術的価値の高いものが多くあり、また芸術家（特に彫刻家）はこのような記念碑に名を残した人が多い。近代のパブリックアートもその延長線上で考えられるようになったと考えられ、20 世紀になると記念碑としてより、その公共空間をより質の高いものにするために設置されるようになってきた。1960 年代から都市の大規模再開発や郊外の面的開発が各地で行われるようになるにつれて、広場や公園など公共空間には何らかのアート作品が設置されることが、開発のプログラムに組み込まれるようになっていった。都市によっては「アートに 1 %（One Percent for Art）」と称する条例を定め、大規模開発の建設予算の 1 %をパブリックアートに充てるということを制度化したところまで現れ、パブリックアートは一気に市民権を獲得するに至った。



図 2-1. アトラス像

NY Rockefeller Center

（出典：<http://www.nycvisit.com/home/index.cfm>）



図 2-2. カルダー彫刻

シカゴ Federal Plaza

（出典：<http://actsofhope.blogspot.com/>）

わが国でパブリックアートのさきがけとなったのは、1961 年の宇部市における現代日本彫刻展であろう。以後、神戸市や長野市、北九州市などで屋外彫刻によるまちづくりが始まり、全国的な広がりを見せ、各地で街角彫刻として公共空間の余地に彫刻を設置したり、建築物の出入り口付近に壁画やレリーフを施すことなどが行われるようになっていった。しかし、このような動

きはやがて形式化し、またアートブローカーなどが取り仕切るなど弊害も見え始めた。また、その場にふさわしくない作品や公共の目に触れさせたくない作品を設置する例も多々あり、しばしば彫刻公害などと呼ばれることもあり、屋外彫刻を中心としたまちづくりは下火になったと見られた。

しかし、日本の経済が繁栄を謳歌する 1980 年代後半になって、自治体の公共施設や公共空間の充実や企業のメセナ活動の活発化が、街角彫刻を超えたパブリックアートとして、1990 年代に入ってから注目を集め 1994 年オープンのファーレ立川（東京都立川市）、1995 年の新宿アイランド（東京都西新宿）に多くのアート作品が設置され話題を集めた。



図 2-3. ファーレ立川

(出典：<http://www.forrent.jp/>)



図 2-4. 新宿アイランド

(出典：<http://loca.ash.jp/>)

2-3. パブリックアートの現状

前項のように発展、普及過程にあるパブリックアートであるが、現状いくつかの問題点を抱えているといわざるを得ない。これらの問題点は、以下に列記するようなさまざまな意見に現れていると考える。

- ・コンペの審査を行った美術評論家が、実際にできあがったモノを見て、「審査時のイメージと違う。」という発言をしたことがあった。したがって、審査の方法についてなども検討する必要がある。
- ・審査員はどうしても特定の人物に偏る傾向があり、また彫刻の専門家だからといって必ずしもパブリックアーツに精通していない場合もあり、能力の問題もある。
- ・パブリックアートの設置場所を常に確保しておかないと、彫刻などにそぐわない場所に設置されてしまうおそれがある。
- ・作品の大きさが設置場所にそぐわない例も多く見られる。審査のときには模型で審査することも多く、正確な大きさを認識できていない。
- ・現在ないジャンルのアートについて、今後取り入れていく際のことを考慮する必要がある。
- ・ヨーロッパなどで多く見られる壁画やレリーフが日本ではほとんど見られないが、これはなぜか。また、設置できる場所や、制作者はあるのか。
- ・全体を通して見ると典型的な彫刻が非常に多いので、動くものなど、作品にバリエーション

がほしい。また、ブロンズが多く色味に乏しいため、絵画などのカラフルなものがもう少し有っても良いと思う。

- ・彫刻の複製品（同じ型を使用した本物）について、全く同じ物が他所にもあると、そのアートの価値が下がってしまう。これを受け入れた側が抑制する方法はあるのか。また、何らかの縛りを設けているのか。
- ・建物とセットで作られるアートは、建物が無くなった際の扱いはどうなるのか。一般的に建物の方が先に無くなる（建て直す）傾向があるので、アートのその後の扱いについて調べてみる必要があると思われる。
- ・音の出る彫刻や動く彫刻などについて、事例など調べるのもよいと思われる。

2-4. 金沢のパブリックアート

金沢はアートのまちづくりを目指しており、パブリックアートに関しても積極的に設置を進めている。市内には、彫刻、壁画、レリーフ、水景施設、ストリートファニチュア、橋、保存建物、休憩施設など、景観の中で添景として機能することを意図して設置されたものが 100 点あまり存在する。そのうち、建物や橋などの工作物を除き、造形作家の制作によるものは 70 点程度と考えられる。

これらの金沢市のパブリックアートは、その多くが彫刻作品であり、壁画やレリーフは極めて少ない。また、抽象的なものが 6 割、具象的なものは 4 割で、その多くは人体塑像である。動物をモチーフとしたものは 3 点にとどまっている。設置されている場所は、多くが金沢駅から広坂までの大通り沿いに集中しており、道路わきのポケットパークや公園、歩道、建物前の広場に置かれているものが多い。

金沢市のパブリックアートは、公園緑地や道路ぎわに彫刻を設置することから始まった。まず、1982 年（昭和 57 年）に金沢 400 年事業の一環として白鳥路を彫刻の道とすることを決め、翌年から 1993 年（平成 5 年）にかけて彫刻 18 点の設置と周辺の修景が行われた。1991 年（平成 3 年度）には、第 11 回金沢彫刻展の優秀作品 3 点を金沢市が購入し、市職員で設置場所を検討し、道路わきの緑地などに設置された。1995 年（平成 7 年）度には金沢南ライオンズクラブの一部寄付によって、新規に開設された緑地に彫刻が設置されるなど、まちなか彫刻設置事業として 1993～1999 年（平成 5～11 年）度にかけて、計 19 点の作品が市街地内に設置された。

2004 年（平成 17 年）度からは、金沢駅もてなしドームと広坂の 21 世紀美術館の完成により、これら二つをつなぐ大通りを「アートアベニュー」と称し、通り沿いの空地や歩道に積極的に彫刻作品を設置していく事業がコンペ方式で行われるようになった。さらには、パブリックアートの案内マップ（図 2-5）を作成するなど市民に親しんでもらえるよう努力もしている。

このようにパブリックアートに対する注目度が向上するのに合わせて、上記のように学識経験者などによる「屋外彫刻設置検討会」を設立し、2005年度に「金沢まちなか彫刻設置基本方針」を定めるなど、今後設置するパブリックアートに対する一定の基準と手続きを設けている。



彫刻作品一覧 Kanazawa Public art

- | | |
|-------------------|---------------|
| ① 会沢パークビル彫刻群 | ② 熟睡(ゆうゆう) |
| ③ 妖鳥 | ④ SPIRAL KAN |
| ⑤ 終わりのなきコンチェルト | ⑥ 彫刻-U |
| ⑦ 樹林の精 | ⑧ 薫風 |
| ⑨ CORPUS MINOR#1 | ⑩ The Sundial |
| ⑪ 碑 | ⑫ FOGA |
| ⑬ 浄 | ⑭ 産生如意 |
| ⑮ アブソープ | ⑯ 森に生きる人 |
| ⑰ まちしるべ | ⑱ 正れ! |
| ⑲ イメージの立女 | ⑳ 四高記念碑 |
| ㉑ 鈴木嘉広見シンボルモニュメント | ㉒ 鉄手 |
| ㉓ 地に... | ㉔ 伸びゆく心の道 |
| ㉕ 察に思う | ㉖ 杜若 |
| ㉗ 健やかに | ㉘ 清流 |
| ㉙ 雨あがり | ㉚ ちいさな願 |
| ㉛ 三文豪像 | ㉜ 高い高い |
| ㉝ 翔 | ㉞ 道の白糸像 |
| ㉟ 夢飛行 | |



⑫ FOGA

阿部守 作
(安江町緑地)

国際コンペ2004 優秀賞

【平成17年】

図 2-5. まちなか彫刻見て歩きマップ

(出典: 参考文献 7)

第3章. 今年度のパブリックアート評価

3-1. 評価対象の選定

今回の調査では、金沢駅東広場もてなしドームから中心繁華街の香林坊へと続く金沢の都心軸と重なって位置づけられている「アートアベニュー」に焦点をあて、ここに設置されているパブリックアートを対象とした。

この「アートアベニュー」は、「アート回廊」、「アートの舞台」として位置づけられ、市民や観光客などが散策しながら彫刻などのアートを楽しめる空間となっている。平成16年には、まちの回遊性向上を図る取り組みの一つとして、「金沢まちなか彫刻作品コンペティション 2004」が実施され、アートアベニュー沿いのポケットパークや公共施設敷地などがその展示スペースとしてあてられ、様々な現代アート作品があらたに設置された。また、沿線の公園などには昭和43年ごろから彫刻が設置されているなど、年代の違いによるパブリックアートの傾向も見ることができる。

現在、アートアベニュー及びその界限には、彫刻・絵・水景施設・照明器具・陶板など様々なパブリックアートが設置されている。今回は現地で実物を見ながらの評価作業を1日で終了させることが可能な点数として、また評価者の集中力が最後まで同様に継続できるだけの数として、32点を選出し、学生のプレ調査による確認作業を経て決定した。

対象作品の選出にあたっては、専門家で協議を行い作品の種別や設置年が偏らないよう、できるだけ広範に選出した。今回、調査の対象にした作品は、次ページの図3-1に一覧を示す。

3-2. 評価項目と評価シート

評価項目は、大きく次の三つの観点から設定した。

- ①「対象作品について」……対象作品そのものに対する評価
- ②「周辺環境について」……作品が置かれている周りの環境に対する評価
- ③「総合的な評価」……対象作品に対する具体的なイメージなどからの評価

この内、①と②については、評価項目をそれぞれ多数の形容詞対として、これを尺度で評価するSD法を採用した。

表3-1. SD法に使用した尺度一覧

対象について	環境について
雰囲気が明るい 硬い スケールが大きい 暖かい 複雑な 新しい 自然な 派手な 動的な 美しい 具象的な 楽しい わかりやすい 好き (周辺環境と)適合した	開放的な 閉鎖的な 明るさが明るい 明らかな暗い 広い 狭い においの無い 臭い 静かな うるさい 好き 嫌い

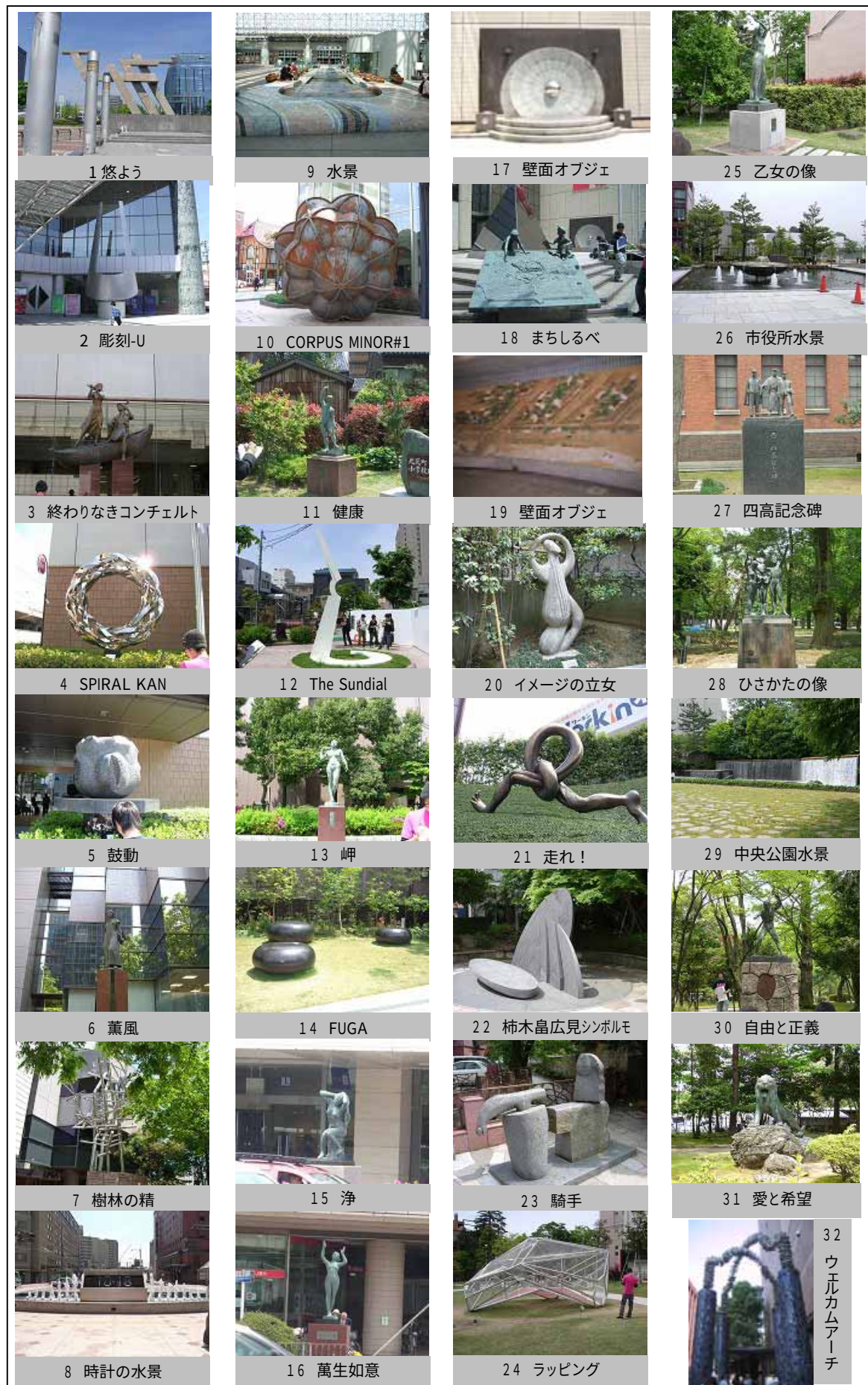


図 3-2. 調査対象位置図 (出典：参考文献 7)

また、③については以下に示す質問項目をもうけ、自由記述による回答も得た。

表 3-3. 各対象への質問項目

これは何に見えますか。
・ここで待ち合わせしたいと思いますか。 はい ・ いいえ
・自分の家の前に置きたいですか。 はい ・ いいえ
・他の人にこの作品について説明できますか。 はい ・ いいえ
・この場所に、このアートは何年間ぐらい設置してよいと思いますか。(今設置されたとして) () 年間
・もしこの場所をあなたが変えてもよいとしたら、どのようにしたいですか。
・この地域の中でもっともパブリックアートとしてよいと感じるものは何ですか。

以下に今回使用した評価シートを、次のページに評価シートの記入例を掲載した。

パブリックアート評価シート

対象名: _____ 評価者: _____

対象作品について

雰囲気が見える |-----| 雰囲気が暗い

暖かい |-----| 柔らかい

スケールが大きい |-----| スケールが小さい

暖かい |-----| 冷たい

複雑な |-----| 単純な

新しい |-----| 古い

自然な |-----| 人工的な

派手な |-----| 地味な

動的な |-----| 静的な

美しい |-----| 醜い

具象的な |-----| 抽象的な

楽しい |-----| つまらない

わかりやすい |-----| わかりにくい

好き |-----| 嫌い

(周辺環境と)適合した |-----| 適合していない

周辺環境について

開放的な |-----| 閉鎖的な

明るさが明るい |-----| 明るさが暗い

広い |-----| 狭い

においの無い |-----| 臭い

静かな |-----| うるさい

好き |-----| 嫌い

コメント

総合的な評価

・これは何に見えますか。

・ここで待ち合わせしたいと思いますか。 はい ・ いいえ

・自分の家の前に置きたいですか。 はい ・ いいえ

・他の人にこの作品について はい ・ いいえ
説明できますか。

・この場所に、このアートは何年間ぐらい
設置してよいと思いますか。 () 年間
(今設置されたとして)

・もしこの場所をあなたが変えてもよいとしたら、
どのようにしたいですか。

・この地域の中でもっともパブリックアートとしてよいと感じ
るものは何ですか。 全体的に、それ以前であればそのためのときとして。

対象名 _____

理由 _____

図 3-4. 評価シート

対象名: 蕨 評定者:

対象作品について

6 5 4 3 2 1

霧囲気が明るい |-----| 霧囲気が暗い
硬い |-----| 柔らかい
スケールが大きい |-----| スケールが小さい
暖かい |-----| 冷たい
複雑な |-----| 単純な
新しい |-----| 古い
自然な |-----| 人工的な
派手な |-----| 地味な
動的な |-----| 静的な
美しい |-----| 醜い
具象的な |-----| 抽象的な
楽しい |-----| つまらない
わかりやすい |-----| わかりにくい
好き |-----| 嫌い
(周辺環境と)適合した |-----| 適合していない

周辺環境について

開放的な |-----| 閉鎖的な
明るさが明るい |-----| 明るさが暗い
広い |-----| 狭い
においの無い |-----| 臭い
静かな |-----| うるさい
好き |-----| 嫌い

コメント

この谷間に彫刻作品の存在が非常にいい
作品の位置が非常にいい(目線より)

総合的な評価

・これは何に見えますか。
女性像(たてまつり)

・ここで待ち合わせたいと思いますか。 はい ・ いいえ

・自分の家の前に置きたいですか。 はい ・ いいえ

・他の人にこの作品について説明できますか。 はい ・ いいえ

・この場所に、このアートは何年間ぐらい設置してよいと思いますか。 (10) 年間
(今設置されたとして)

・もしこの場所をあなたが変えてもよいとしたら、どのようにしたいですか。
金属を素材としてオブジェを設置
(近代的な建物にマッチした作品)

・この地域の中でもっともパブリックアートとしてよいと感じるものは何ですか。 金銭終了後に。それ以前であればそのためのメモとして。

対象名

理由

対象名: 水景 評定者:

対象作品について

6 5 4 3 2 1

霧囲気が明るい |-----| 霧囲気が暗い
硬い |-----| 柔らかい
スケールが大きい |-----| スケールが小さい
暖かい |-----| 冷たい
複雑な |-----| 単純な
新しい |-----| 古い
自然な |-----| 人工的な
派手な |-----| 地味な
動的な |-----| 静的な
美しい |-----| 醜い
具象的な |-----| 抽象的な
楽しい |-----| つまらない
わかりやすい |-----| わかりにくい
好き |-----| 嫌い
(周辺環境と)適合した |-----| 適合していない

周辺環境について

開放的な |-----| 閉鎖的な
明るさが明るい |-----| 明るさが暗い
広い |-----| 狭い
においの無い |-----| 臭い
静かな |-----| うるさい
好き |-----| 嫌い

コメント

総合的な評価

・これは何に見えますか。
水景(静かな水)

・ここで待ち合わせたいと思いますか。 はい ・ いいえ

・自分の家の前に置きたいですか。 はい ・ いいえ

・他の人にこの作品について説明できますか。 はい ・ いいえ

・この場所に、このアートは何年間ぐらい設置してよいと思いますか。 (15) 年間
(今設置されたとして)

・もしこの場所をあなたが変えてもよいとしたら、どのようにしたいですか。
オブジェをマースとして何もなくていいの
開放感をマースでマースで

・この地域の中でもっともパブリックアートとしてよいと感じるものは何ですか。 金銭終了後に。それ以前であればそのためのメモとして。

対象名

理由

図 3-5. 評価シートの記入例

3-3. 評価の手順と参加者

(1) 評価の手順

評価は、評価者が一同に現地へ赴き、作品一つ一つをつぶさに見て、その場で評価シートにそれぞれの項目の評価を書き込み、一作品ごとに全員で移動しながら進めていくといった手順で行った。具体的には、評価者が金沢駅に集合し、パブリックアート評価の主旨と評価の方法・評価シートの内容などについての説明を受け、評価者全員の共通理解を得て実行に移った。

金沢駅界限では、金沢駅西広場、石川県立音楽堂外周、金沢駅東広場もてなしドーム内を見て回り、その後、市街地再開発ビルが建ち並ぶ金沢駅通り・アートアベニューへと歩を進め、通り沿いに設置されているパブリックアートを評価した。途中バス移動、昼食をはさみ午後からは香林坊、広坂界限、21世紀美術館、中央公園を見て回った。

評価参加者は、それぞれ思い思いに遠景・近景、正面・側面・背面などから見たり、触れてみたりしながら熱心に評価を行っていた。また、作品の中には、由来や説明書きが掲示されているものもあり、それを見て評価する参加者もいた。



図 3-6. 評価の様子

(2) 参加者

参加者は、一般市民、建築系学生、専門家の計31名で、その内訳は以下のとおりである。

表 3-7. 評価活動の参加概要

評価主体	男性	女性	計	評価実施日
一般市民	5	8	13	平成18年6月3日
専門家	6	—	6	
建築系学生	11	1	12	平成18年5月15日
計	22	9	31	

この中で、専門家は JUDI 北陸ブロックのメンバーや彫刻の作家、一般市民については、まち歩きを楽しむ市民グループ「かなざわ魅力探偵団」のメンバーをはじめ、以下に示す新聞記事による一般募集を見て応募のあった参加者などとなっている。



図 3-8. 公募の新聞記事（北陸中日新



図 3-9. 評価活動に関する新聞報道（北陸中日新聞）



図 3-10. 評価活動に関する新聞報道（朝日新聞）

街なかの芸術 市民の意見は

美しい？ 醜い？ 楽しい？ つまらない？

32作品見て回り



初企画 評価結果は市へ
金沢市内の公共の場に設置された彫像やオブジェなど「パブリック・アート」が「周囲の景観と調和

赤さびに覆われたオブジェを評価する参加者
金沢市本町一丁目

「金沢市本町一丁目」が「周囲の景観と調和」が取れているか」を市民の目から再評価する試みが三日、初めて行われた。大学生や市民グループのメンバー約三十人が金沢駅から金沢21世紀美術館までの三十二作品を見て回り、「歴史を感じた作品もあり、あつた方がよい」などと率直な意見を出し合った。

この試みは建築家や都市計画の専門家らでつくる「都市環境デザイン会議」北陸ブロックが主催した。一行は「美しい醜い」「楽しいつまらない」といった客観評価など約三十項目が盛り込まれた評価シートを手に、金沢駅から金沢21世紀美術館までの「アートアベニュー」を歩いた。

JR金沢駅前ルキナ金沢横の赤さびに覆われたオブジェには「作品だけでなく土台にもさびが広がっている。汚い」との意見があった。中にはアートとは知らず、いすのように扱われている作品もあった。

県立音楽堂前のおんきモチーフにした作品を見て「改めて見直すまではクワガタかと思っていた」と、作品の意味をようやく理解した参加者もいた。

同ブロック幹事の谷明彦金沢工大教授は「芸術の評価は一部の専門家や愛好家の意見に引っぱられがちだが、公共の場に置く作品は市民の意見も反映すべき」と話した。

評価結果は七月十五日から開かれる定例総会で発表され、金沢市の「市まちなか彫刻設置委員会」に提出される。

図 3-11. 評価活動に関する新聞報道（北国新聞）

第4章. 評価データシート

4-1. 評価データシートについて

今回評価した作品については、評価結果をデータシートとして整理した。データシートは基本的に見開きの2ページで構成されている。1ページ目は、客観的なパブリックアートの現状を示す作品概要、対象写真、位置図を示している。2ページ目は、今回評価を行った結果からその内容を作品評価、環境評価、印象評価、総合評価・コメントから構成されている。以下にその説明を一覧する。

【作品概要】

作者、設置者、設置場所、設置年度、アートとしての区分、材質、規模、設置経緯を金沢市等の公表データや調査記録等から判明した範囲で記入した。

【対象写真】

最も対象がわかりやすい正面からの写真の他、任意の3方向からの写真を掲載した。

【位置図】

航空写真の一部を使用。近辺のランドマークとともに設置位置を○で示した。

【作品評価】

今回の調査時のSD法による評価のうち、作品自体にかかわる形容詞対のいくつかをレーダーチャートによって示した。因子分析結果を参考に「好き」「明るい」「自然な」「暖かい」「動的な」「大きい」「派手な」「わかりやすい」「複雑な」の9形容詞対を選定した。

一般市民、学生、専門家の3属性に分けて示している。

【環境評価】

作品評価と同様にSD法尺度のうち、周辺環境に対する形容詞対をレーダーチャートによって示した。「好き」「開放的な」「うるさい」「臭い」の4形容詞対を示している。

【印象評価】

今回の調査時の自由回答による評価のうち、全体的な印象を示すような事柄について意見を集約して示した。「何に見えますか」及び「この場所をどのようにしたいですか」については、集約された意見毎に人数を示した。「何年設置していても良いですか」については、0年（すなわち無くしたほうが良い）、10年未満、10年以上の3つに区分してその人数比をパイチャートで示した。

【総合評価】

今回の結果の代表的なところを市民に親しみやすい言葉で指標化することを考えた。その結果、「場所にぴったり度」「説明できる度」「待ち合わせしたい度」の3つの指標を考え、5段階評価を星の数で表記することにした。元データは今回調査した結果であり、一般市民、学生、専門家のそれぞれの結果の平均をさらに平均したものを使用した。

「場所にぴったり度」は、SD法の「(周辺環境と) 適合した⇨適合していない」(7段階尺度)に適合したと評価されているものほど星の数が多くなるようにしている。「説明できる度」は、総合評価項目の「他の人にこの作品について説明できますか。」に対する「はい・いいえ」の比率で「はい」の割合が高いものほど星の数が多くなる。「待ち合わせしたい度」は、総合評価項目の「ここで待ち合わせしたいと思いますか。」に対する「はい・いいえ」の比率で「はい」の割合が高いものほど星の数が多くなる。星の数と数値の関係を次ページの表4-1に示す。

表 4-1. 総合評価における星の数と調査データとの対応

星の数	無し	☆	☆☆	☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆☆
場所にぴったり度	-	1～2 未満	2～3 未満	3～4 未満	4～5 未満	5～7 未満
説明できる度	0	1～20%	21～40%	41～60%	61～80%	81～100%
待ち合わせしたい度	0	1～20%	21～40%	41～60%	61～80%	81～100%

【コメント】

コメントは、執筆担当者らによるコメントや、評価シートに書かれた意見の中で特徴的なものを列記した。

4-2. 評価データシートのリスト

次ページから、今回評価した全作品についてのデータシートを示す。一作品当たり 2 ページで、全 32 作品が 64 ページに整理されている。

◆ 作品概要

作 者： 蓮田 修吾郎
 設 置 者： 金沢市
 設置場所： 金沢駅西広場
 設置年度： 1990 年（H2 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ステンレス鋼版
 規 模： H20, W40
 設置経緯： 金沢市制百周年記念事業モニュメントとして設置。

◆ 正面北西側より



◆ 西側より



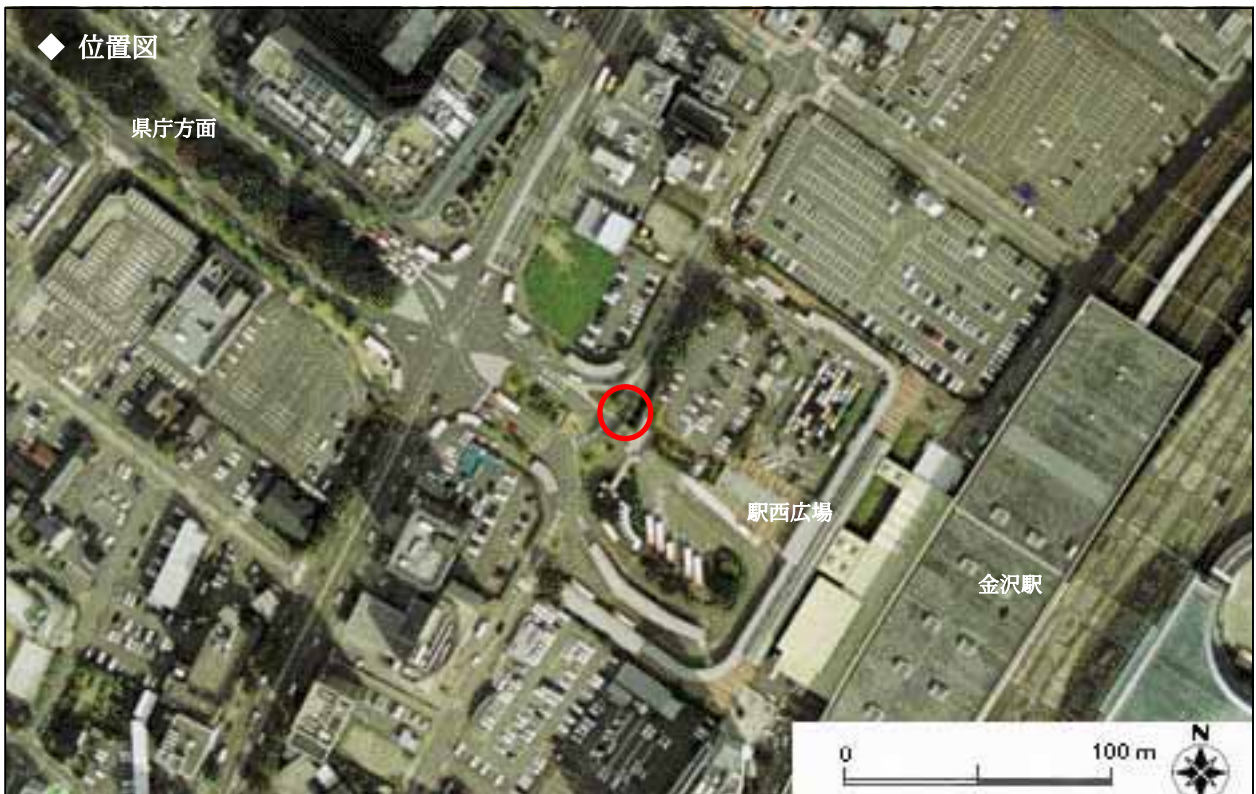
◆ 北側より

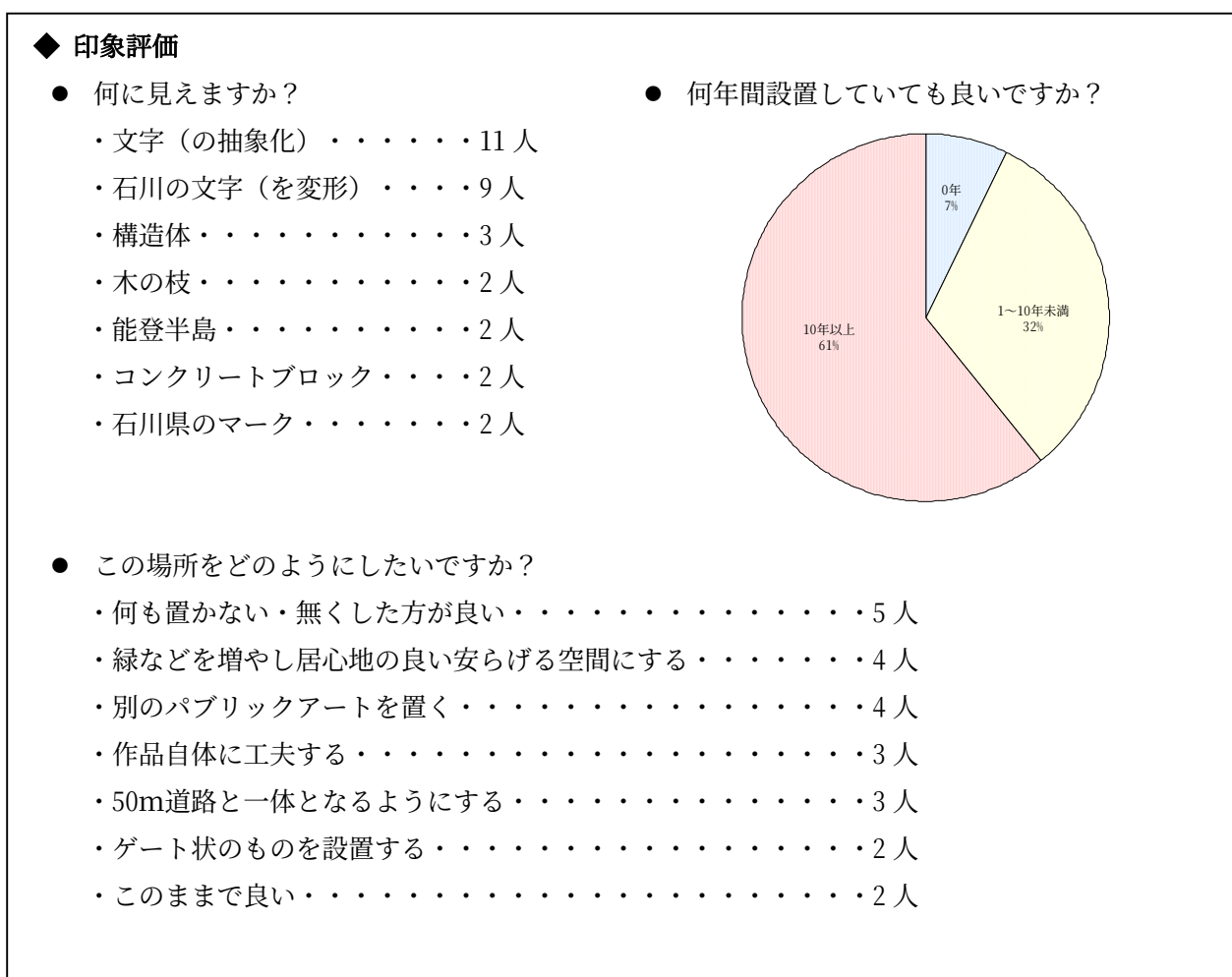
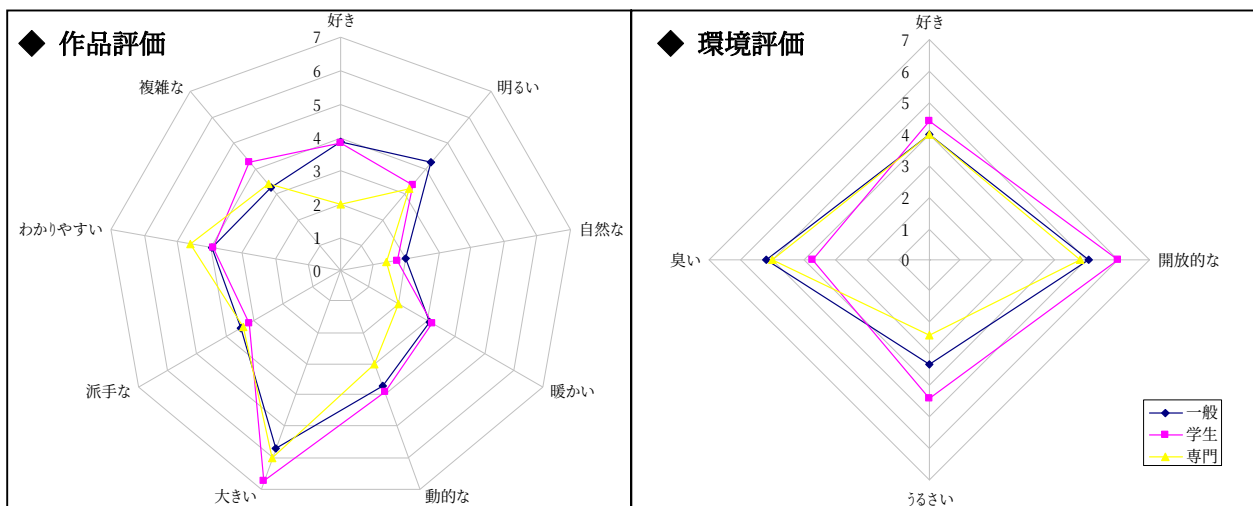


◆ 南東側より



◆ 位置図





◆ 総合評価

場所 にピッタリ度：☆☆☆☆☆
説明 できる度：☆☆☆☆☆
待ち 合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「金沢で最も目立つ彫刻」「巨大である」「石川という字だと思っていた」「近づく と斜めで不安になる」「素材が工業製品 のようで質感に欠ける」

◆ 作品概要

作 者： マルタ・パン
 設 置 者： 石川県
 設置場所： 県立音楽堂前
 設置年度： 2001 年（H13 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ステンレス
 規 模：
 設置経緯： 県立音楽堂整備にあわせ設置。

◆ 正面東側より



◆ 北西側より



◆ 南東側より

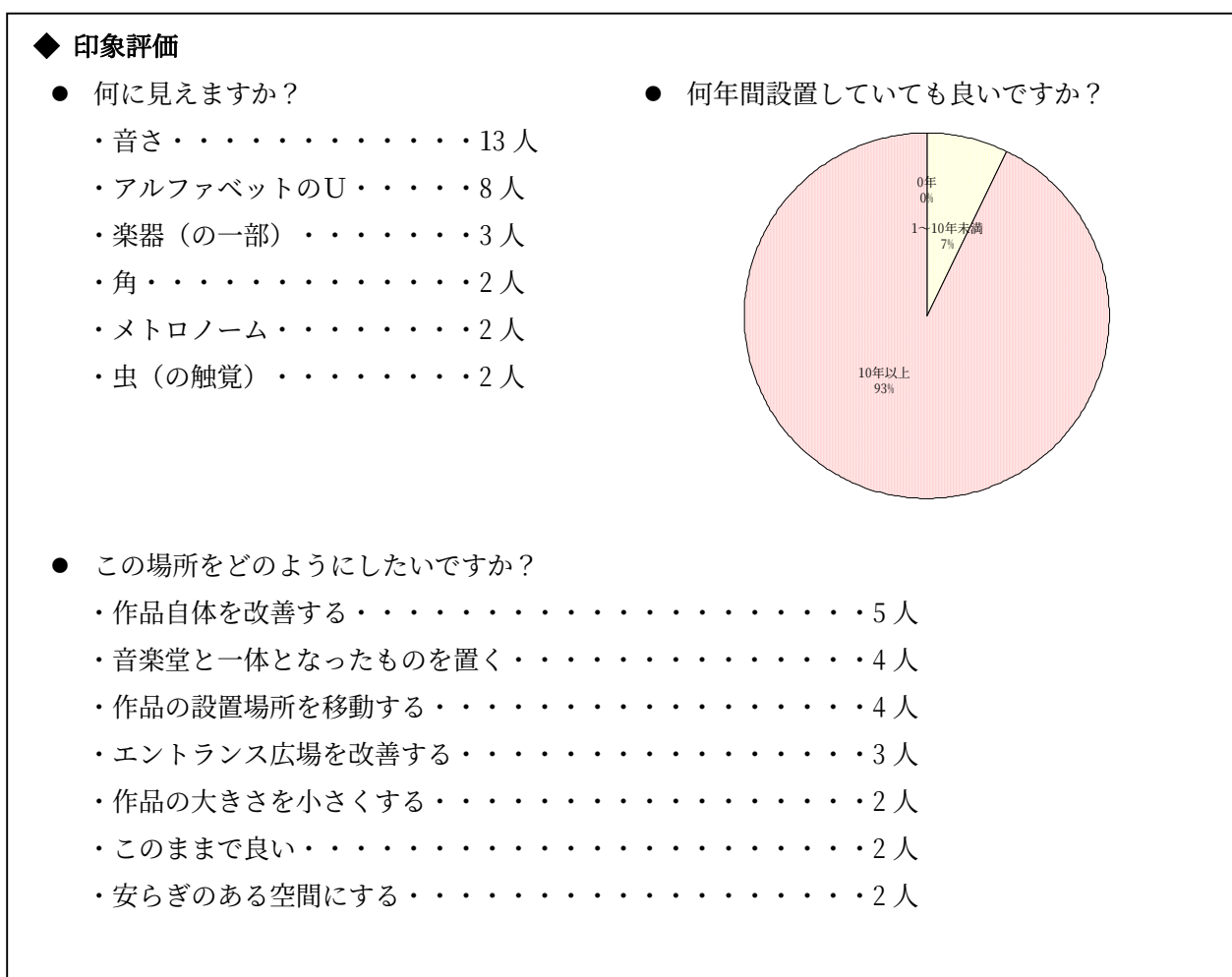
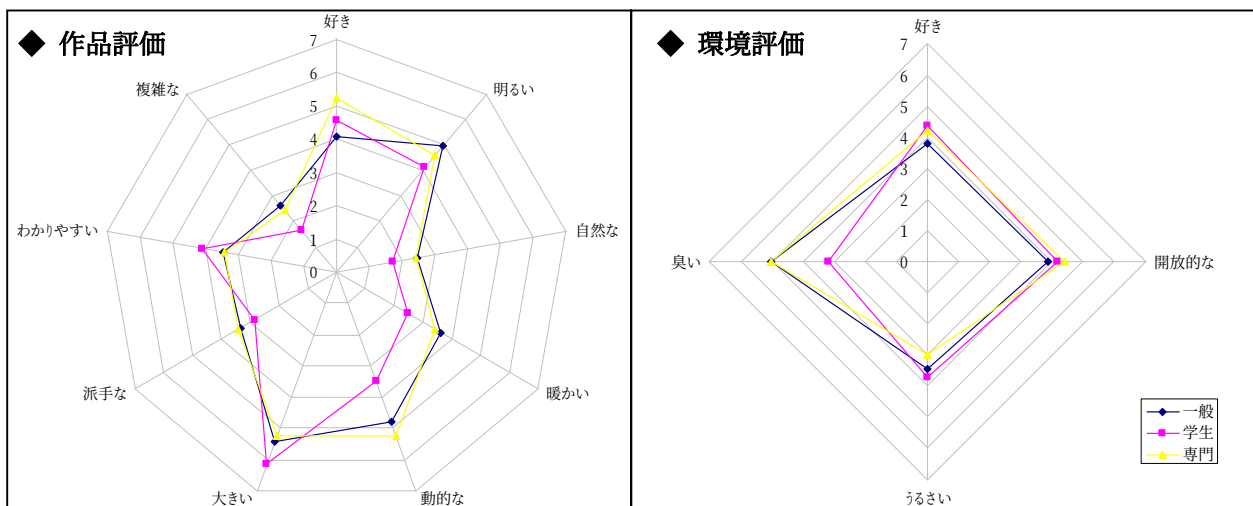


◆ 東側より



◆ 位置図





◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「音又みたいで場には合っている」「巨大であるので逆に気づかない人が多い」「音が出たらもっと面白い」

◆ 作品概要

作 者： 村井 良樹

設 置 者： 石川県

設置場所： 県立音楽堂前

設置年度： 2001 年（H13 年）

区 分： 彫刻

材 質： ブロンズ

規 模：

設置経緯： 県立音楽堂整備にあわせ設置。

◆ 正面北西側より



◆ 北側より



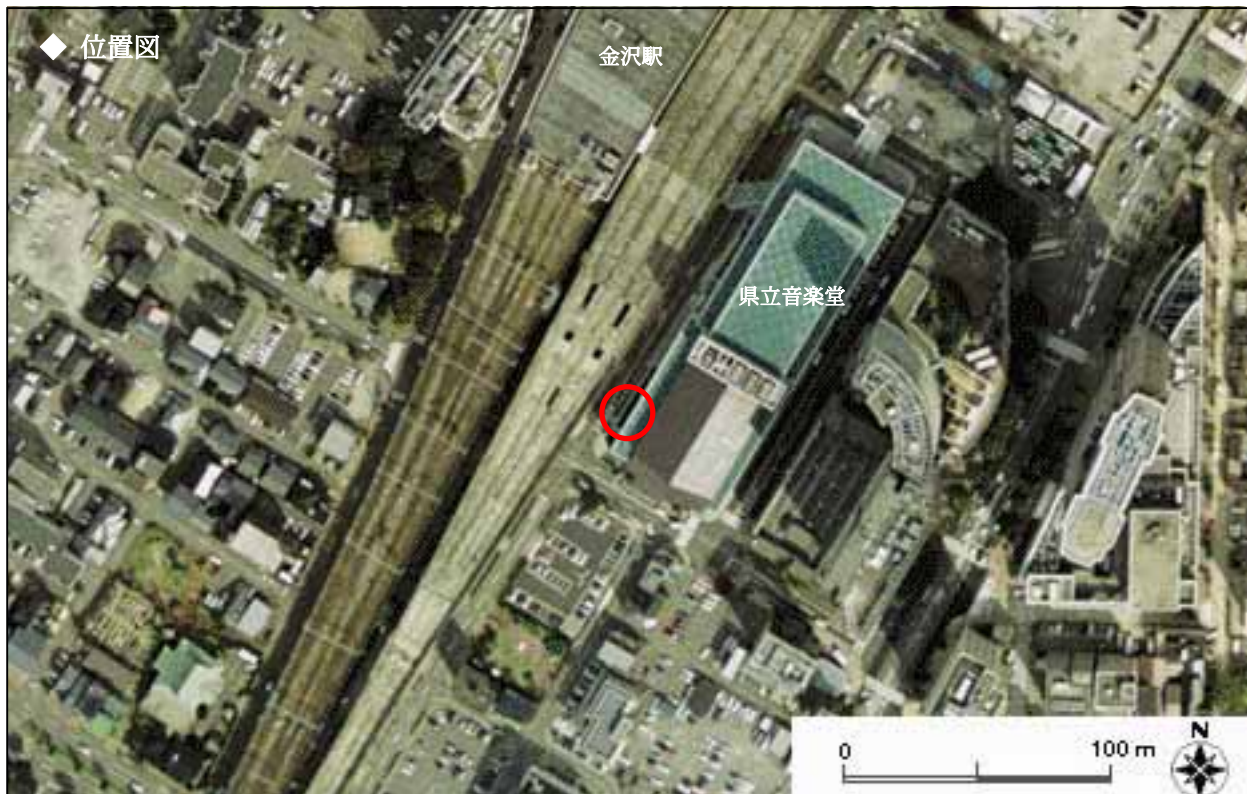
◆ 南西側より

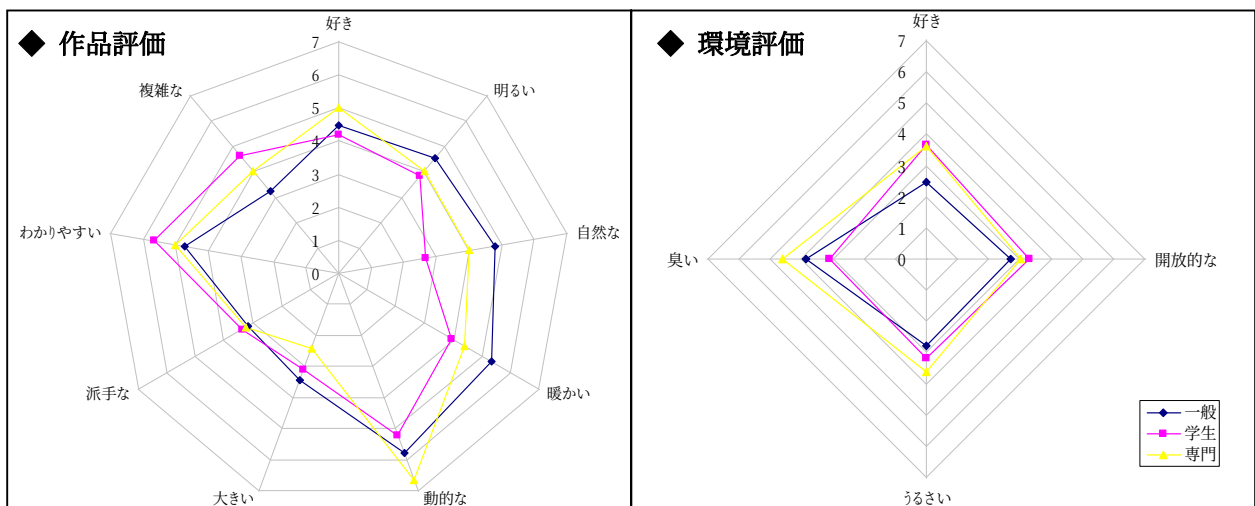


◆ 北側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・人・・・21人
 - ・演奏・・・14人
 - ・船・・・4人
 - ・恋人たち・・・2人
 - ・楽器を演奏している様子・・・8人
 - ・チェロを弾いている様子・・・4人
 - ・笛を吹いている様子・・・3人
 - ・音楽を楽しんでいる様子・・・3人
- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・何も置かない・無くした方が良く・・・7人
 - ・作品の設置場所を移動する・・・7人
 - ・植込みや周囲を改善する・・・3人
 - ・作品の高さを低くする・・・3人
 - ・開放的な空間にする・・・2人
 - ・植栽する・・・2人
 - ・別のパブリックアートを設置する・・・2人

● 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
10年以上	56%
1～10年未満	37%
0年	7%

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「じっくり見るには通路が狭い」「新幹線開通で将来は環境が悪くなる」「ガラスに鉄道の高架が映りこんでいる」「昼間でも日陰で暗い」

◆ 作品概要

作 者： 木戸 修
 設 置 者： 石川県
 設置場所： 県立音楽堂前
 設置年度： 2001 年（H13 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ステンレス
 規 模：
 設置経緯： 県立音楽堂整備にあわせ設置。

◆ 正面南西側より



◆ 西側より



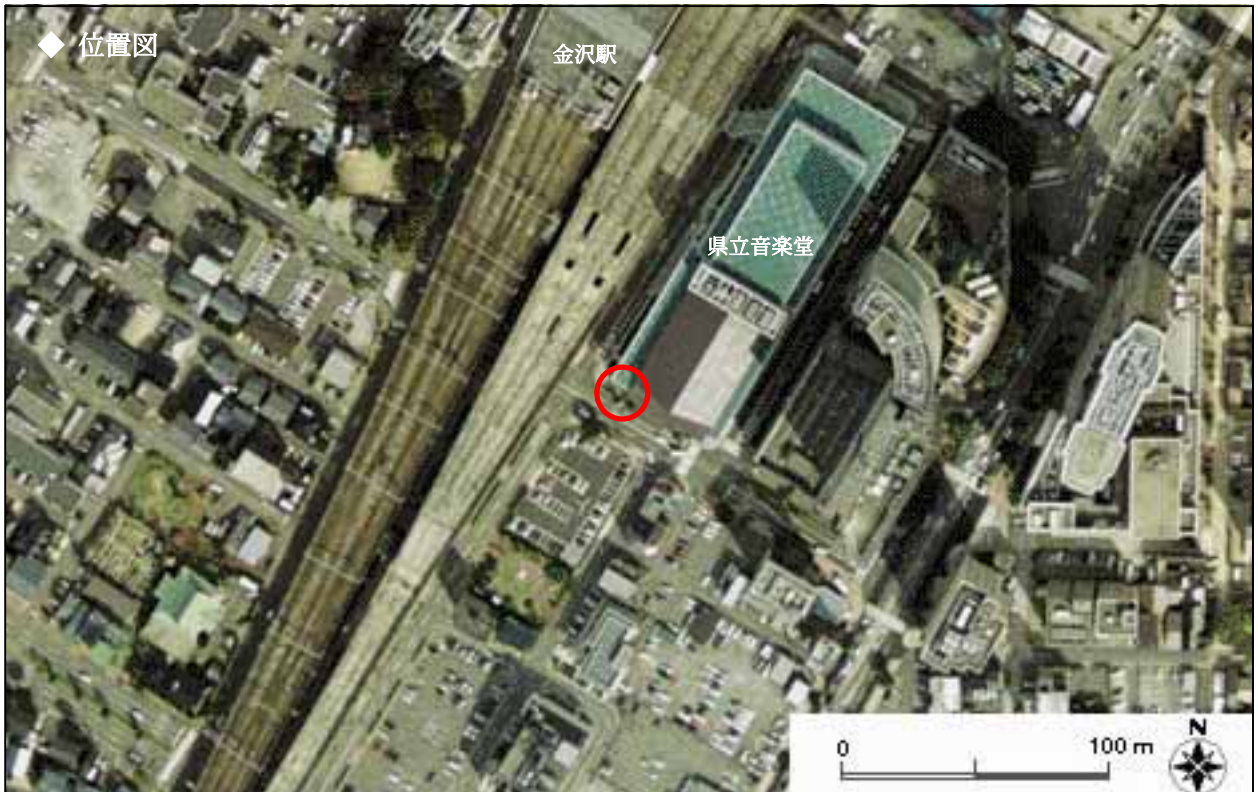
◆ 南側より

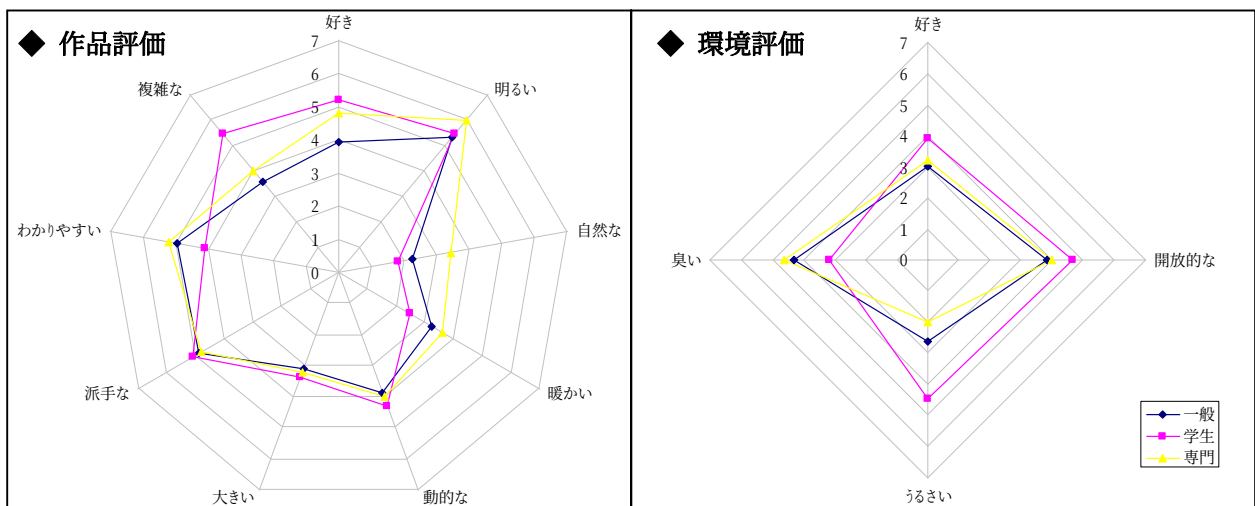


◆ 南西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

● 何に見えますか？

- ・ 輪、リング 8 人
- ・ 太陽 3 人
- ・ 指輪 3 人
- ・ ドーナツ 3 人
- ・ オブジェ 2 人

● 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
0年	3%
1～10年未満	41%
10年以上	56%

● この場所をどのようにしたいですか？

- ・ 植込みや周囲を改善する 6 人
- ・ 別のパブリックアートを設置する 5 人
- ・ 作品の設置場所を移動する 2 人
- ・ 作品を後ろに下げる 2 人
- ・ 「終わりなきコンチェルト」を置く 2 人
- ・ このままで良い 2 人
- ・ 歩道を広くする 2 人
- ・ 植栽する 2 人

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「キラキラしていて珍しさがある」「クリスマスリースみたい」「全体的には評価が高い」「邦楽との関連が感じられない」

◆ 作品概要

作 者： 石田 瑞夫

設 置 者： 石川県

設置場所： 県立音楽堂前

設置年度： 2001 年（H13 年）

区 分： 彫刻

材 質： 御影石

規 模：

設置経緯： 県立音楽堂整備にあわせ設置。

◆ 正面南西側より



◆ 西側より



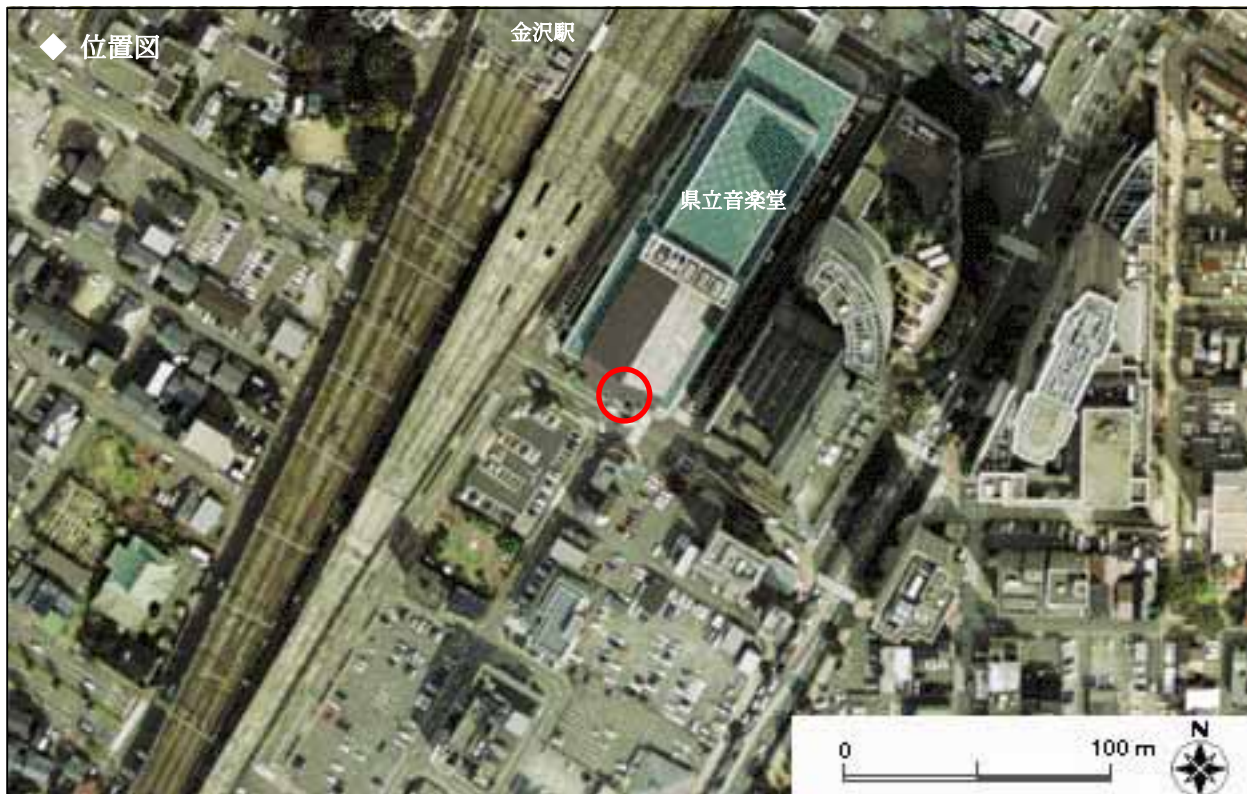
◆ 南側より

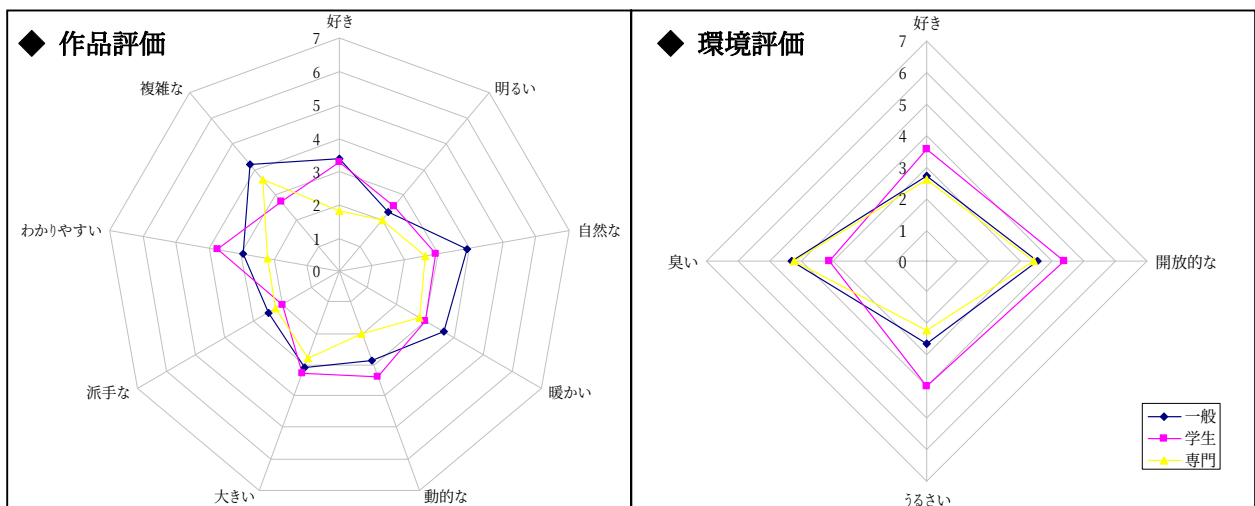


◆ 南西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

● 何に見えますか？

- ・ 心臓 12 人
- ・ 石 8 人
- ・ げんこつ 4 人
- ・ 隕石 4 人
- ・ 塊 3 人

● 何年間設置していても良いですか？

期間 (Duration)	割合 (Percentage)
0年 (0 years)	11%
10年以上 (10 years or more)	39%
1～10年未満 (1 to 10 years)	50%

● この場所をどのようにしたいですか？

- ・ 無くしたが良い 5 人
- ・ 別のパブリックアートを設置する 4 人
- ・ 音楽堂と調和したものを置く 2 人
- ・ 植込みや周囲を改善する 2 人
- ・ 歩道を広くする 2 人

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「心臓が悪い人にはつらい」「設置面が高すぎるため見上げなければいけない」「邦楽との関連性が感じられない」

◆ 作品概要

作 者： 得能 節朗
 設 置 者： ヴィサージュ管理組合
 設置場所： ヴィサージュ前
 設置年度： 1990 年（H2 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ブロンズ
 規 模：
 設置経緯： ヴィサージュ建築に合
 わせ設置。

◆ 正面南西側より



◆ 西側より



◆ 南側より

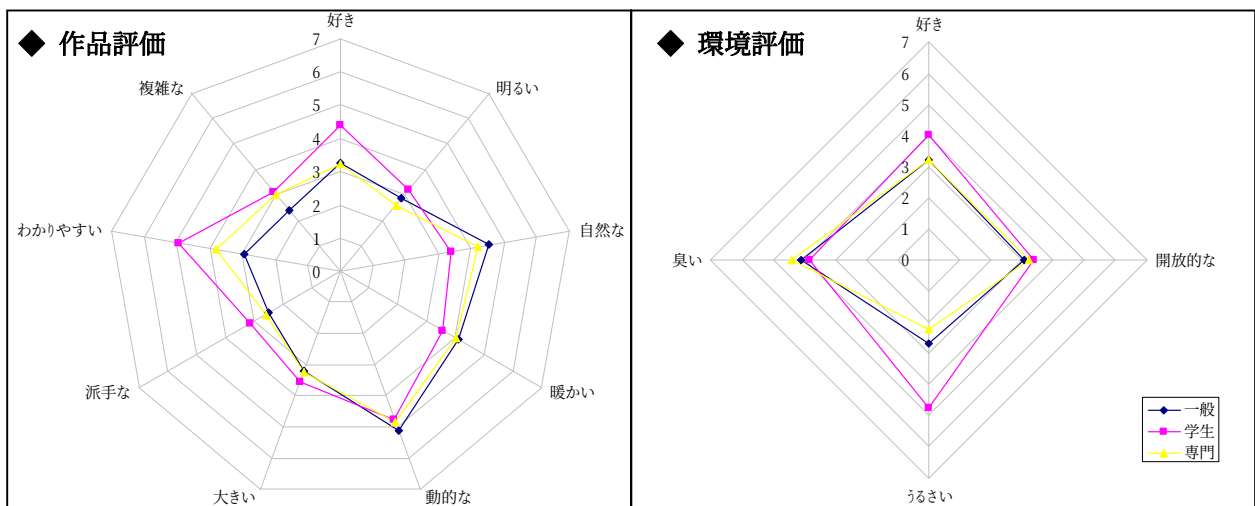


◆ 南西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・人・・・・・・・・・・26人
 - ・女の人・・・・・・・・・・24人
 - ・寂しそうな姿・・・・・・・・2人
 - ・風を感じている姿・・・・・・・・2人

- 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
10年以上	57%
1～10年未満	36%
0年	7%

- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・植込みや周囲を改善する・・・・・・・・・・5人
 - ・別のパブリックアートを設置する・・・・・・・・・・5人
 - ・何も置かない・無くした方が良い・・・・・・・・・・4人
 - ・作品を低くする・・・・・・・・・・3人
 - ・建物に調和したものを置く・・・・・・・・・・2人

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「印象が薄いが背景に溶け込んでいるとも言える」「設置面が高すぎるため視野に入ってくるにくい」
「台座のほうが目立っている」

◆ 作品概要

作 者： 重田 照雄
 設 置 者： ヴィサージュ管理組合
 設置場所： ヴィサージュ前
 設置年度： 1990 年（H2 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ステンレス
 規 模：
 設置経緯： ヴィサージュ建築に合
 わせ設置。

◆ 正面南西側より



◆ 北東側より



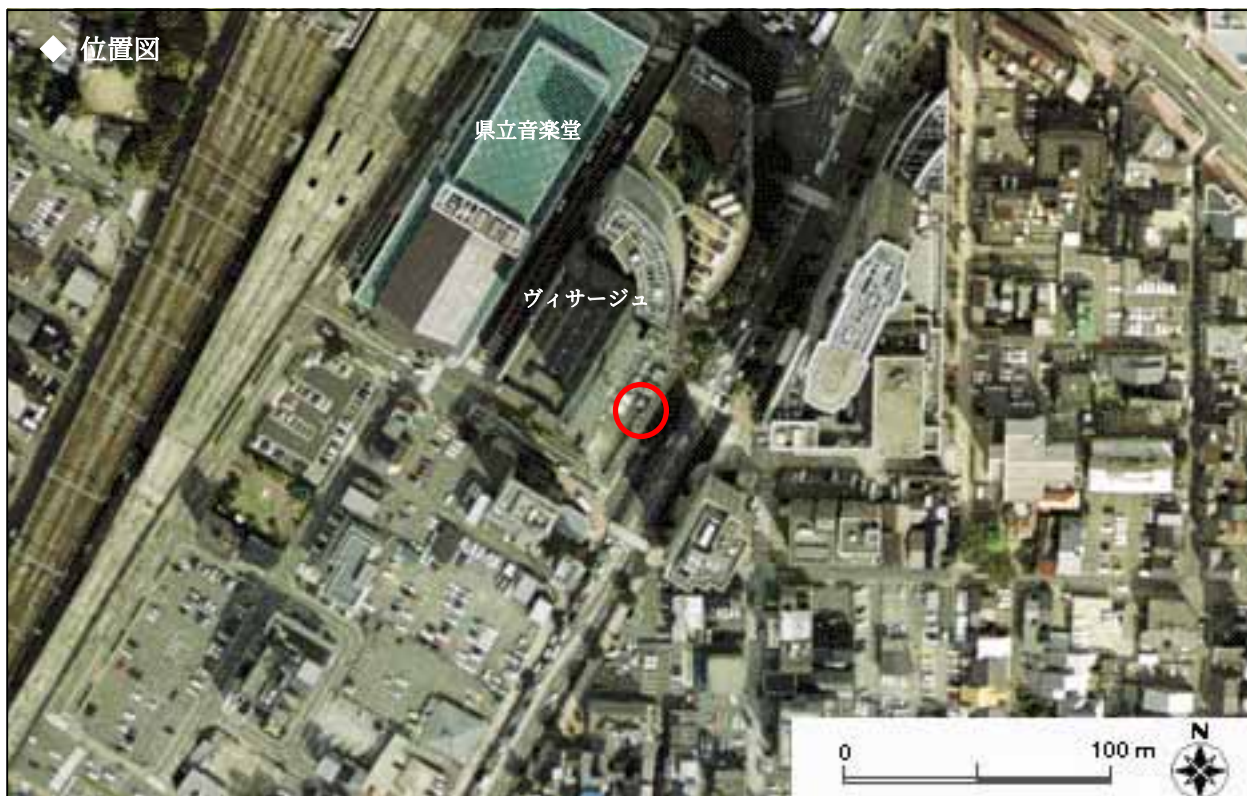
◆ 南側より

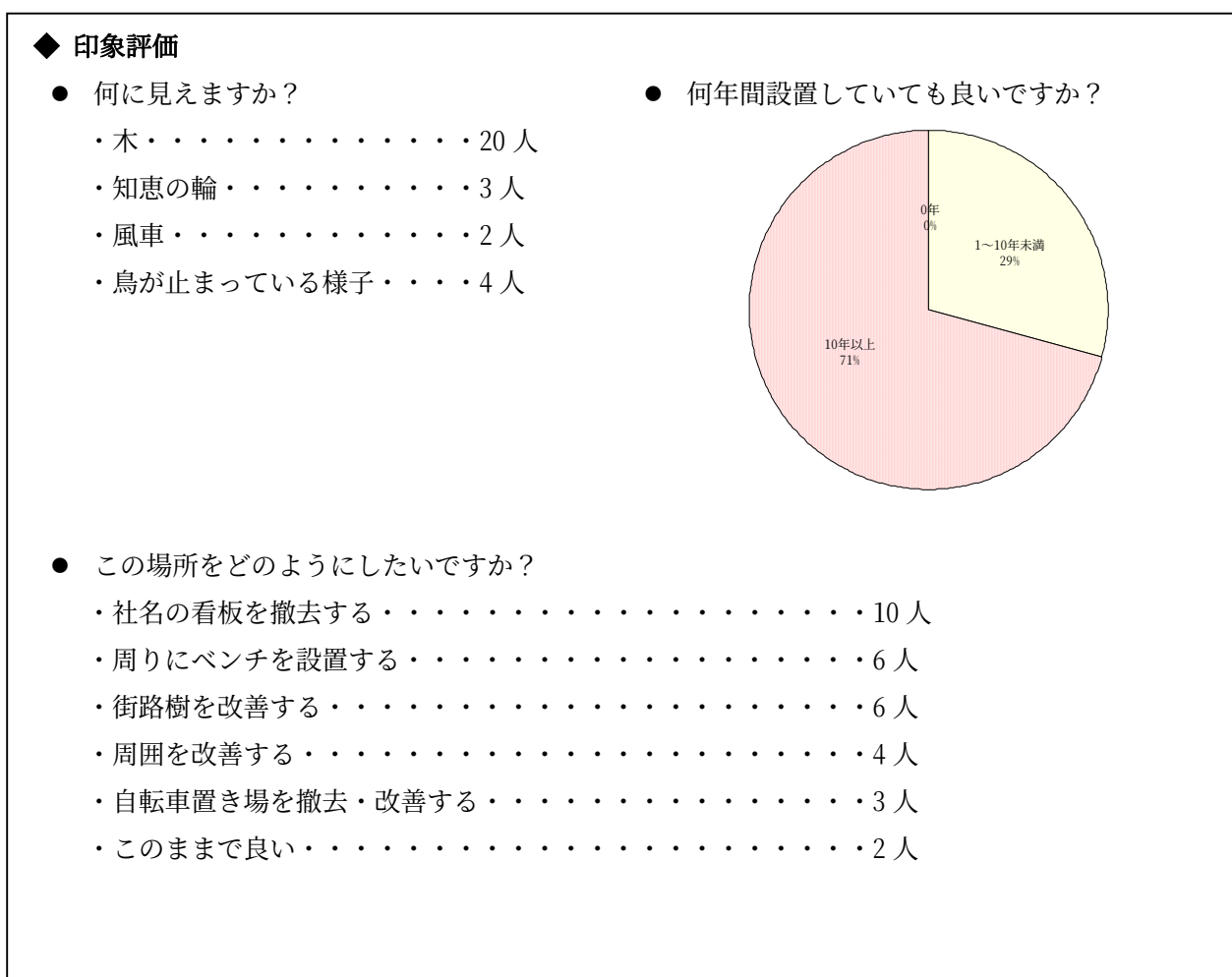
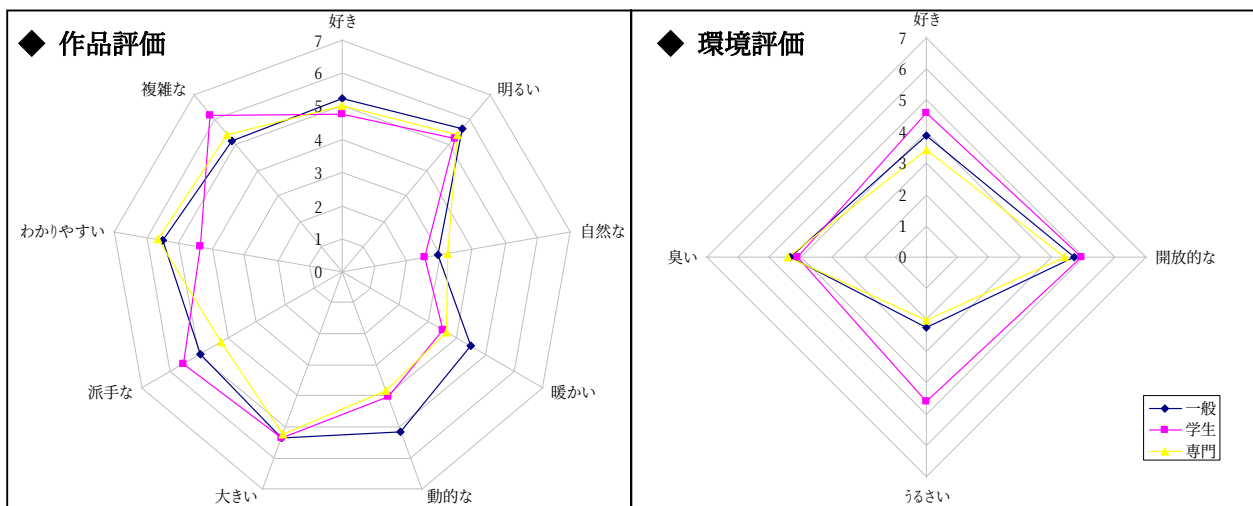


◆ 南東側より



◆ 位置図





◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「全体的に高感度が高かった」「前に事務所の案内看板があって雰囲気を損ねている」「動きがあって面白い」「将来的に街路樹が育つと見えにくくなる」

◆ 作品概要

作 者：

設 置 者： 金沢市

設置場所： 金沢駅東口広場

設置年度： 2005 年（H17 年）

区 分： 流れ

材 質： モザイクタイル、ガラ
ス、ステンレス

規 模：

設置経緯： 金沢駅東口広場整備に
伴い設置。

◆ 正面南東側より



◆ 南側より



◆ 北西側より

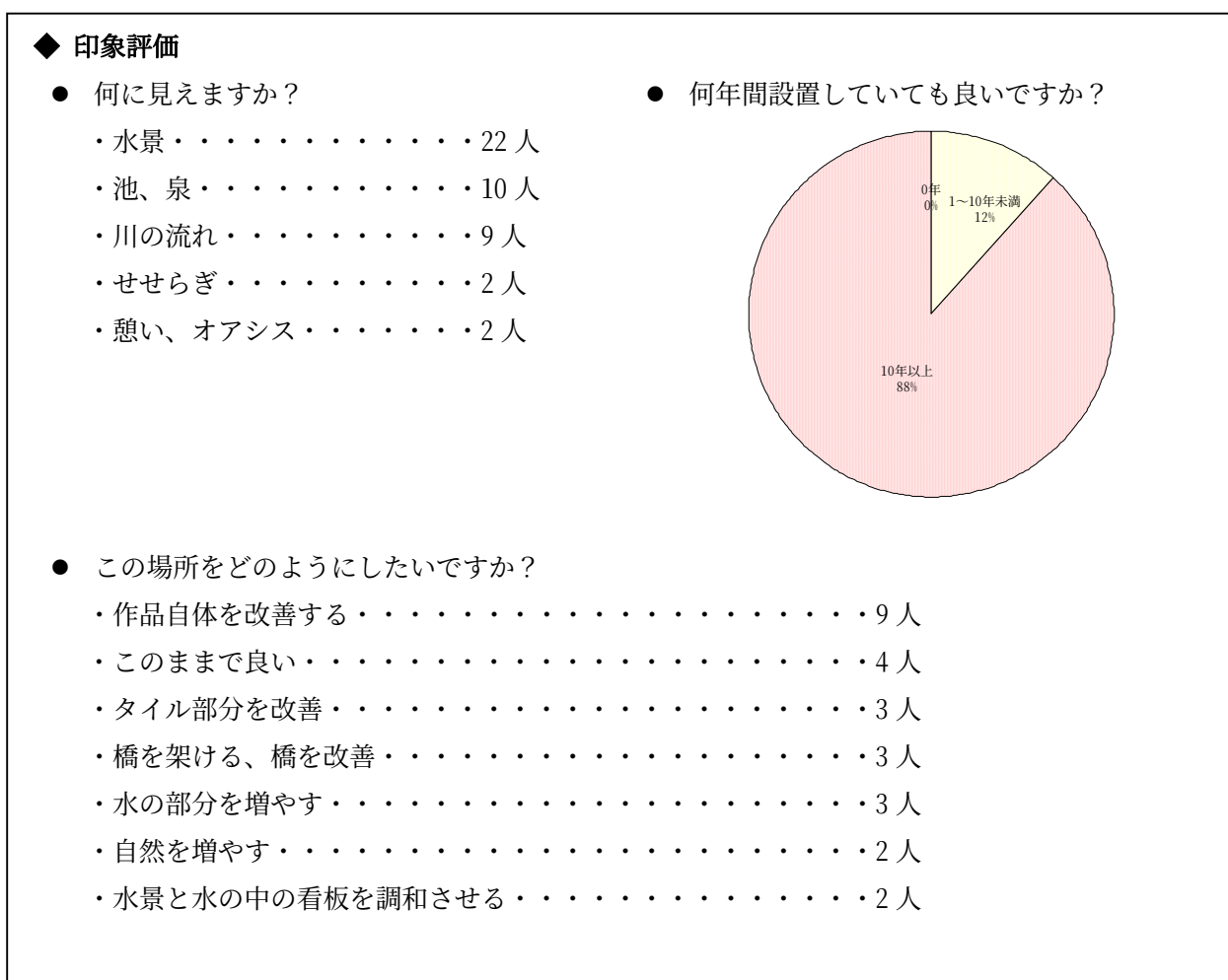
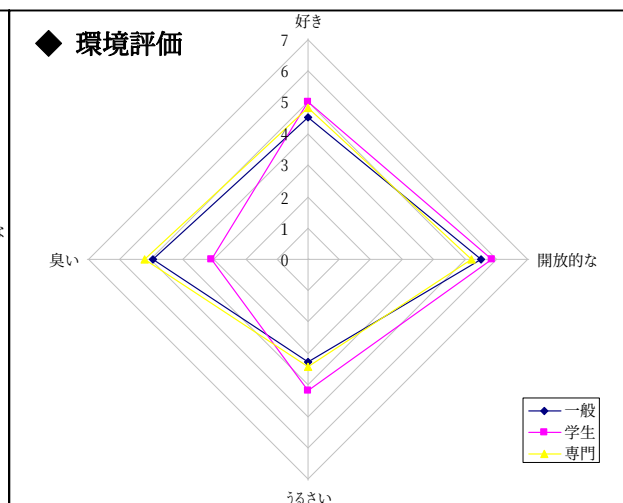
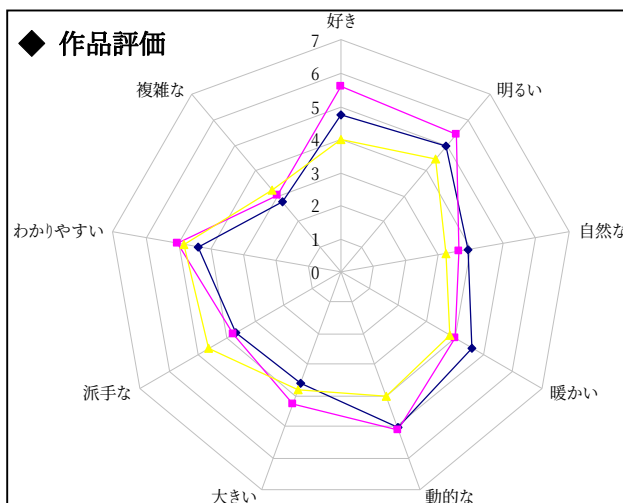


◆ 南東側より



◆ 位置図





◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「待ち合わせ場所には良い」「モザイクタイルは周辺の材料とちぐはぐ」「メンテナンスをしないと汚れてくる危険性がある」「ごみなどは落ちていない」

◆ 作品概要

作 者：

設 置 者： 金沢市

設置場所： 金沢駅東口広場

設置年度： 2005 年（H17 年）

区 分： 噴水のデジタル時計

材 質： ステンレス、御影石

規 模：

設置経緯： 金沢駅東口広場整備に伴い設置。

◆ 正面北西側より



◆ 北側より



◆ 南西側より

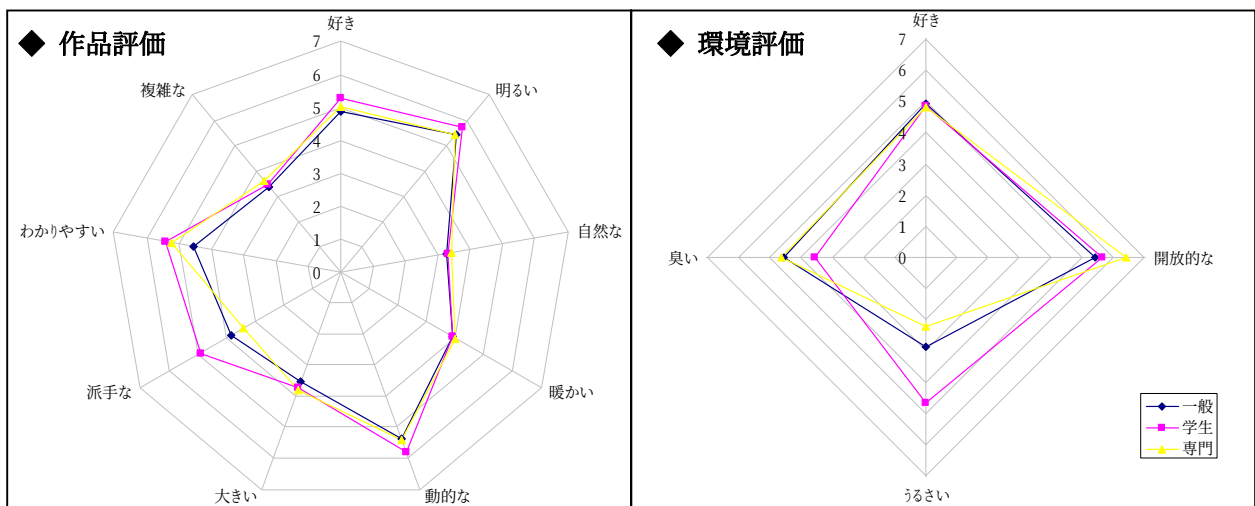


◆ 南西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・ 水景 18 人
 - ・ 時計 15 人
 - ・ 噴水 7 人
 - ・ 文字が浮き上がるもの 2 人

- 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
0年	7%
1～10年未満	7%
10年以上	86%

- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・ このままで良い 5 人
 - ・ 周囲を改善する 5 人
 - ・ 作品を大きくする 3 人
 - ・ 植栽する 3 人
 - ・ 作品自体を改善する 2 人

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「噴水で時計は珍しい」「動きがあって見ていて飽きない」「車道側からも目に付く」「意図的に視線を塞いで車の影響を減らしている」

◆ 作品概要

作 者： J・K・ヴィルックネン
 設 置 者： 金沢市
 設置場所： ルキーナ前
 設置年度： 2005 年（H17 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： 鉄
 規 模：
 設置経緯： 金沢まちなか彫刻作
 品コンペティション
 2004 優秀作品。

◆ 正面南西側より



◆ 南側より



◆ 北西側より

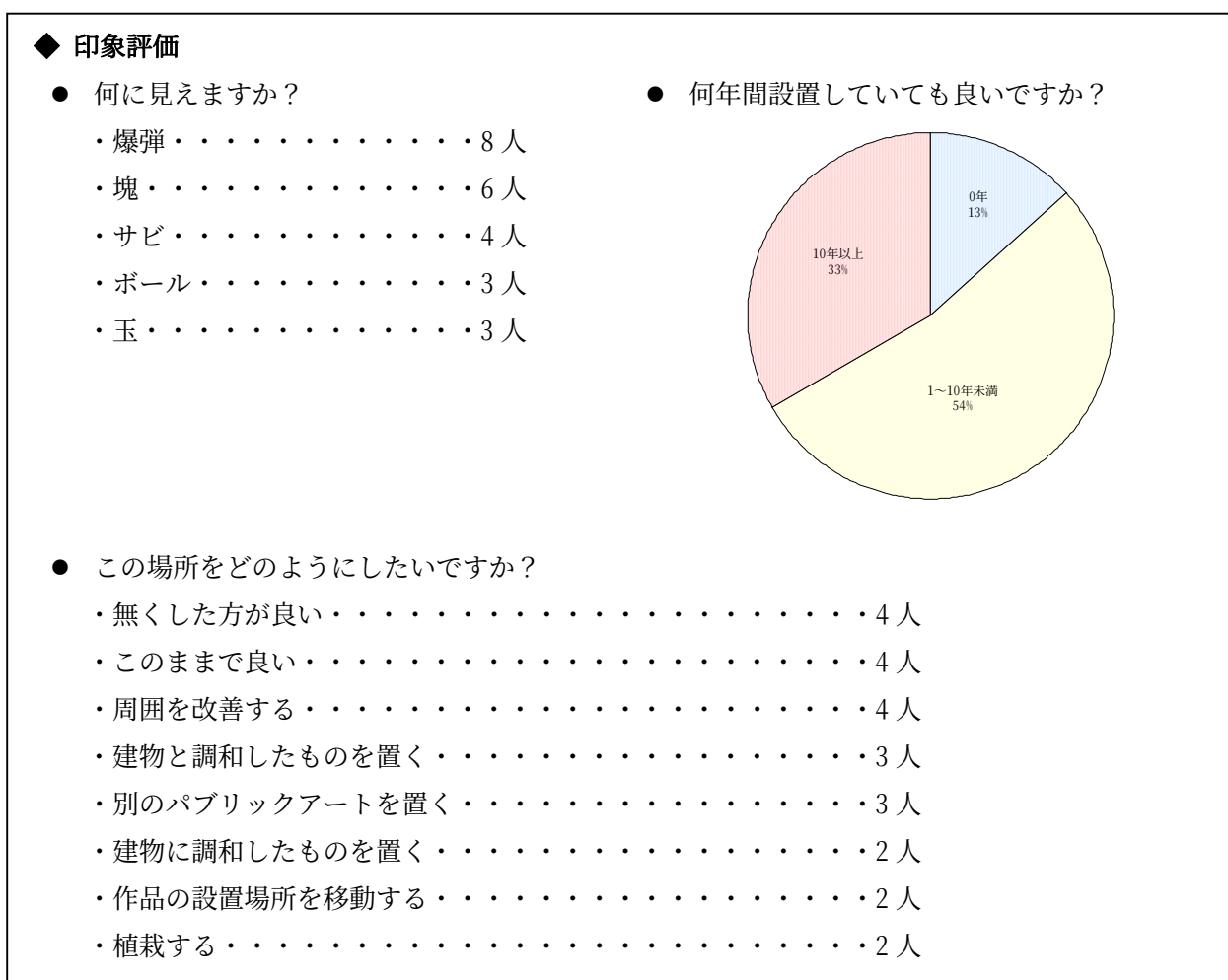
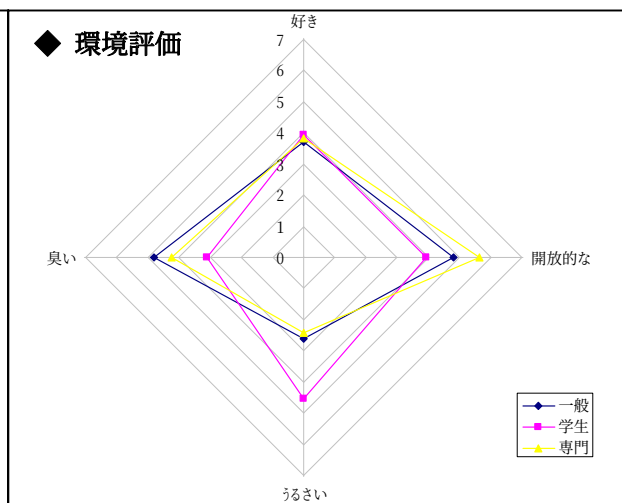
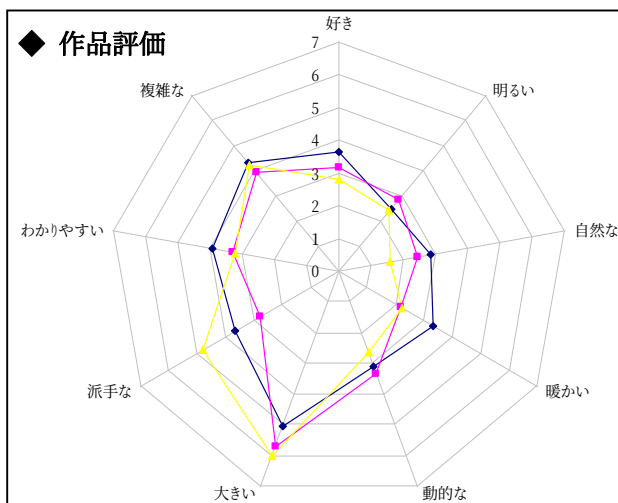


◆ 西側より



◆ 位置図





◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「爆弾を連想させる」「錆が歩道を流れて汚している」「巨大で歩行の妨げになっている」「金沢らしさが感じられない」

◆ 作品概要

作 者： 堀 義雄

設 置 者： 此花同窓生

設置場所： 旧此花町小学校跡

設置年度： 1958 年（S43 年）

区 分： 彫刻

材 質： ブロンズ

規 模： H2.0（台座 W0.83,
D0.64,H0.73）

設置経緯： S43 年 10 月此花小同
窓生一同が 55 周年記
念にあわせ寄贈。

◆ 正面北西側より



◆ 西側より



◆ 北側より

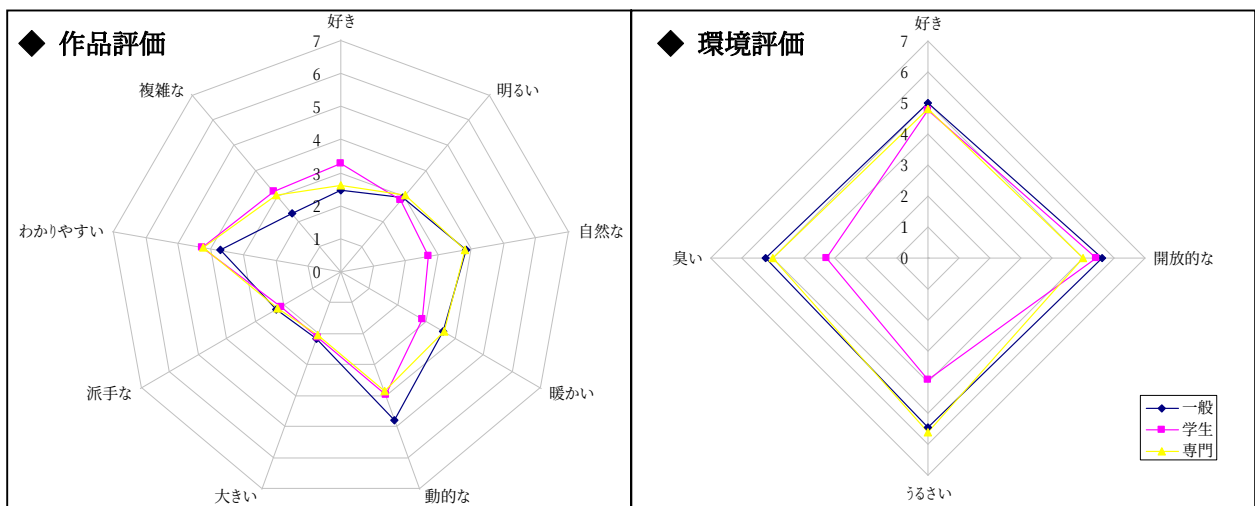


◆ 北西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・人・・・27人
 - ・少年・・・18人
 - ・宇宙人・・・2人
 - ・運動している姿・・・8人
 - ・側転しようとしている姿・・・3人
 - ・体操している姿・・・2人
 - ・踊っている姿・・・2人
- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・植栽する、増やす・・・7人
 - ・このままで良い・・・6人
 - ・きれいにする・・・3人
 - ・別のパブリックアートを設置する・・・5人
 - ・作品の設置場所を移動する・・・2人

- 何年間設置していても良いですか？

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「存在にあまり気づかない」「小学校の記念碑でパブリックアートとしては印象が薄い」「石碑の
ほうが目立っている」

◆ 作品概要

作 者： B・ストゥージク
 設 置 者： 金沢市
 設置場所： 東別院口武蔵街園
 設置年度： 2004 年（H16 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： スチールに塗装
 規 模： W2.0,D2.0,H4.2
 設置経緯： 金沢まちなか彫刻作
 品コンペティション
 2004 優秀作品。

◆ 正面北西側より



◆ 南西側より



◆ 南東側より

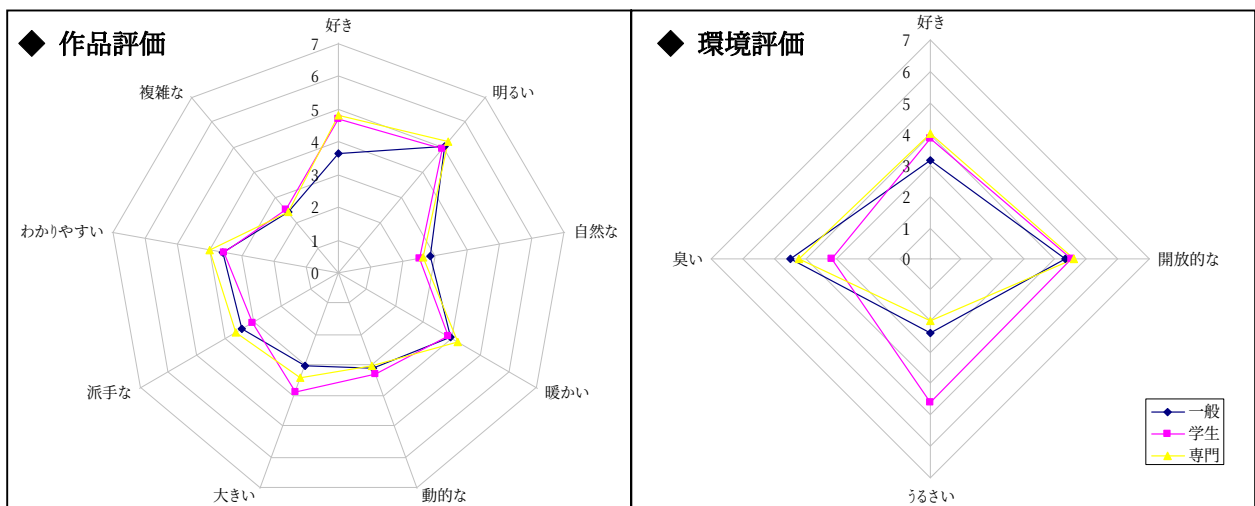


◆ 北西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・時計・・・・・・・・・・・・・13人
 - ・日時計・・・・・・・・・・・・・8人
 - ・時計の針・・・・・・・・・・・・・4人
 - ・角・・・・・・・・・・・・・2人
 - ・コンパス・・・・・・・・・・・・・2人
 - ・空に向かうもの・・・・・・・・・・・・・2人
 - ・棒・・・・・・・・・・・・・2人
 - ・板・・・・・・・・・・・・・2人
- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・植栽する、増やす・・・・・・・・・・・・・5人
 - ・休憩スペースをつくる・・・・・・・・・・・・・4人
 - ・広くする・・・・・・・・・・・・・3人
 - ・駐車場の入り口を無くす・・・・・・・・・・・・・3人
 - ・芝を改善する・・・・・・・・・・・・・3人
 - ・電信柱を無くす・・・・・・・・・・・・・2人

- 何年間設置していても良いですか？

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「隣接地が工事中で周辺環境が悪い」「もっと広いところに置くべき（防災ひろばなど）」「形はシンプルで置物になりそう」

◆ 作品概要

作 者： 矩 幸成
 設 置 者： 金沢武蔵地下開発期成
 同盟会会長山田耕之助
 設置場所： 武蔵西交差点
 設置年度： 1997 年（H9 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ブロンズ
 規 模： H3.0（台座含む）
 設置経緯： 金沢駅通線・武蔵地下
 駐車場竣工記念に設置。

◆ 正面南東側より



◆ 南側より



◆ 東側より

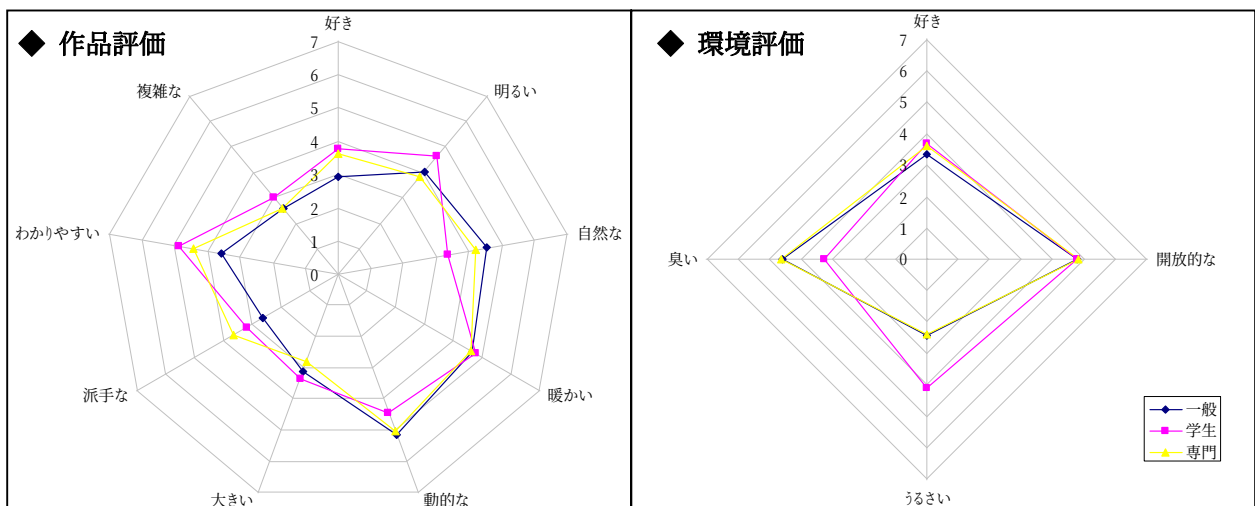


◆ 南側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・ 人 28 人
 - ・ 女の人 27 人
 - ・ 海辺にいる姿 2 人

- 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
0年	20%
1～10年未満	30%
10年以上	50%

- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・ 別のパブリックアートを設置する 4 人
 - ・ 休憩スペースをつくる 4 人
 - ・ 作品の設置場所を移動する 4 人
 - ・ 何も置かない、無くした方が良い 4 人
 - ・ このままで良い 3 人

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「裸婦像はパブリックアートに向かない」「歩道に唐突に置かれて歩行の妨げになっている」「鑑賞する方向が意識できない」

◆ 作品概要

作 者： 阿部 守
 設 置 者： 金沢市
 設置場所： 安江町緑地
 設置年度： 2005 年（H17 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： 石
 規 模：
 設置経緯： 金沢まちなか彫刻作
 品コンペティション
 2004 優秀作品。

◆ 正面南西側より



◆ 南側より



◆ 北西側より

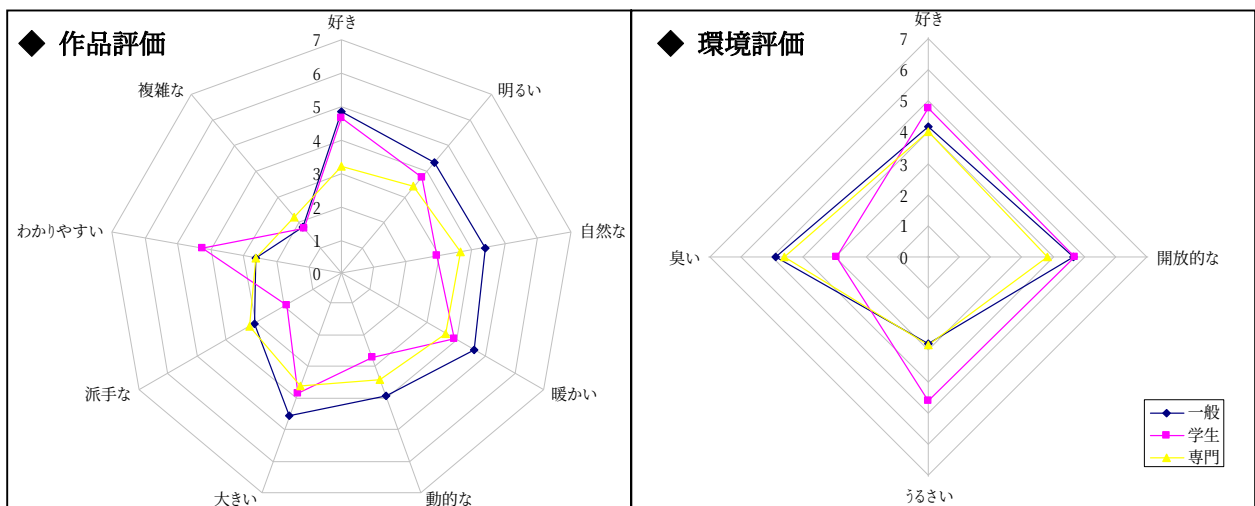


◆ 南東側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・ 碁石 8 人
 - ・ 石 5 人
 - ・ まんじゅう 3 人
 - ・ きのこ 2 人

- 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
0年	0%
1～10年未満	34%
10年以上	66%

- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・ このままで良い 4 人
 - ・ 作品を小さくする 2 人
 - ・ 緑地を広げる 2 人
 - ・ 歩道と一体化する 2 人
 - ・ 植栽を増やす 2 人
 - ・ 周りの植栽を改善する 2 人
 - ・ 作品自体を改善する 2 人

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「ナチュラルでどこでも溶け込みそう」 「座れるアートで好感度が高い」 「夏は暑くて座れない」
「アートとして気づかない人がある」

◆ 作品概要

作 者： 矩 幸成
 設 置 者： 武蔵再開発組合
 設置場所： 武蔵が辻交差点
 設置年度： 1975 年（S50 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ブロンズ
 規 模： H2.5（台座含む）
 設置経緯： S52 年 4 月地下道竣工
 記念、国道の占有申請
 は当時の建設省ではな
 く金沢市が行った。

◆ 正面東側より



◆ 南東側より



◆ 北東側より

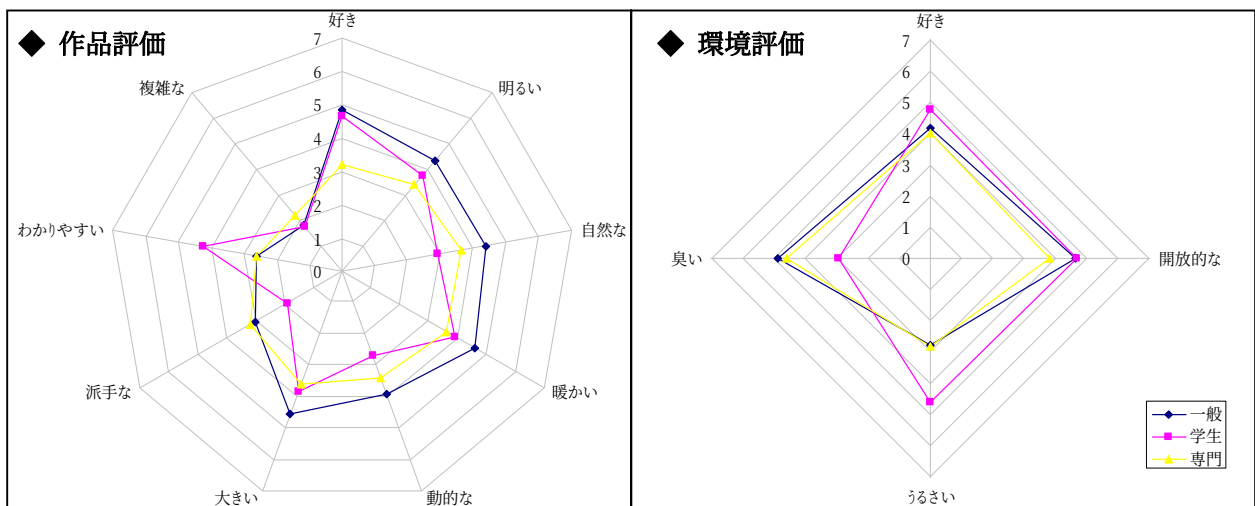


◆ 東側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

● 何に見えますか？

- ・ 人 29 人
- ・ 女の人 24 人
- ・ お風呂に入っている姿 13 人
- ・ 髪を洗っている姿 8 人
- ・ 体を洗っている姿 2 人

● 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
0年	0%
1～10年未満	34%
10年以上	66%

● この場所をどのようにしたいですか？

- ・ 作品の向きを変える 12 人
- ・ 設置場所の雰囲気に合ったものを置く 5 人
- ・ 裏表のないようにする 4 人
- ・ このままで良い 2 人
- ・ 無くした方が良い 2 人
- ・ 作品の設置場所を移動する 2 人

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「裸婦像はパブリックアートに向かない」「車道側を正面にして歩道にしりを向けている」「武蔵ヶ辻交差点は雑然としていて設置場所としてふさわしくない」

◆ 作品概要

作 者： 矩 幸成
 設 置 者： 武蔵再開発組合
 設置場所： 武蔵が辻交差点
 設置年度： 1981 年（S56 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ブロンズ
 規 模： H3.6（台座含む）
 設置経緯： S56 年 7 月、武蔵が辻
 第 3 街区及び丸越跡地
 完成記念事業として設
 置。占有申請は金沢市。

◆ 正面西側より



◆ 北西側より



◆ 南西側より

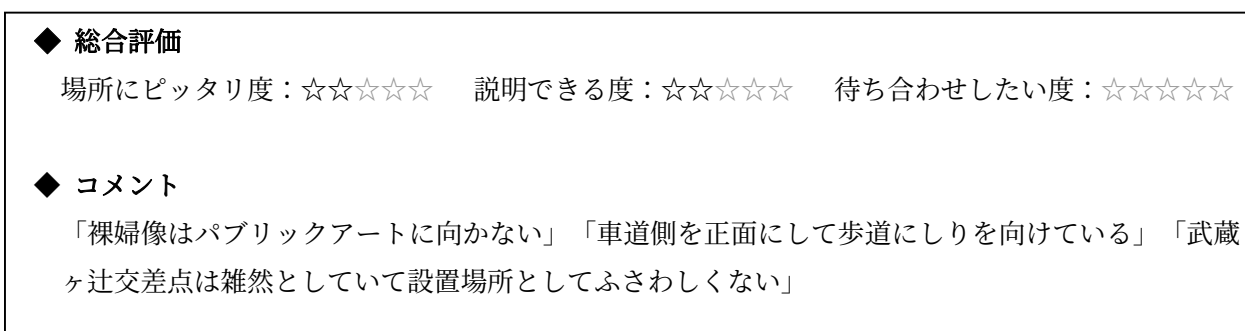
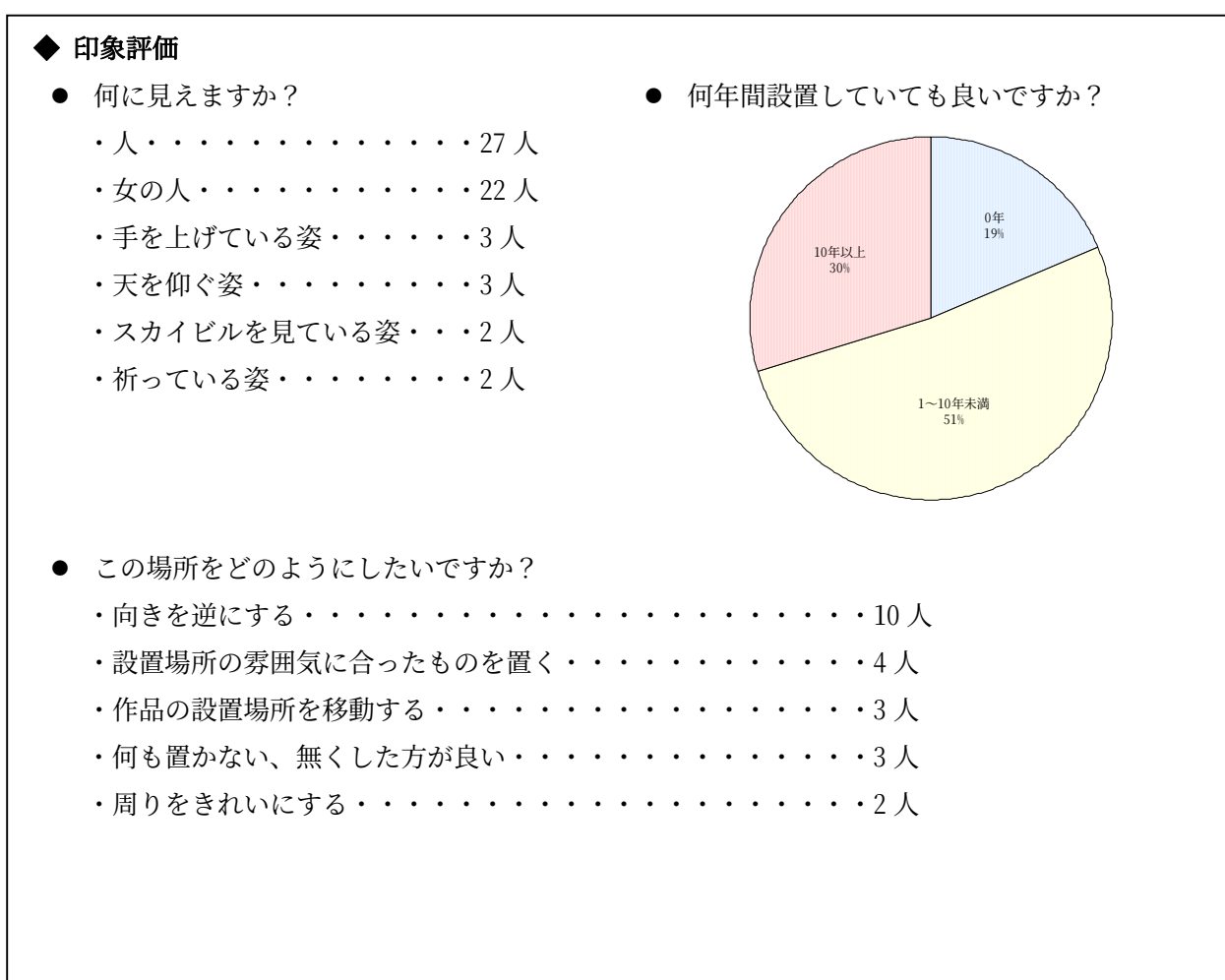
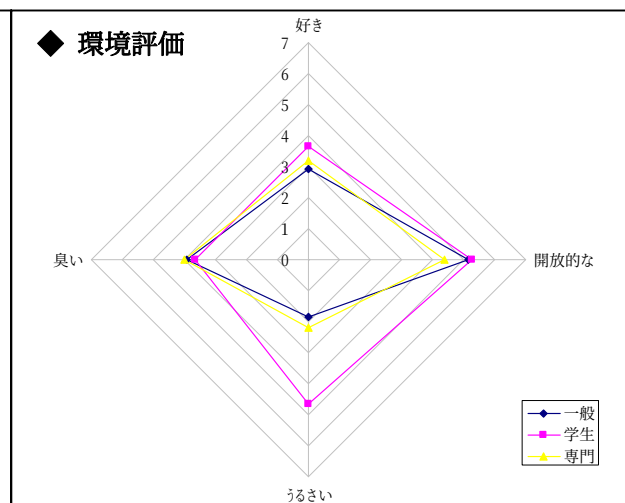
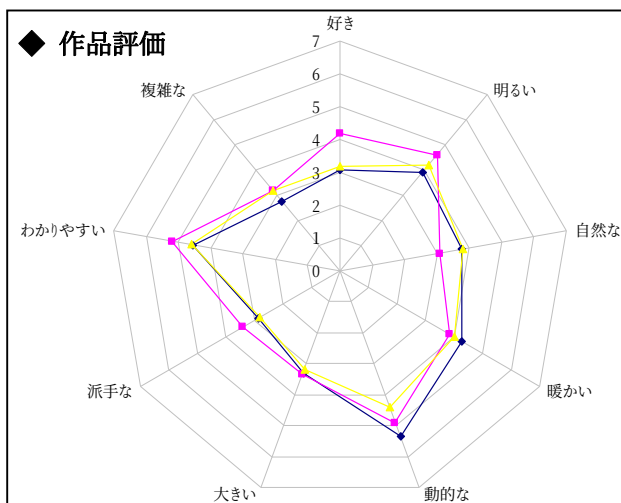


◆ 西側より



◆ 位置図





◆ 作品概要

作 者：

設 置 者：

設置場所： 香林坊アトリエ前

設置年度：

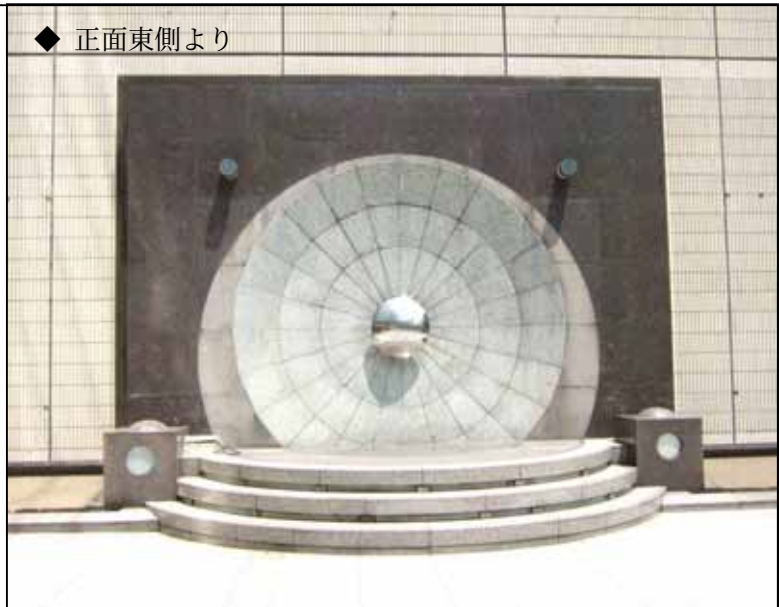
区 分： 野外ステージ

材 質： 御影石、ステンレス

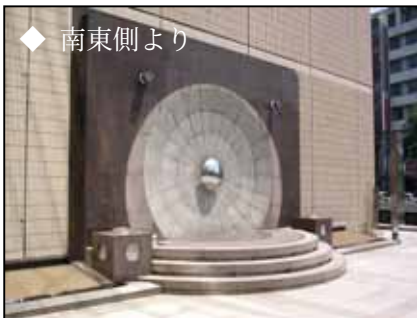
規 模：

設置経緯： 香林坊アトリエ建設にあわせ設置された。野外ステージの背景となっている。

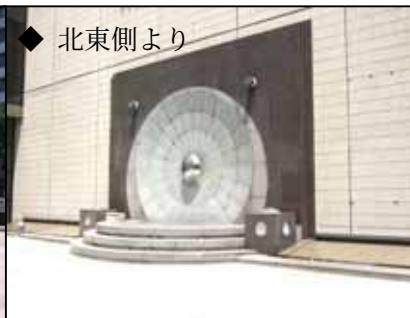
◆ 正面東側より



◆ 南東側より



◆ 北東側より

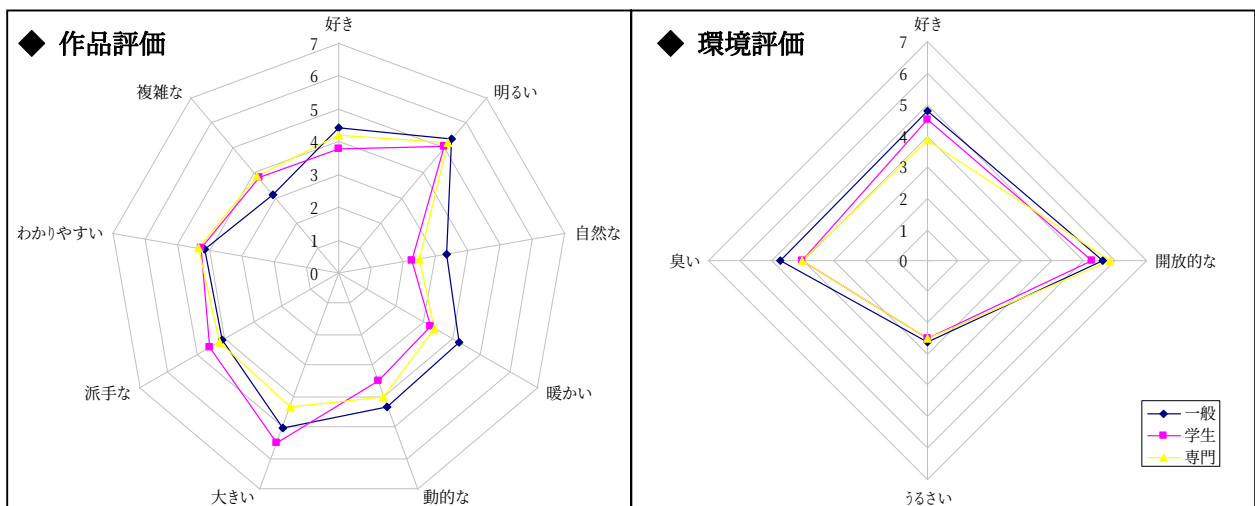


◆ 東側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

● 何に見えますか？

- ・ ステージ 3 人
- ・ 花 3 人
- ・ 太陽 3 人
- ・ クモの巣 2 人
- ・ パラボラアンテナ 2 人
- ・ 泉 2 人
- ・ 壁の装飾 2 人

● この場所をどのようにしたいですか？

- ・ 水の流れを改善する 4 人
- ・ 周囲を改善する 3 人
- ・ 植栽する 3 人
- ・ このままで良い 2 人
- ・ 静かな場所にする 2 人

● 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
10年以上	76%
1～10年未満	24%

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「アートとして認識されていないかも」「ステージとしても使われるのでそれにふさわしいか疑問」
「ステージの反射板として機能していない」

◆ 作品概要

作 者： 大森 達郎
 設 置 者： 香林坊第2地区市街地
 再開発組合
 設置場所： 香林坊アトリエ前
 設置年度： 1986年（S61年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ブロンズ
 規 模：
 設置経緯： 再開発事業の記念とし
 て、金沢の中心部の案
 内も兼ねて設置。

◆ 正面南西側より



◆ 南側より



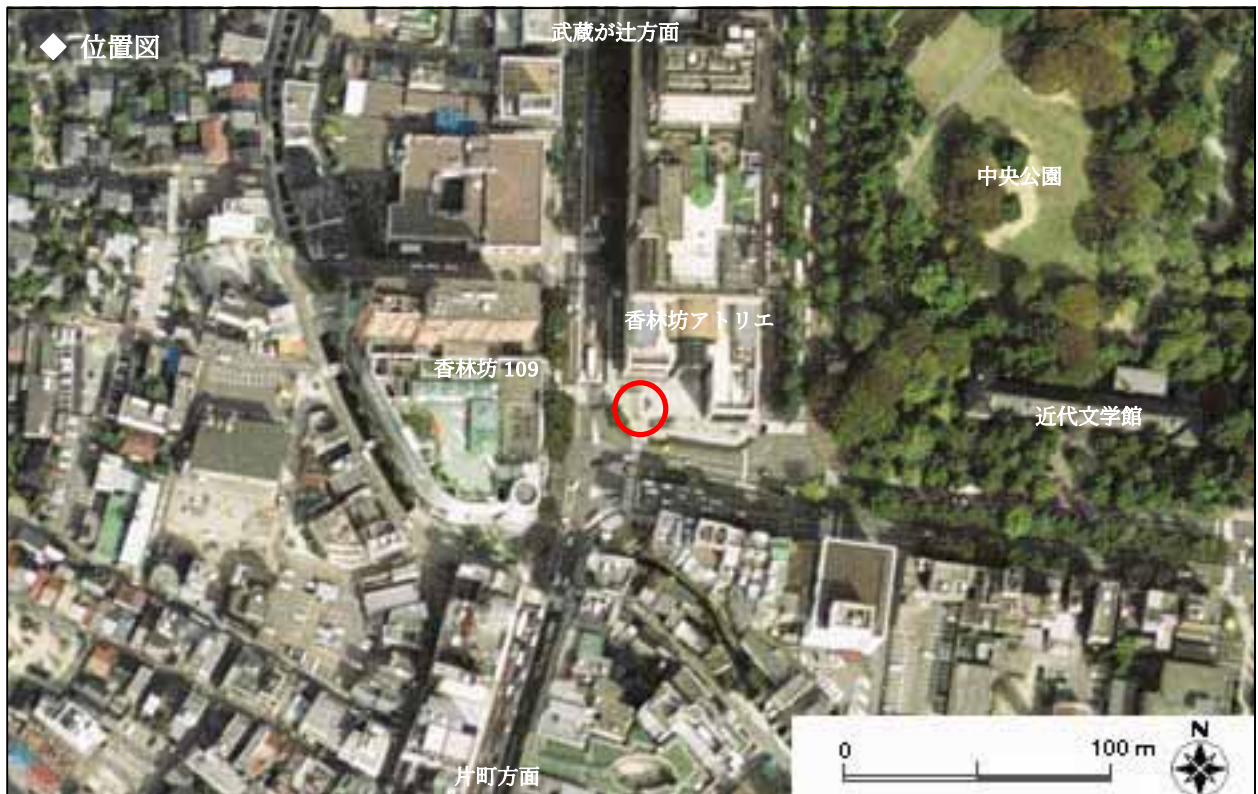
◆ 北西側より

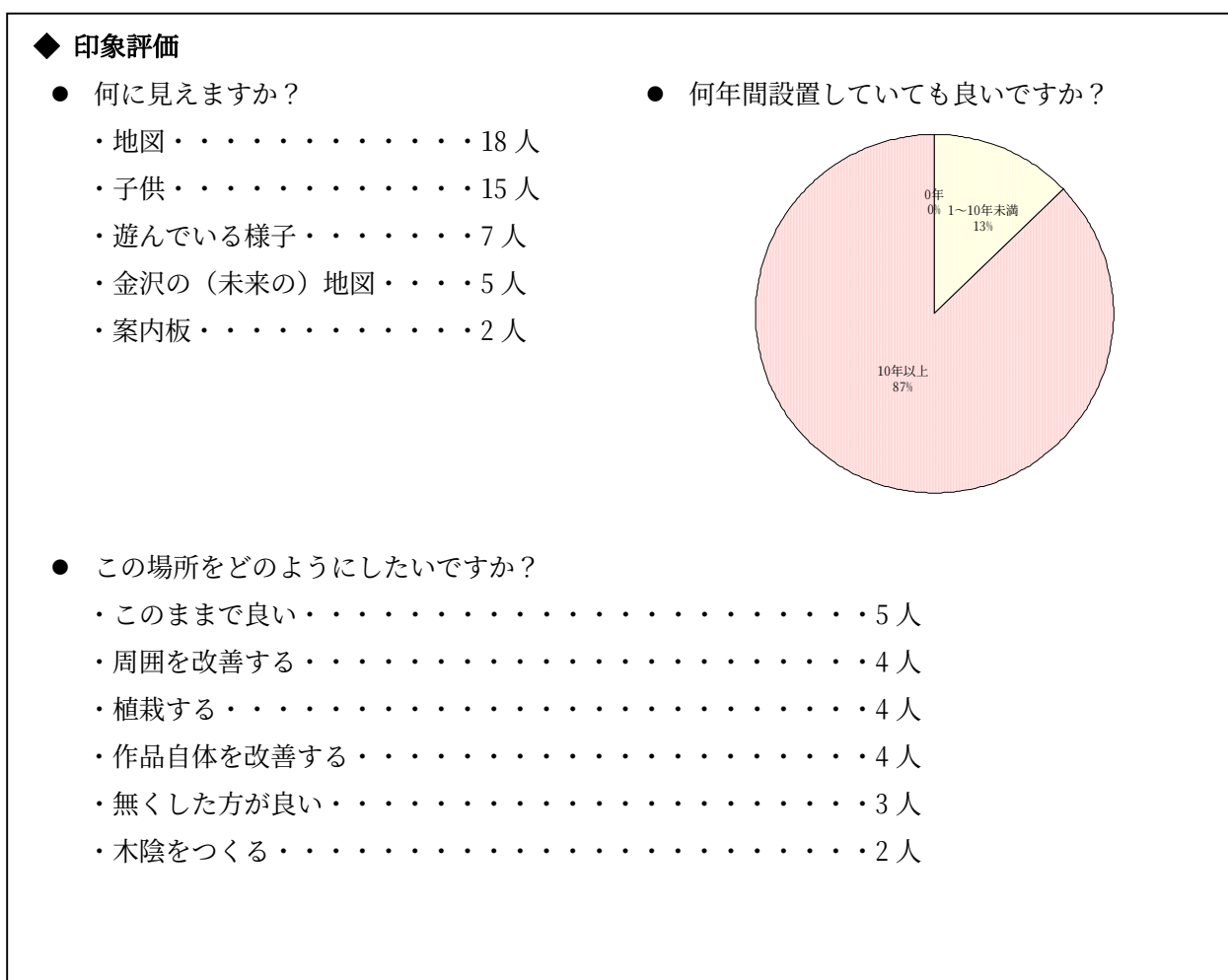
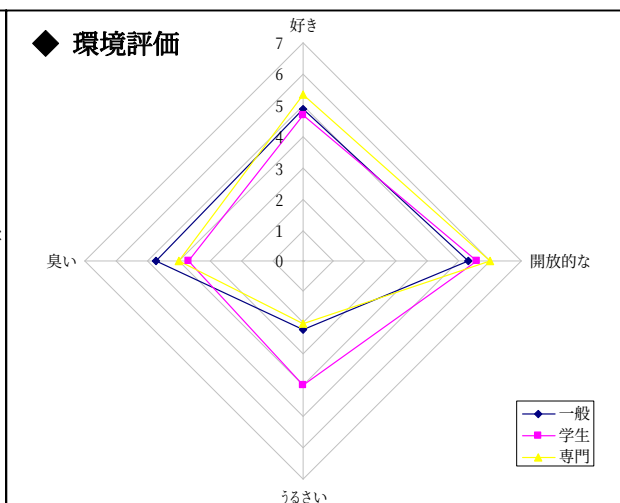
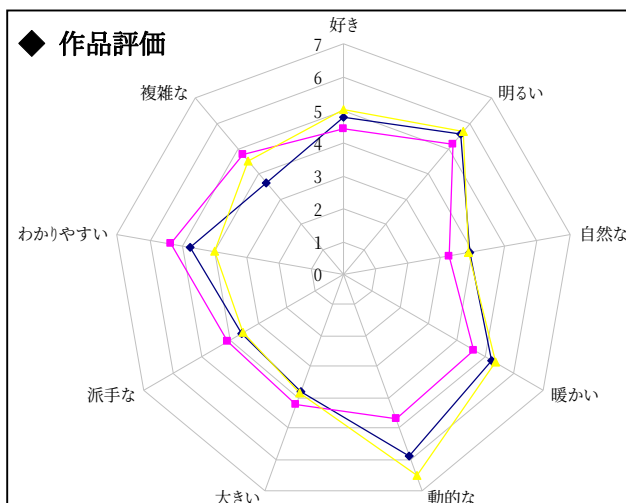


◆ 北東側より



◆ 位置図





◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「金沢らしさや場所性は良い評価」「下の空間を隠すなど設置方法にもう一工夫ほしい」「子供たちがかわいらしい」

◆ 作品概要

作 者：

設 置 者： 香林坊第3地区市街地
再開発組合

設置場所： 香林坊地下道内

設置年度： 1987年（S62年）

区 分： 絵

材 質： 陶板

規 模： H1.8xW（6.0+4.2）

設置経緯： 第2地区再開発事業で
整備された地下横断歩
道内円形広場に設置。

◆ 正面西側より



◆ 南東側より



◆ 北東側より

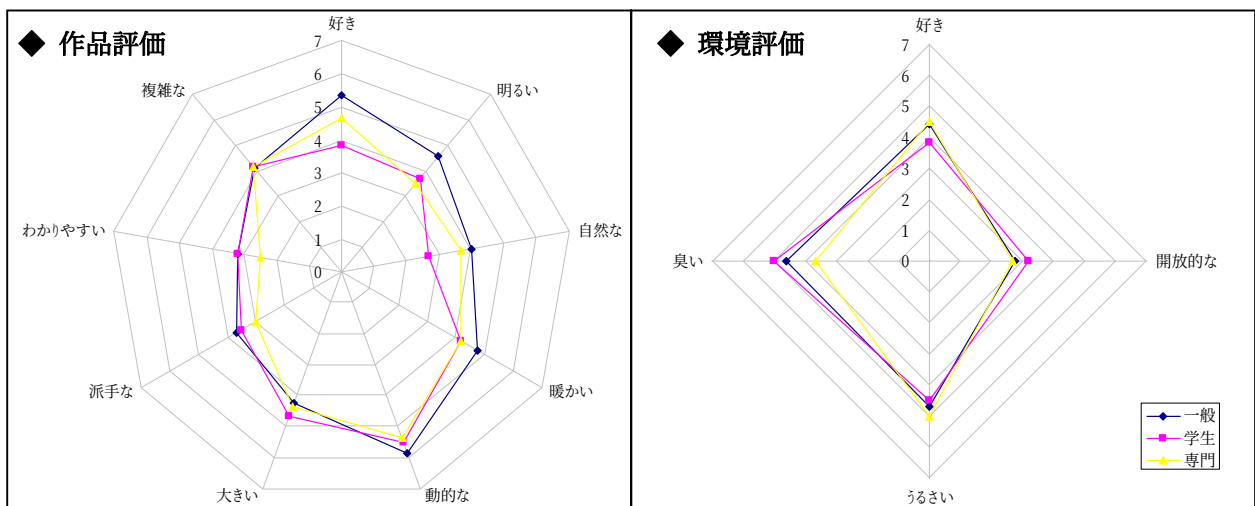


◆ 北西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・ 絵 15 人
 - ・ 壁画 7 人
 - ・ 昔の様子を描いた絵 5 人
 - ・ 地図 4 人
 - ・ 金沢の絵 3 人
 - ・ 日本画 2 人
 - ・ 屏風 2 人
- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・ ベンチを置く 4 人
 - ・ わかりやすく目立つようにする 4 人
 - ・ このままで良い 3 人
 - ・ 全体的にする 3 人
 - ・ 静かな場所にする 2 人
 - ・ 広くする 2 人
 - ・ トップライトをつける 2 人

- 何年間設置していても良いですか？

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「金沢らしさはある観光客・外国人などにはアピールしている」「地下なので空間が暗くあまり鑑賞されていない」「かなり高価なものなのでもっと鑑賞される工夫が必要」

◆ 作品概要

作 者： 長谷川 八十

設 置 者： 石川県

設置場所： 香林坊地下道入口

設置年度： 1986 年（S61 年）

区 分： 彫刻

材 質： 人造石

規 模： H1.68

設置経緯： 香林坊地下道整備に合わせて、もともとあった作品（昭和 43 年製）を設置。

◆ 正面北西側より



◆ 西側より



◆ 北側より

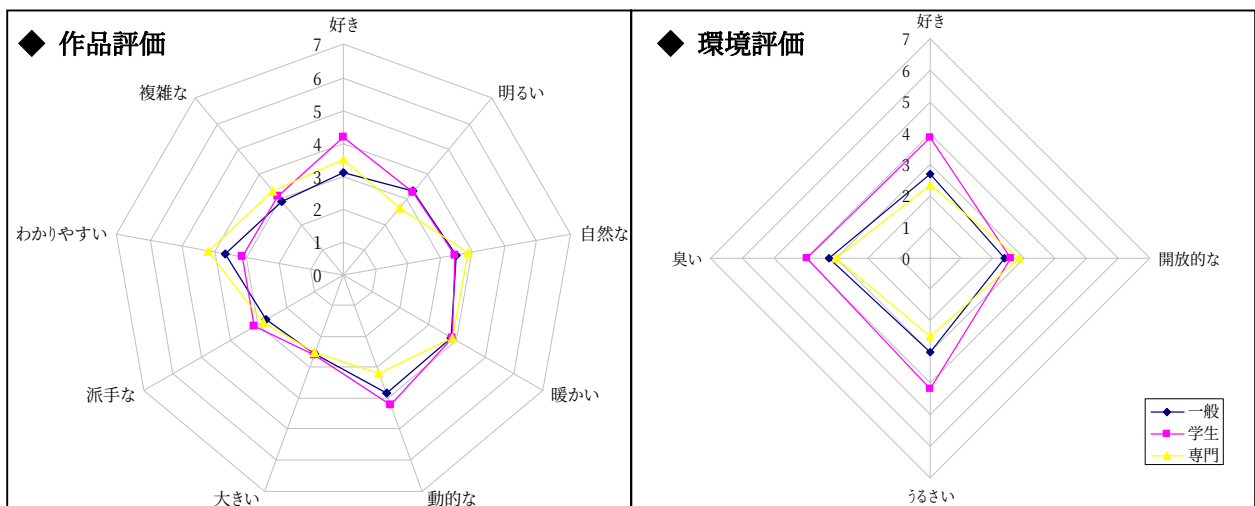


◆ 北西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

● 何に見えますか？

- ・人・・・・・・・・・・20人
- ・女の人・・・・・・・・10人
- ・楽器・・・・・・・・・・3人
- ・OK・・・・・・・・・・2人
- ・丸い人・・・・・・・・2人
- ・古い像・・・・・・・・2人
- ・踊っている姿・・・・3人
- ・手を上げている姿・・・・2人

● この場所をどのようにしたいですか？

- ・周囲を改善する・・・・・・・・6人
- ・明るくする・・・・・・・・5人
- ・用水が見えるようにする・・・・5人
- ・植栽する、植栽を改善する・・・・5人
- ・作品の設置場所を移動する・・・・4人
- ・広くする・・・・・・・・3人
- ・無くした方がよい・・・・2人

● 何年間設置していても良いですか？

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「作品の評価は悪くないが、設置場所の環境が悪い」「日陰でじめじめしている」「周辺の植樹なども貧弱である」

◆ 作品概要

作 者： 郡 順治
 設 置 者： 金沢市
 設置場所： 香林坊街園
 設置年度： 2004 年（H16 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ブロンズ
 規 模： H3. 15, D0. 56, H2. 3
 設置経緯： 金沢まちなか彫刻作
 品コンペティション
 2004 最優秀作品。

◆ 正面北西側より



◆ 北東側より



◆ 西側より



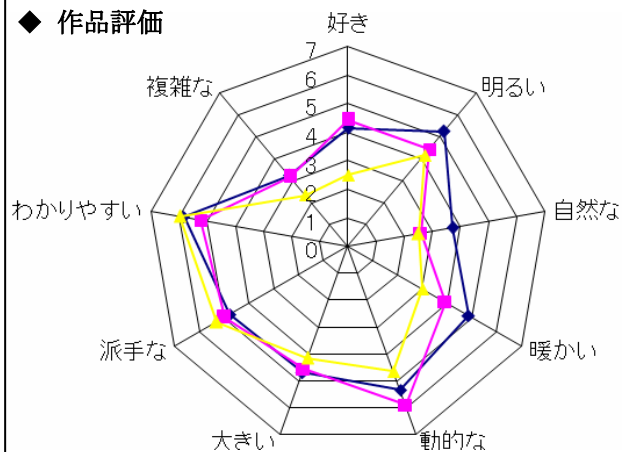
◆ 北側より



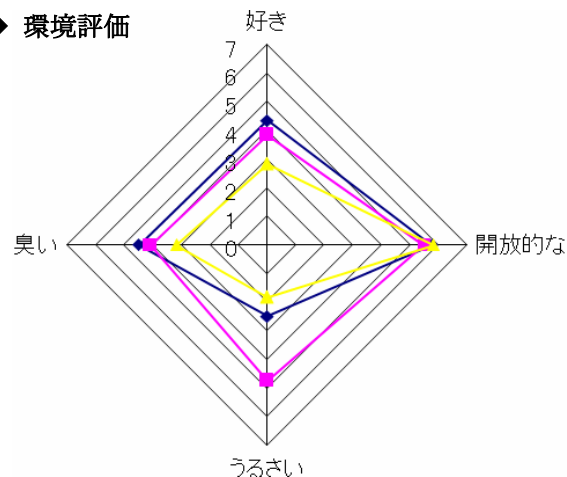
◆ 位置図



◆ 作品評価



◆ 環境評価

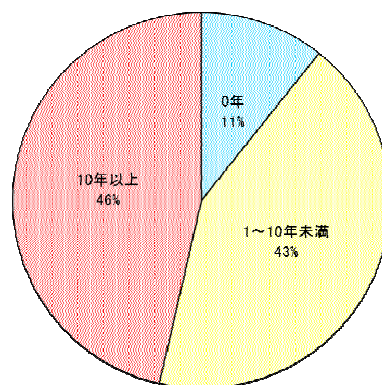


◆ 印象評価

● 何に見えますか？

- ・ 足 20 人
- ・ 絡まる足 3 人
- ・ 妖怪 2 人
- ・ 走る姿 6 人

● 何年間設置していても良いですか？



● この場所をどのようにしたいですか？

- ・ 植栽する 4 人
- ・ 別のパブリックアートを置く 3 人
- ・ このままで良い 3 人
- ・ 静かな場所にする 2 人
- ・ 設置以前のように戻す 2 人
- ・ 定期的に作品を変えていく 2 人

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「コストをかけて整備したという感じがする」「場所としてはパブリックアートにふさわしい」「足の不自由な人にはつらい作品になる危険性がある」

◆ 作品概要

作 者： 米林 雄一

設 置 者： 金沢市

設置場所： 柿木畠緑地

設置年度： 1993 年（H5 年）

区 分： 彫刻

材 質： ブロンズ

規 模：

設置経緯： 緑地整備にあわせ設置。

◆ 正面南側より



◆ 南西側より



◆ 南東側より

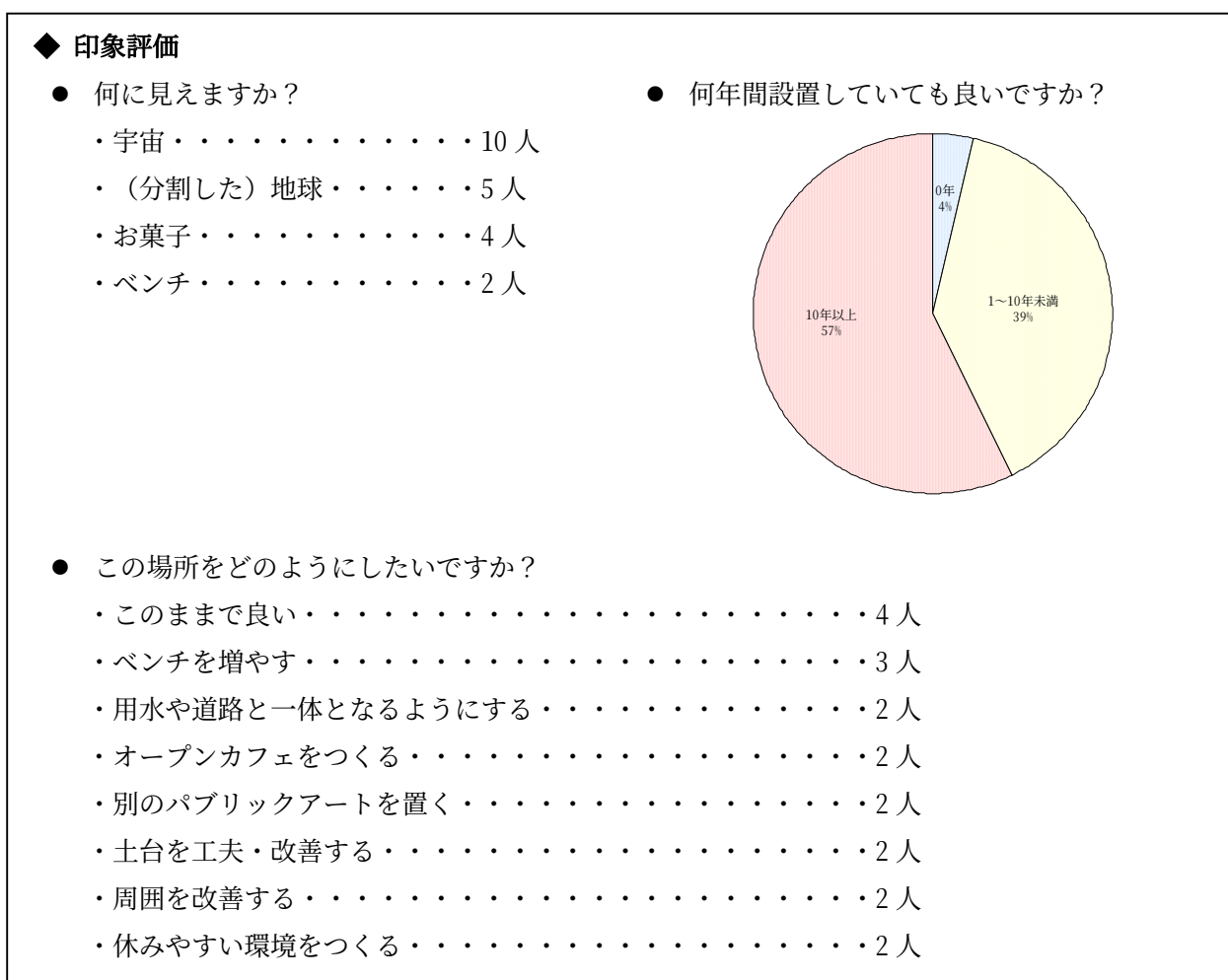
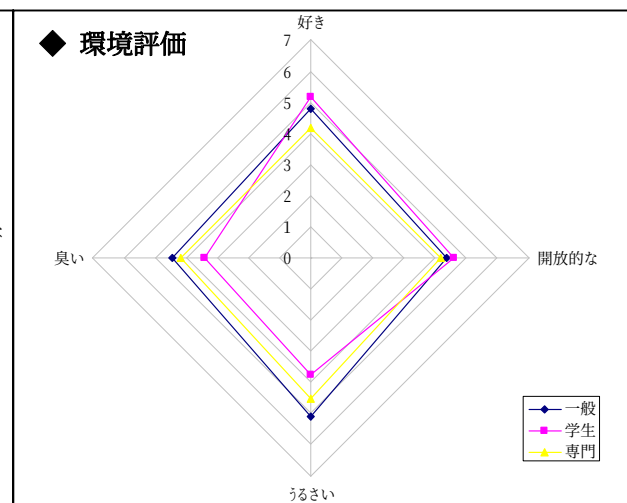
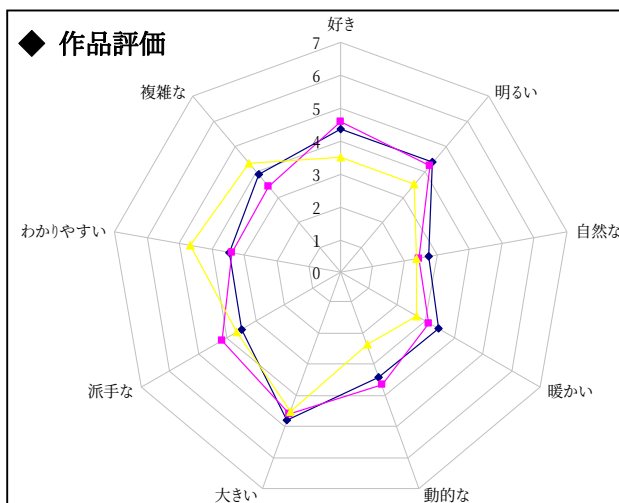


◆ 南西側より



◆ 位置図





◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「シンボルならば名前がほしい」「座らせるつもりではないようだが、ベンチ代わりに使われて汚されている」「見ている分には安定感があり評価が高い」

◆ 作品概要

作 者： 富永 敦也
 設 置 者：
 設置場所： 柿木畠金沢教会前
 設置年度： 1994 年（H6 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： 御影石
 規 模：
 設置経緯：

◆ 正面北西側より



◆ 北東側より



◆ 北側より

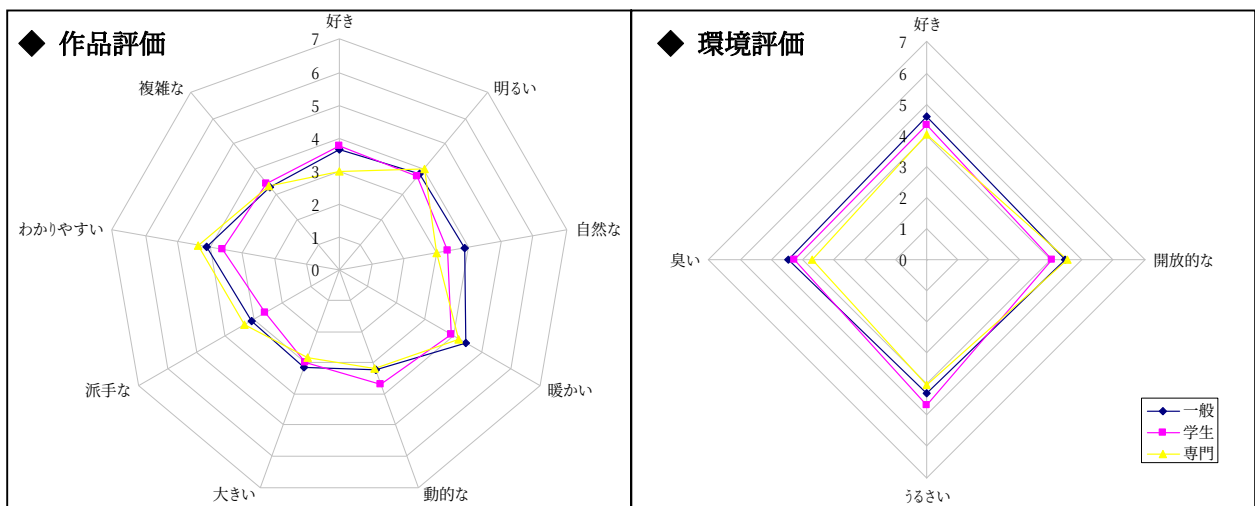


◆ 北西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

● 何に見えますか？

- ・ 人 13 人
- ・ 動物 13 人
- ・ 馬 7 人
- ・ 騎手 3 人
- ・ 井戸のポンプ 3 人
- ・ 石像 3 人
- ・ 馬以外の動物 2 人

● この場所をどのようにしたいですか？

- ・ 用水を生かす 6 人
- ・ ベンチを置く 5 人
- ・ 作品の設置場所を移動する 4 人
- ・ 別のパブリックアートを置く 2 人
- ・ このままで良い 2 人

● 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
0年	4%
1～10年未満	52%
10年以上	44%

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「競馬場に置いたほうがよい」 「この場所には休憩できるものが合っている」 「安定感がないので遠くから見るほうが良い」

◆ 作品概要

作 者： フェルナンド・ロメロ
 設 置 者：
 設置場所： 21世紀美術館外構
 設置年度： 2005年（H17年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ステンレス
 規 模：
 設置経緯：

◆ 正面南側より



◆ 西側より



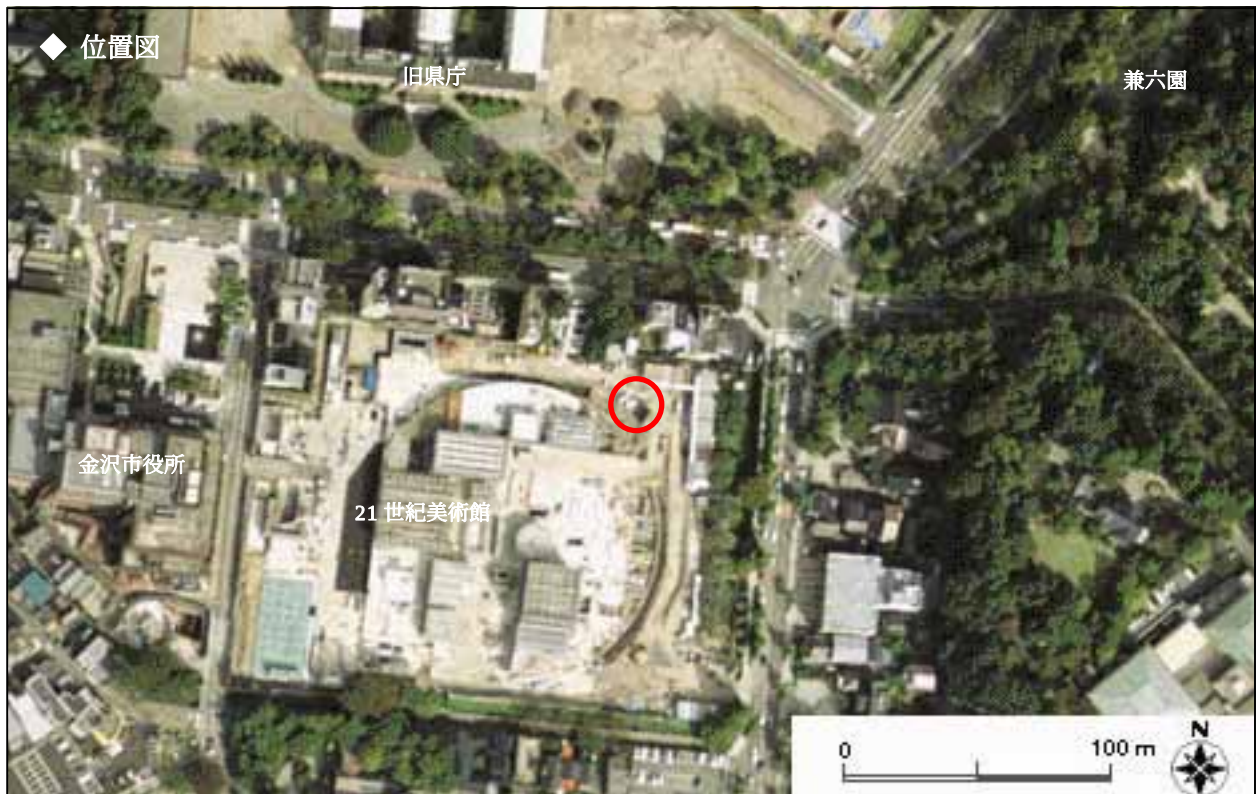
◆ 東側より

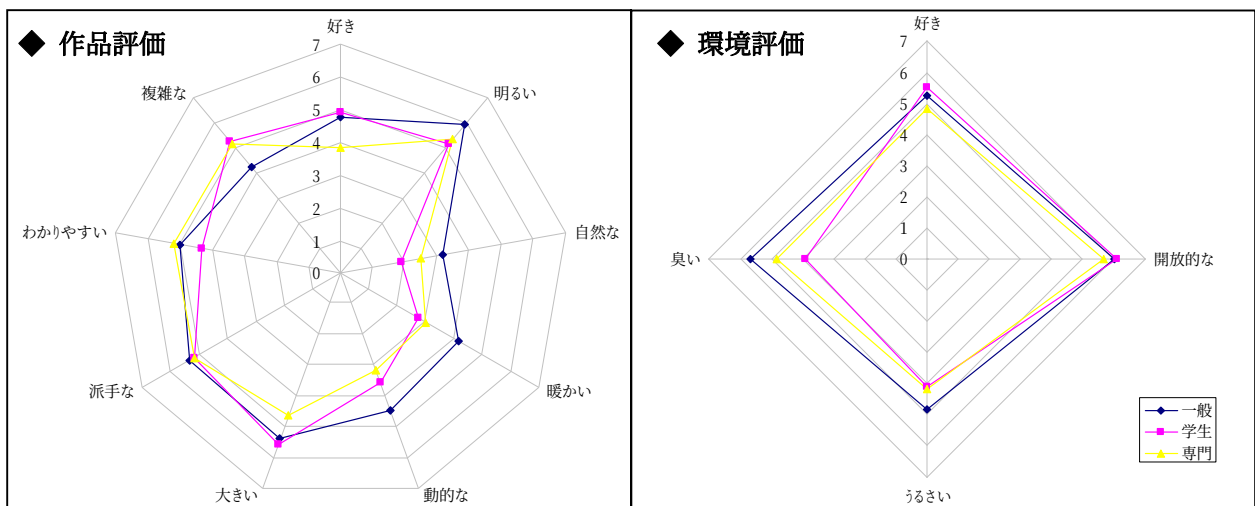


◆ 南西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・ 遊具 9 人
 - ・ かご、檻 8 人
 - ・ ジングルジム 4 人
 - ・ 網 3 人
 - ・ 軟体生物 2 人
 - ・ クモ（の巣） 2 人
 - ・ オブジェ 2 人
- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・ このままで良い 5 人
 - ・ 定期的に作品を変えていく 3 人
 - ・ 芝をきれいにする 2 人
 - ・ 木陰・日陰をつくる 2 人
 - ・ 空間のイメージを変える 2 人

- 何年間設置していても良いですか？

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「中に入れるアートで広い場所に合っている」「あまりアート作品を感じさせず親しみやすい」「傷められる危険性がある」「子供には遊具として見られるが安全性が確保されているか」

◆ 作品概要

作 者：

設 置 者： 旧制県立金沢第二高等
女学校同窓会

設置場所： 21世紀美術館外構

設置年度：

区 分： 彫刻

材 質： ブロンズ

規 模：

設置経緯： 旧制県立金沢第二高等
女学校記念碑。当初の
まま残されている。

◆ 正面南側より



◆ 南西側より



◆ 南東側より

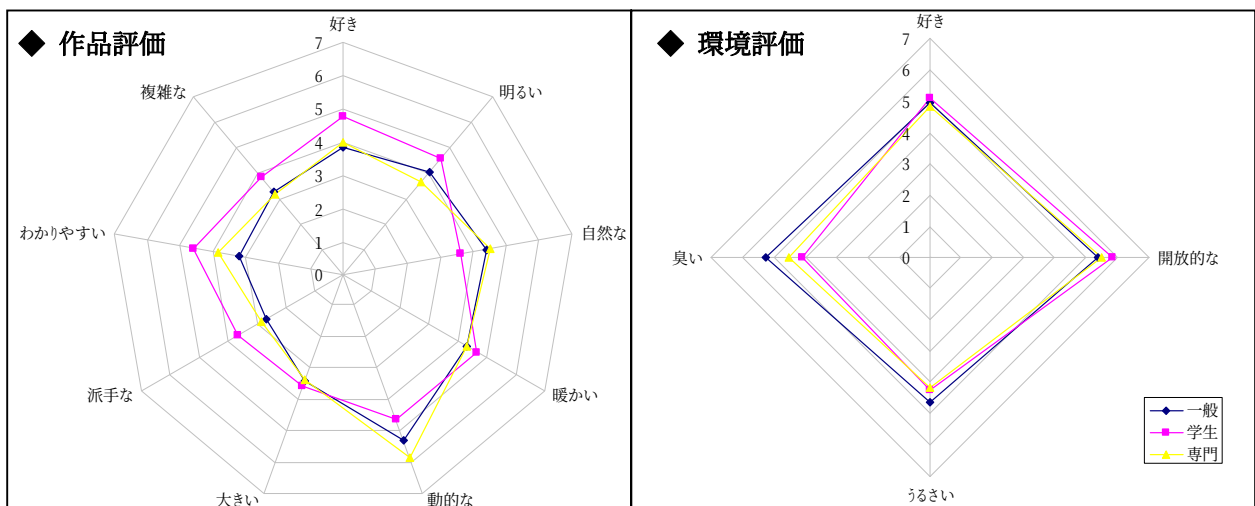


◆ 南東側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・ 女の人・・・25 人
 - ・ 女神・・・2 人
 - ・ くつろいでいる様子・・・2 人
 - ・ 枝を持っている姿・・・2 人
- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・ このままで良い・・・9 人
 - ・ 明るく見えやすくする・・・2 人
 - ・ 歴史的なものとして扱う・・・2 人

- 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
10年以上	64%
1～10年未満	32%
0年	4%

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「もともと合ったものなので設置場所が不自然」「21 世紀美術館とは関連性が低い」「他の作品と並んだときに違和感がある」

◆ 作品概要

作 者：

設 置 者： 金沢市

設置場所： 金沢市役所

設置年度： 1982 年（S57 年）

区 分： ステンレス鉢を含む
噴水

材 質：

規 模：

設置経緯： 市役所新庁舎建設に伴い整備された広場に設置。

◆ 正面西側より



◆ 北西側より



◆ 南西側より

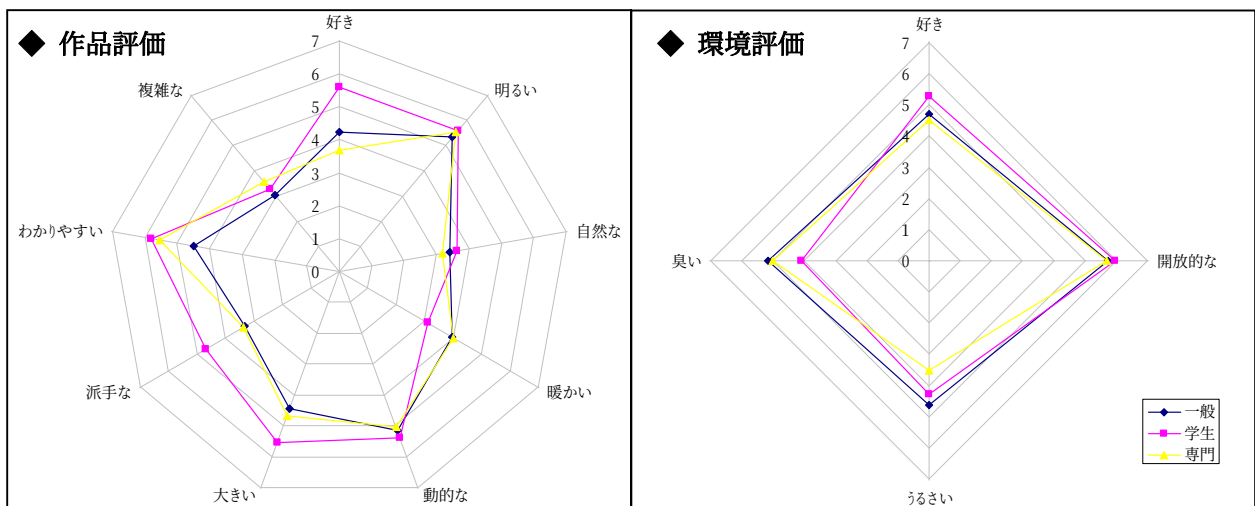


◆ 北西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

● 何に見えますか？

- ・ 水景 20 人
- ・ 噴水 10 人
- ・ 池 8 人
- ・ 器、皿 4 人
- ・ 花 3 人
- ・ 梅 2 人

● この場所をどのようにしたいですか？

- ・ 植栽する 5 人
- ・ 賑わい・開放感のある空間をつくる 3 人
- ・ 座れる場所を作る 2 人
- ・ 水景の形を丸くする 2 人
- ・ 周囲を改善する 2 人
- ・ このままで良い 25 人

● 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
0年	0%
1～10年未満	17%
10年以上	83%

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「水質が悪くなると印象が悪くなるので管理が問題」 「無駄に広く、あまりデザインに工夫が見られない」 「冬は寒々とした印象を与える可能性がある」

◆ 作品概要

作 者： 吉田三郎、谷口吉郎
 設 置 者： 四高同窓会
 設置場所： 近代文学館
 設置年度： 1958 年（S33 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ブロンズ
 規 模： W0.9,D0.67,H2.1
 設置経緯： 第四高等学校同窓会記念碑。四高健児の雄姿を残そうと建立。

◆ 正面南側より



◆ 南西側より



◆ 南東側より

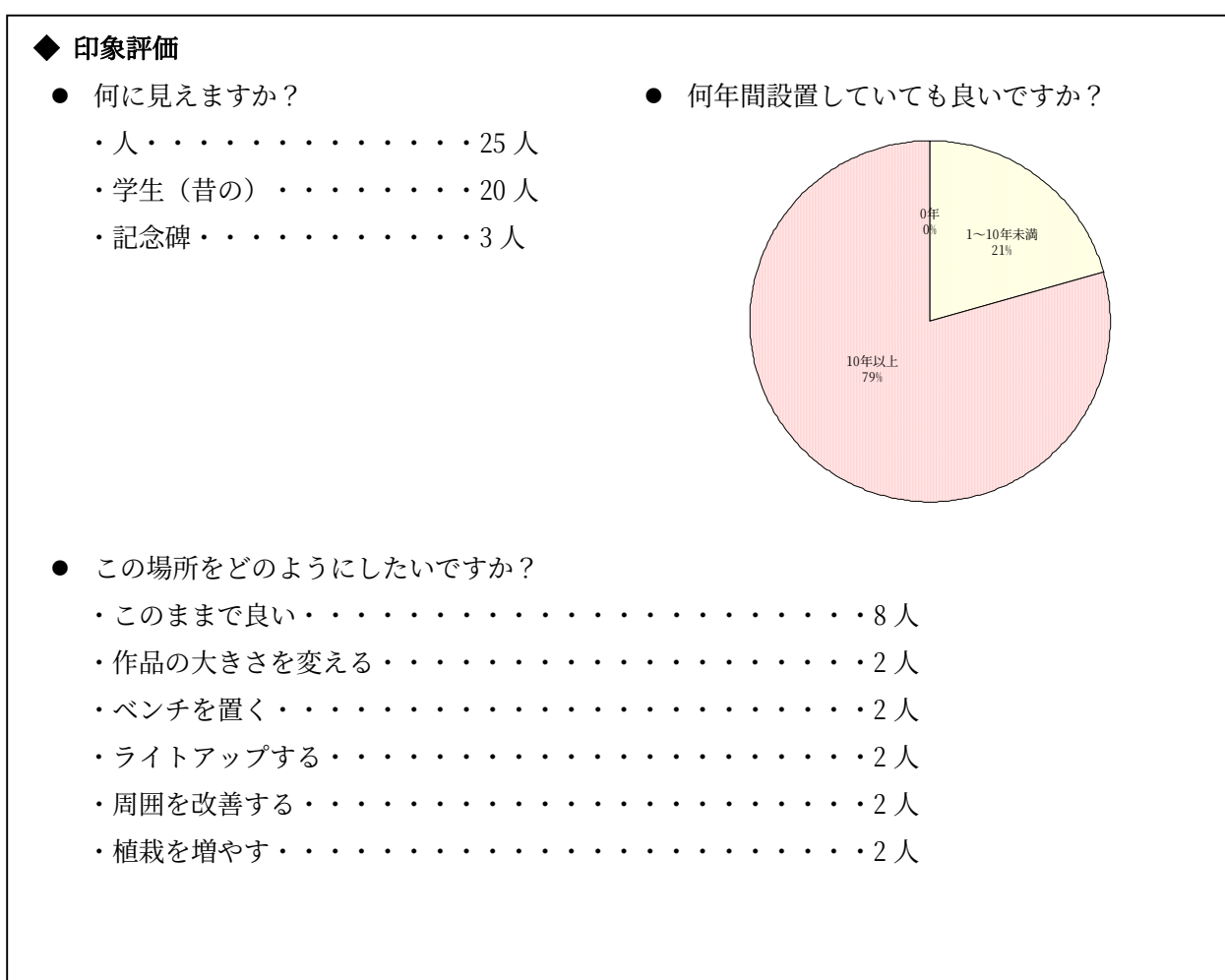
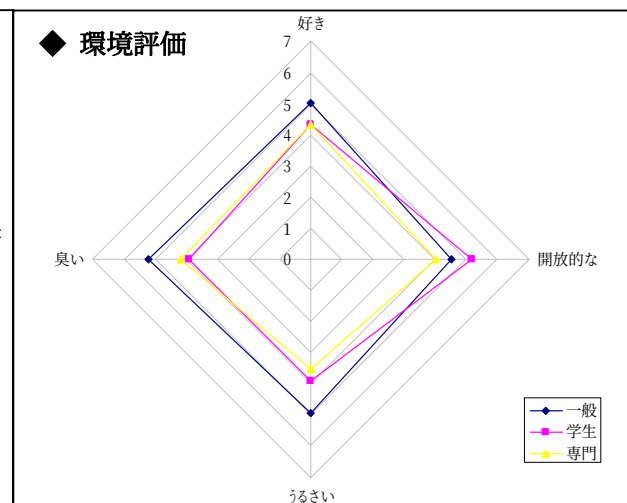
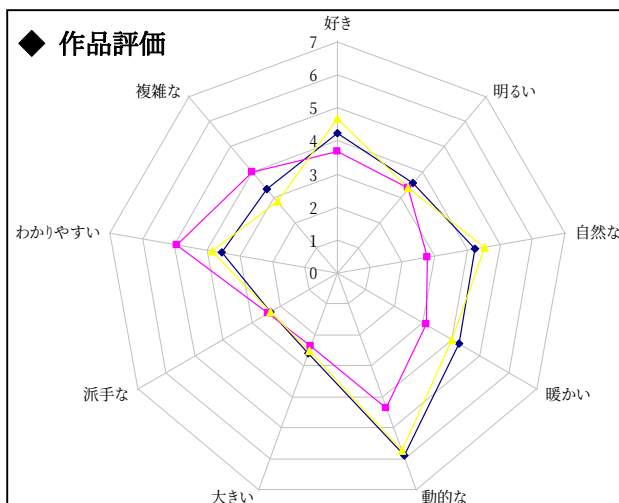


◆ 南側より



◆ 位置図





◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「台座に対して人物像が小さすぎる印象がある」「周りの木は大きくなっているが緑が乏しい印象を与える」「四高の記念碑としてはふさわしい」

◆ 作品概要

作 者： 木村 珪二
 設 置 者： 金沢ロータリークラブ
 設置場所： 金沢中央公園
 設置年度： 1968 年（S43 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ブロンズ
 規 模： W1.5,D0.7,H3.5
 設置経緯： 金沢ロータリークラブ
 創立 30 周年記念事業
 の一つとして建立。

◆ 正面南側より



◆ 南東側より



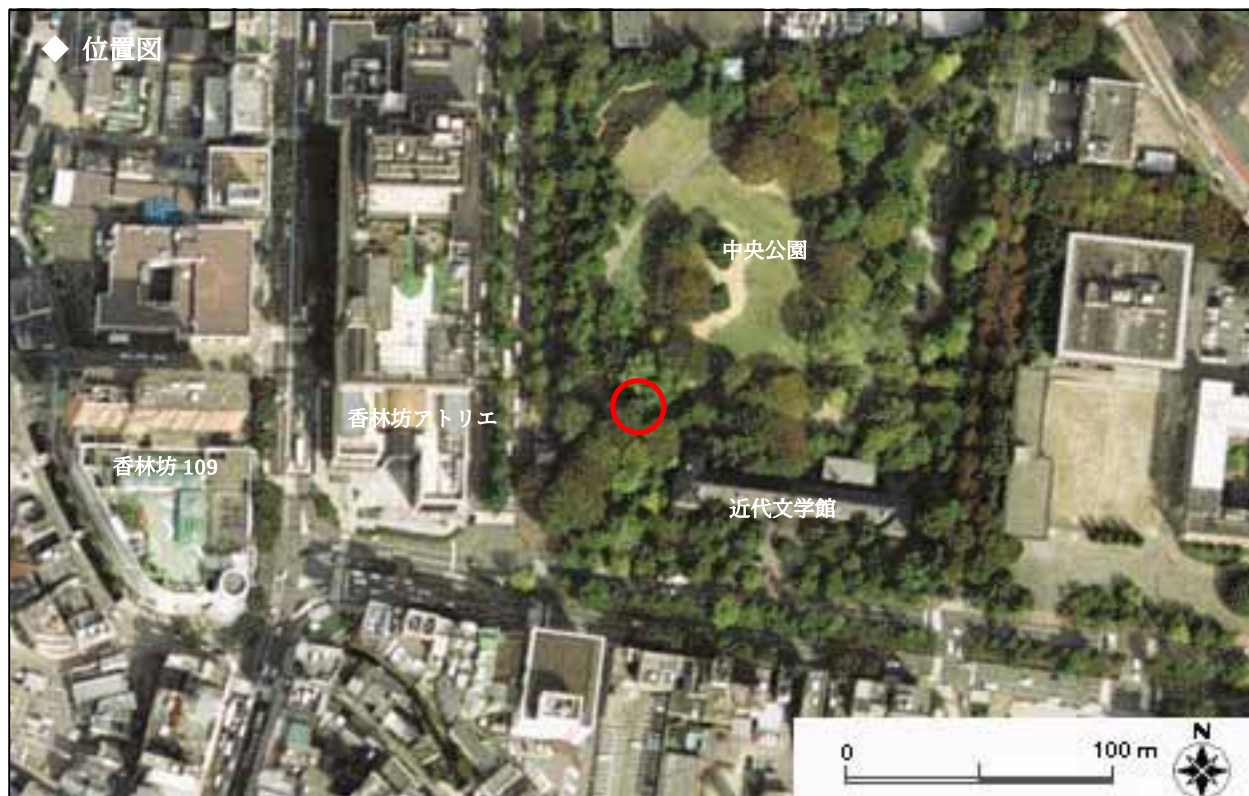
◆ 南西側より

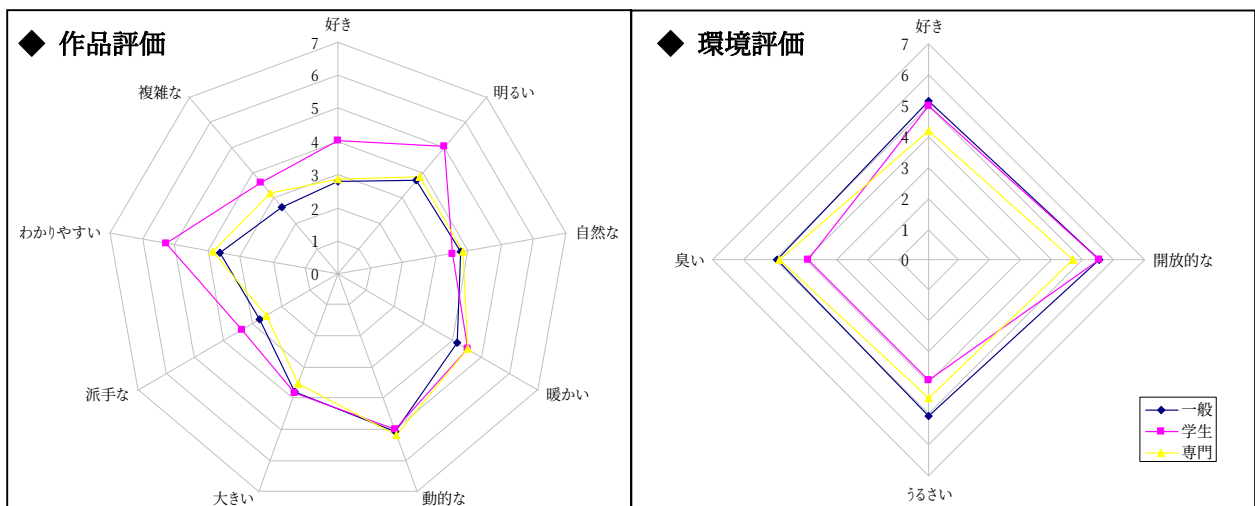


◆ 南側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・ 人 25 人
 - ・ 家族 20 人
 - ・ 希望 2 人

- 何年間設置していても良いですか？

- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・ 周囲を改善する 4 人
 - ・ このままで良い 4 人
 - ・ 何も置かない、無くした方が良い 2 人
 - ・ 作品の設置場所を移動する 2 人

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「金沢市の中心であるのでもっとシンボル性がほしい」「裸である理由が不明である」「公園に設置するパブリックアートとしては台座はないほうがいい」

◆ 作品概要

作 者： 谷口 吉郎
 設 置 者： 石川県
 設置場所： 金沢中央公園
 設置年度：
 区 分： 人口滝
 材 質： 戸室石、御影石、
 コンクリート
 規 模：
 設置経緯：

◆ 正面南東側より



◆ 東側より



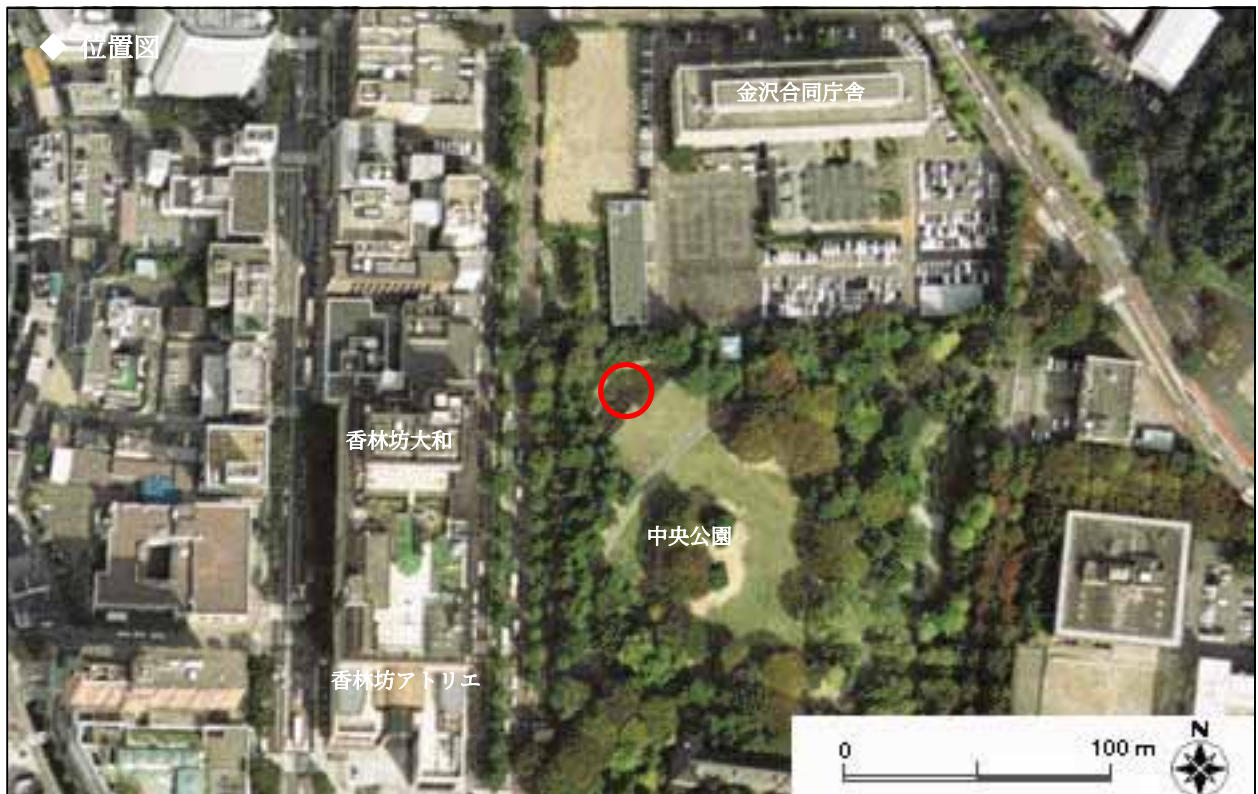
◆ 南側より

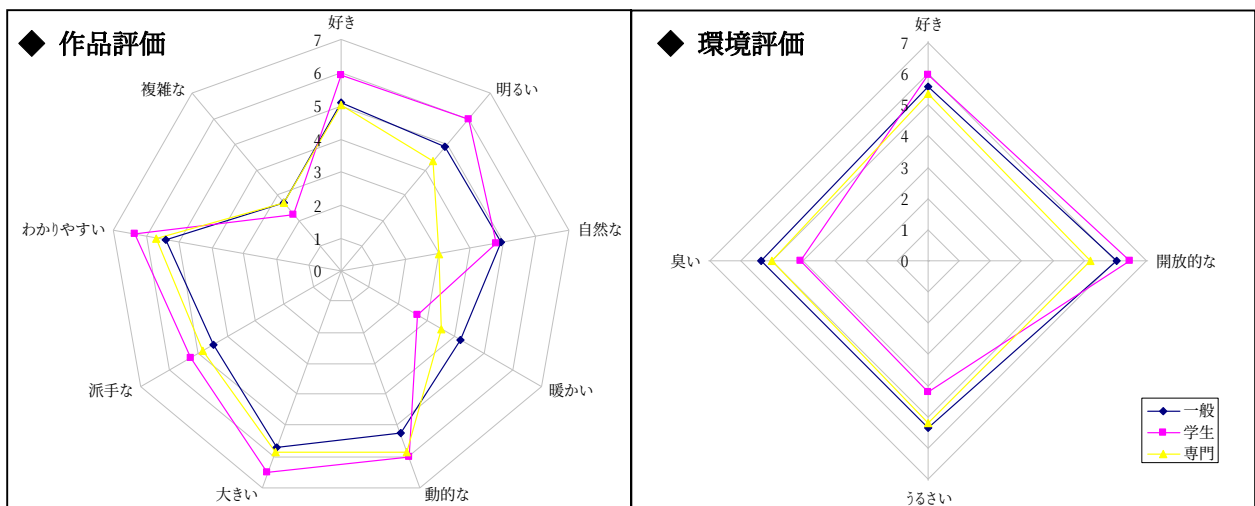


◆ 南東側より



◀ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・ 水景 27 人
 - ・ 滝 26 人
 - ・ ナイアガラの滝 2 人
 - ・ 人口の滝 2 人

- 何年間設置していても良いですか？

- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・ 座れるところを増やす、改善する 7 人
 - ・ このままで良い 6 人
 - ・ 日陰・木陰をつくる 5 人
 - ・ 水の空間を広くする 4 人
 - ・ きれいにする 3 人
 - ・ 作品自体を改善する 3 人

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「全体的に好感度が高かった」「雄大で音も出て涼しさを演出できる」「水質や水を出していない 期間・時間の管理が問題」

◆ 作品概要

作 者： 矩 幸成

設 置 者： 「自由と正義の像」建
設委員会

設置場所： 金沢中央公園

設置年度： 1968 年（S43 年）

区 分： 彫刻

材 質： ブロンズ

規 模： W1.8,D1.1,H4.0

設置経緯： 明治、大正、昭和新聞
関係者を顕彰するため
設置。

◆ 正面西側より



◆ 北西側より



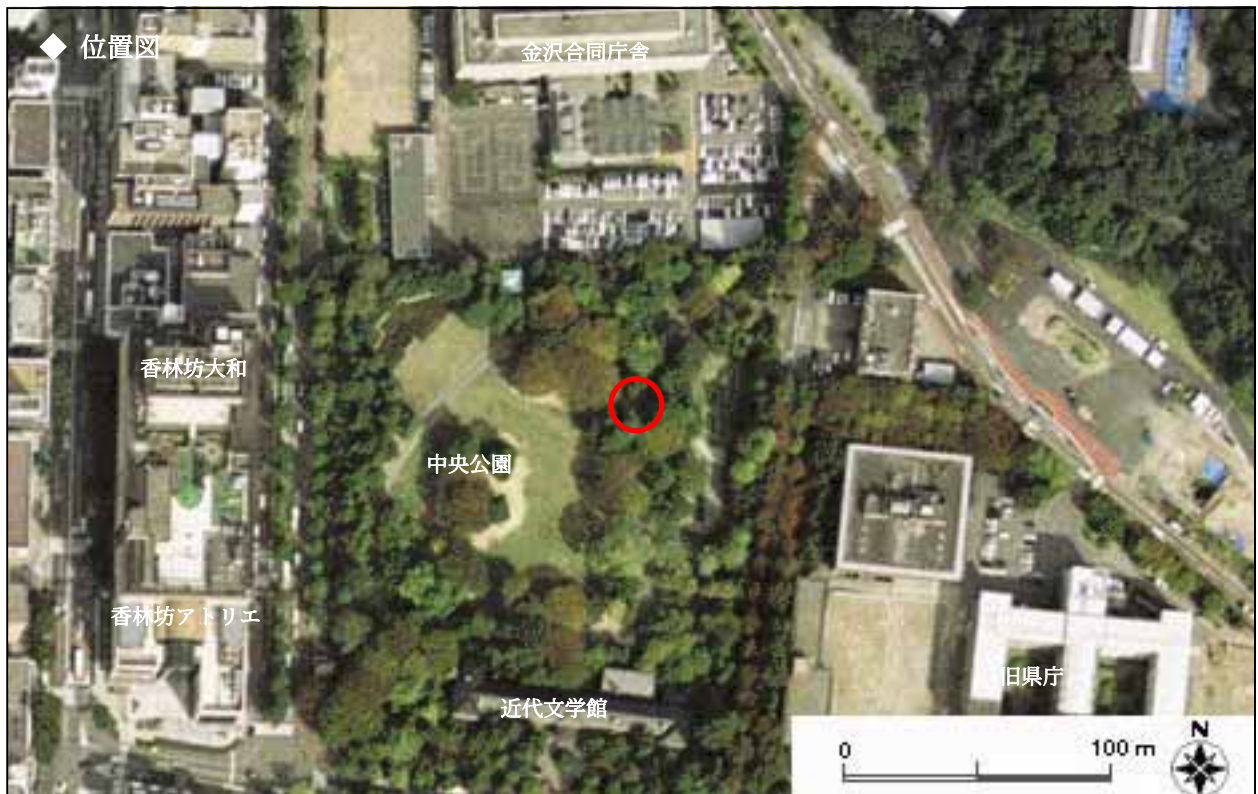
◆ 南西側より

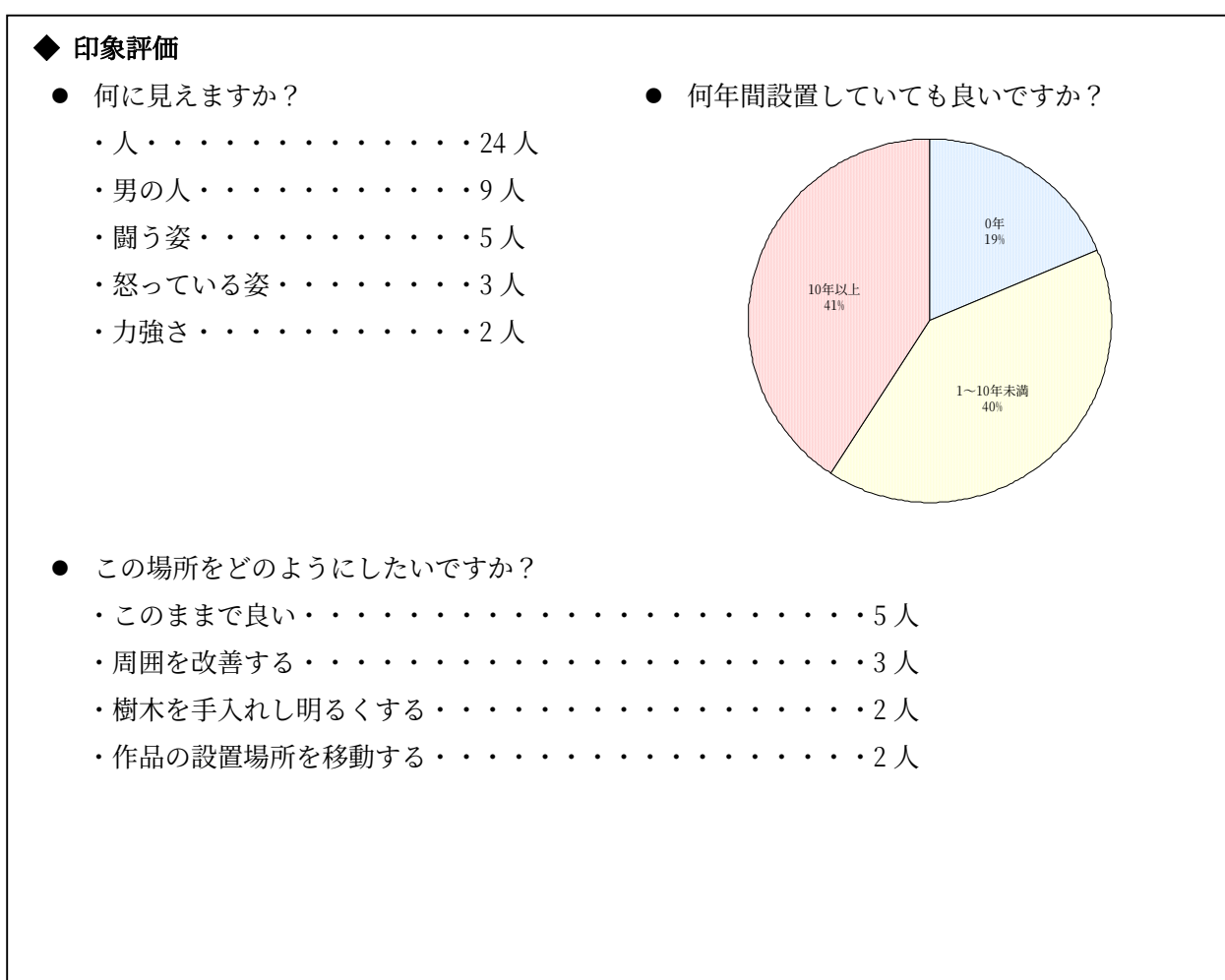
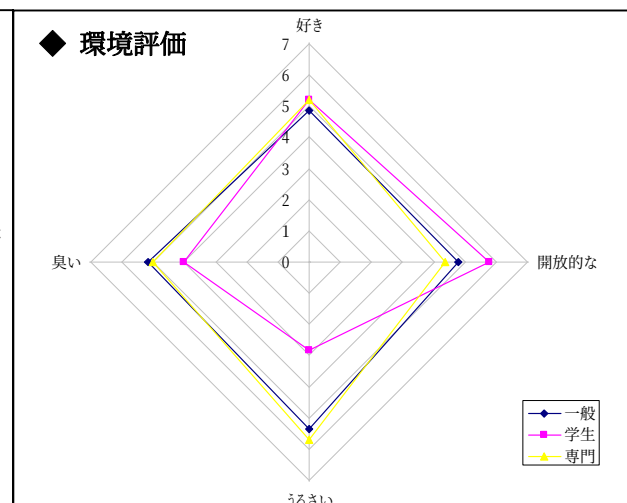
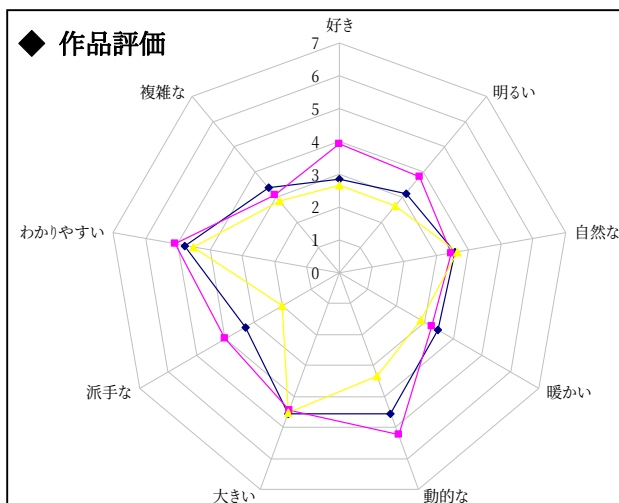


◆ 西側より



◆ 位置図





◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「金沢市の中心であるのでもっとシンボル性がほしい」「裸である理由が不明である」「公園に設置するパブリックアートとしては台座はないほうがいい」

◆ 作品概要

作 者： 長谷川 八十
 設 置 者： 金沢ライオンズクラブ
 設置場所： 金沢中央公園
 設置年度： 1970 年（S45 年）
 区 分： 彫刻
 材 質： ブロンズ
 規 模：
 設置経緯：

◆ 正面南側より



◆ 南東側より



◆ 北東側より

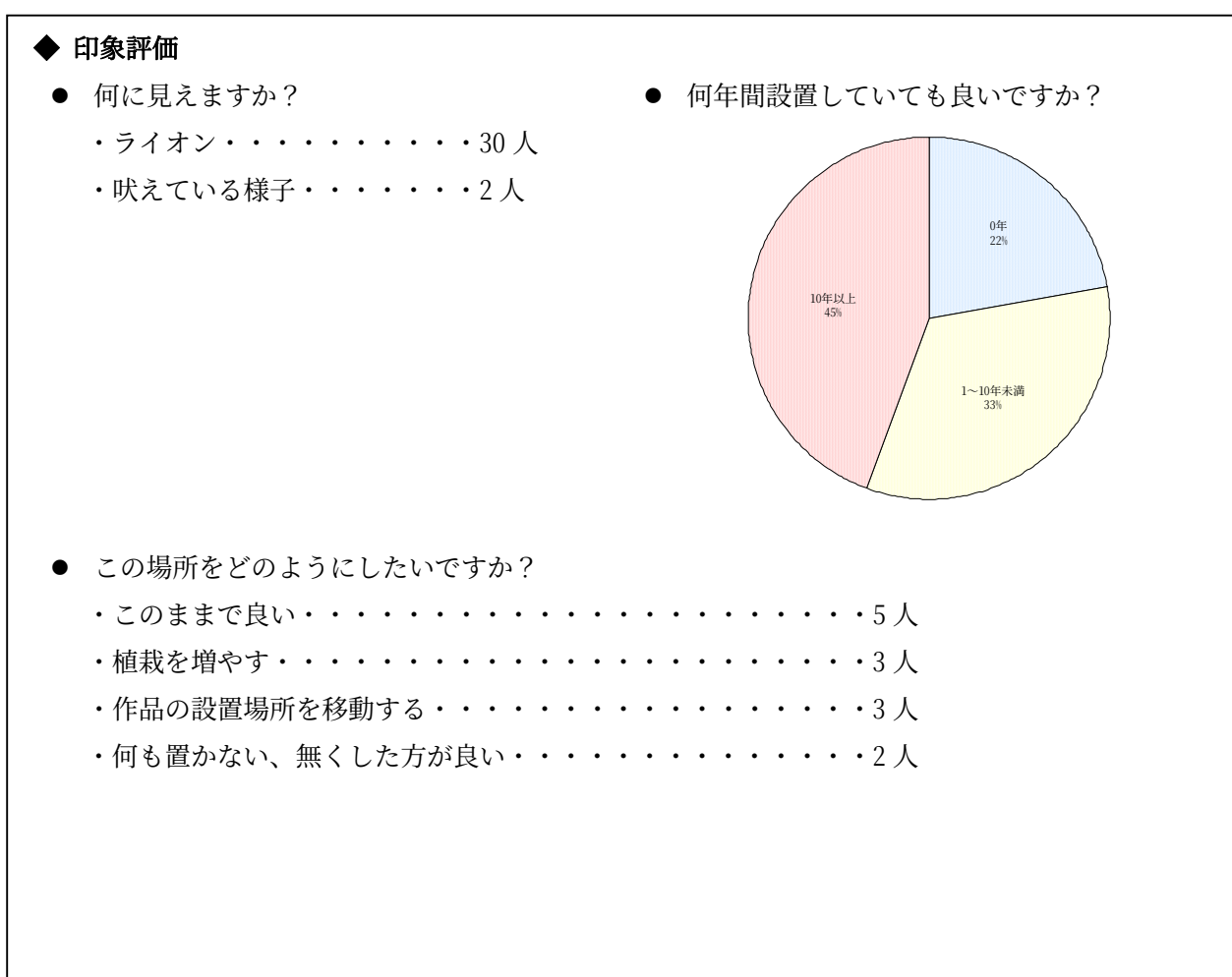
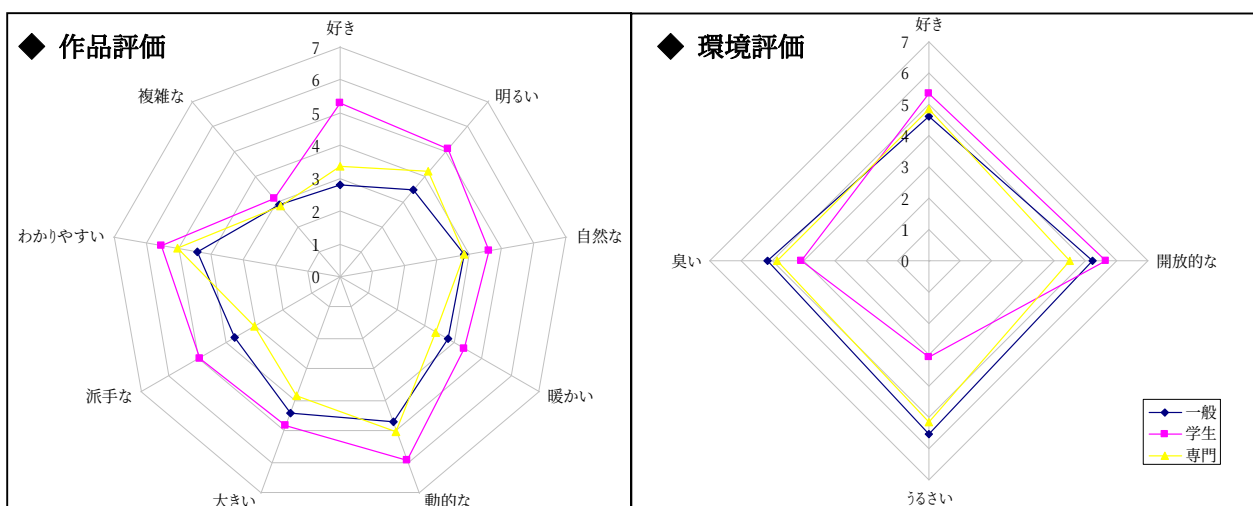


◆ 南側より



◆ 位置図





◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「ライオンであるというのが説得力に欠ける」「北陸で見かける動物が望ましい」「作品として迫力はある」

◆ 作品概要

作 者： 中村 錦平
 設 置 者： 金沢信用金庫
 設置場所： 金沢信用金庫前
 設置年度：
 区 分： 彫刻
 材 質： 金属及びコンクリート
 支柱に陶板貼り付け
 規 模： W3.5,D3.5,H8.0
 設置経緯：

◆ 正面西側より



◆ 北側より



◆ 北東側より

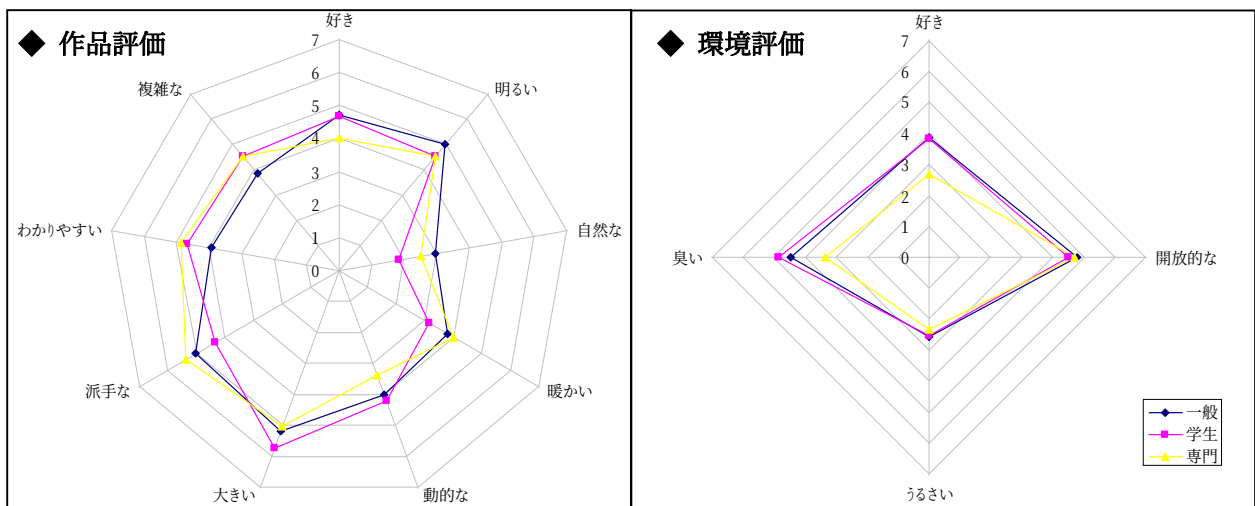


◆ 北西側より



◆ 位置図





◆ 印象評価

- 何に見えますか？
 - ・アーチ・・・・・・・・・・5人
 - ・柱・・・・・・・・・・5人
 - ・ゲート・・・・・・・・・・2人
 - ・タイル張り・・・・・・・・・・2人
- この場所をどのようにしたいですか？
 - ・広くする・・・・・・・・・・4人
 - ・作品自体を改善する・・・・・・・・・・4人
 - ・建物と調和させる・・・・・・・・・・2人
 - ・道路を跨ぐものにする・・・・・・・・・・2人
 - ・建物を小さくする、後退させる・・・・・・・・・・2人
 - ・植栽する・・・・・・・・・・2人
 - ・何も置かない、無くした方がよい・・・・・・・・・・2人

● 何年間設置していても良いですか？

期間	割合
0年	9%
1～10年未満	35%
10年以上	56%

◆ 総合評価

場所にピッタリ度：☆☆☆☆☆ 説明できる度：☆☆☆☆☆ 待ち合わせしたい度：☆☆☆☆☆

◆ コメント

「作品が大きくて設置されていることに気づいていない」「民間が設置したということは評価できる」「方向性が良くわからなくていいのか」

第5章. 分析とまとめ

5-1. パブリックアート評価の分析

個々の評価尺度の属性別（一般市民、学生、専門家）平均値や、総合的な視点からの判断による自由回答項目はデータシート(4章)を参照してほしい。本報告書ではこれについて逐一分析考察は行わない。一覧するにとどめる。

全体の分析は、SD法で得られた数値を基本データとして因子分析を行うこととする。用いたデータは被験者の素データである。総計 1006 のデータのうちどこか 1 箇所でも欠損のあるデータを除くと 911 個のデータとなった。これを用いて分析している。

分析には SPSS 14.0J for Windows によって行った。因子抽出方法は最尤法、回転には Kaiser の正規化を伴うクォーティマックス法を用いた(※)。固有値のスクリープロットを描き、何度か探索的に因子分析を繰り返したところ、6 因子による解が最も妥当性が高いと判断し、因子負荷量と因子得点を求めた。因子負荷量を下表に示す。(※因子の抽出には諸説あるが、データ数が多く多様なデータが含まれている今回のような場合には、斜交解を用いるのもひとつであるが、今回は大きく異なることは無かったので直交解で分析した。)

表 5-1. 6 因子解による因子負荷量と各因子の解釈

	総合的 評価性	(環境の) 開放性	暖かみ	アピール性	古典性	(環境の) 都市性
好き	0.90	0.03	0.13	0.07	-0.02	0.02
楽しい	0.80	0.05	0.18	0.29	0.01	-0.06
美しい	0.73	0.07	0.23	0.10	0.09	-0.01
適合した	0.61	0.14	0.01	-0.03	0.02	0.20
明るい	0.50	0.28	0.23	0.34	-0.04	-0.10
S明るい	0.19	0.83	0.05	0.05	-0.10	0.04
S広い	0.16	0.80	-0.07	0.03	0.17	0.26
S開放的	0.16	0.87	-0.02	0.03	0.05	0.11
暖かい	0.23	0.00	0.63	0.00	0.03	-0.02
自然な	0.12	-0.07	0.60	-0.11	0.12	0.22
硬い	-0.18	-0.02	-0.61	0.03	-0.11	0.09
派手な	0.36	0.13	0.11	0.78	0.02	-0.07
新しい	0.45	0.02	-0.11	0.44	-0.43	-0.11
大きい	0.30	0.17	-0.20	0.42	-0.03	0.13
複雑な	0.09	-0.05	-0.09	0.41	-0.10	-0.01
具体的な	0.06	0.08	0.29	-0.25	0.68	0.07
動的な	0.36	0.10	0.35	-0.03	0.45	0.08
S好き	0.40	0.37	-0.07	-0.04	0.13	0.48
Sうるさい	0.11	0.09	-0.06	-0.08	0.11	0.41
S臭い	-0.05	0.09	0.11	0.06	-0.06	0.37
わかりやすい	0.29	0.26	0.14	0.24	0.27	-0.07

尺度の前に S が付いているものは環境側の評価であることを示す。

第 1 因子は「好き」「楽しい」「適合した」「明るい」といった尺度に負荷が大きい。また、これら以外にもいくつかの尺度に負荷が大きめに出ているところから、「総合的な評価性」と判断した。第 2 因子は「(環境が)明るい」「(環境が)広い」「(環境が)開放的」といった尺度が中心である。そのため「環境の開放性」であると解釈した。第 3 因子は「暖かい」「自然な」「やわらかい」といった尺度

が中心であるので、「暖かみ」の因子であると解釈した。第4因子は「派手な」だけに負荷が大きい。「新しい」「大きい」「複雑な」「明るい」にもやや大きめの負荷があるところから「アピール性」であると判断した。第5因子は「具体的な」の負荷が大きくそのほかは「具体的な」「古い」にやや負荷がある。これは具象的な彫刻に対する評価が現れているものと思われるので「古典性」と解釈した。第6因子は特に大きな負荷は無いが、環境に関わる3つの尺度「(環境が)好き」「うるさい」「臭い」といった尺度への負荷量が相対的に大きく「環境の都市性」と考えた。

表5-2に因子得点を相対的棒グラフとして示す。このグラフは個人ごと、対象ごとに得られた因子得点を評価を行ったものの属性（一般市民、学生、専門家）別に平均したものである。

表5-2. 抽象的な彫刻に対する因子得点

対象	属性	総合的 評価性	(環境の) 開放性	暖かみ	アピール性	古典性	(環境の) 都市性
01 悠颺(ゆうよう)	一般						
01 悠颺(ゆうよう)	学生						
01 悠颺(ゆうよう)	専門						
02 彫刻 U	一般						
02 彫刻 U	学生						
02 彫刻 U	専門						
04 SPIRAL KAN	一般						
04 SPIRAL KAN	学生						
04 SPIRAL KAN	専門						
05 鼓動	一般						
05 鼓動	学生						
05 鼓動	専門						
07 樹林の精	一般						
07 樹林の精	学生						
07 樹林の精	専門						
10 CORPUS MINOR #1	一般						
10 CORPUS MINOR #1	学生						
10 CORPUS MINOR #1	専門						
12 The Sundial	一般						
12 The Sundial	学生						
12 The Sundial	専門						
14 FUGA	一般						
14 FUGA	学生						
14 FUGA	専門						
20 イメージの立女	一般						
20 イメージの立女	学生						
20 イメージの立女	専門						
22 柿木畠広見シンボル	一般						
22 柿木畠広見シンボル	学生						

[illegible]

表 5-3. 具象的な彫刻に対する因子得点

対象	属性	総合的 評価性	(環境の) 開放性	暖かみ	アピール性	古典性	(環境の) 都市性
03 終わりのなきコンチェルト	一般						
03 終わりのなきコンチェルト	学生						
03 終わりのなきコンチェルト	専門						
06 薫風	一般						
06 薫風	学生						
06 薫風	専門						
11 健康	一般						
11 健康	学生						
11 健康	専門						
13 岬	一般						
13 岬	学生						
13 岬	専門						
15 浄	一般						
15 浄	学生						
15 浄	専門						
16 萬生如意	一般						
16 萬生如意	学生						
16 萬生如意	専門						
18 まちしるべ	一般						
18 まちしるべ	学生						
18 まちしるべ	専門						
21 走れ！	一般						
21 走れ！	学生						
21 走れ！	専門						
25 乙女の像	一般						
25 乙女の像	学生						
25 乙女の像	専門						
27 四高記念碑	一般						
27 四高記念碑	学生						
27 四高記念碑	専門						

28 ひさかたの像	一般												
28 ひさかたの像	学生												
28 ひさかたの像	専門												
30 自由と正義の像	一般												
30 自由と正義の像	学生												
30 自由と正義の像	専門												
31 愛と希望	一般												
31 愛と希望	学生												
31 愛と希望	専門												

表 5-4. 水景などその他のアートに対する因子得点

対象	属性	総合的 評価性	(環境の) 開放性	暖かみ	アビール性	古典性	(環境の) 都市性
08 水景(駅前)	一般						
08 水景(駅前)	学生						
08 水景(駅前)	専門						
09 水景(駅前時計)	一般						
09 水景(駅前時計)	学生						
09 水景(駅前時計)	専門						
26 水景(市役所)	一般						
26 水景(市役所)	学生						
26 水景(市役所)	専門						
29 水景(中央公園)	一般						
29 水景(中央公園)	学生						
29 水景(中央公園)	専門						
17 広場ステージ	一般						
17 広場ステージ	学生						
17 広場ステージ	専門						
19 壁画	一般						
19 壁画	学生						
19 壁画	専門						

「10 CORPUS MINOR #1」のように地域住民から問題視されていたものも、今回の評価ではそれほど低い評価とはなっていない。また、このグラフでは平均値しかわからないのであるが、個人ごとのデータを見てみると個人差が大きい。これはこのような奇抜な形態の彫刻の特徴のひとつである。このようなものを日常的に目にする地域住民と、その地域への訪問者では着眼点が異なっている可能性もある。

属性にかかわらず全体的には同じような評価にある傾向がうかがわれる。専門家の評価が一般市民や、学生の評価と異なっている場合がある。「01 悠颺(ゆうよう)」「05 鼓動」「21 走れ!」といったものである。これらはどちらかというとモチーフの奇抜なものである。作品そのものに対する評価というよりも、周囲の環境との適合性に重きを置いた評価になっていることが考えられる。

水景についてみると学生はすべての水景について総合的評価性の値が高い。学生は水景をより好ましいものであると評価している。

5-2. まとめと今後の課題

(1) 今回の調査を行って

今回の調査対象は、金沢駅から広坂にいたるアートアベニュー沿いの 32 作品である。これは、金沢市内に置かれたパブリックアート（われわれが定義した約 70 点）のうちの半数近くにあたり、調査対象としては十分であると考えた。アートアベニューは、特にパブリックアートが集中しており、効率よく調査できたことも重要なことであった。

今年度の調査は、参加したメンバー全員にとって非常に新鮮な経験となった。メンバーの多くが永年金沢近辺に居住し、金沢のアートアベニューでもある大通りも頻繁に歩いているにもかかわらず、今回調査対象のパブリックアートは馴染みのないものが多かった。実際に歩いて見て回ると、「こんなところにこんなものが」と初めて気づくものが多い。ふだんからそういったものへ関心が高い専門家であっても気づきにくいのであるから、一般市民はなおのこと気づいていないものが多いのではないかと考えられる。パブリックアートが市民権を得て、街の中に適切なものが設置されるようになるには、いっそう市民の関心を引き起こすような工夫が求められる。

また、国際コンペという鳴り物入りで設置が決まった何点かの作品についても、市民の参加者は「あることは知っていたがあまり意識していなかった」、「国際コンペで決まったことをしらなかった」、「それほど興味がなかった」など、専門家以外にはあまり認知されていないようであった。

(2) パブリックアートのあり方について

パブリックアートについては、辞書による定義に加え、さまざまな文献・資料による調査によりわれわれとしての定義を試みた。もともとパブリックアートとは、狭義には公共の目的に合わせて設置された芸術作品のことであるが、一般的にはかなり拡大解釈して使われており、「公共空間におかれた芸術作品」というのが妥当な定義であろう。しかし、本来パブリックアートの目的とするところとこの広義の定義の違いは、今後のパブリックアートを考える上で一つの改善方向を示しているともいえる。

パブリックアートは、文字通り私的なものではない。であるならば、その土地の文脈に適合したものでないと地元市民に受け入れられない。適合性を留保する仕組みが現在のパブリックアートには欠けているのである。パブリックアートと言いながら、パブリック（市民）にあまり親しまれていないことが図らずも明らかになった形であった。

(3) 今回の市民による評価で分かったこと

個人的な好みの差が大きなものもある。好みの差が大きいからといってすぐに不適切というわけではない。いつの時代でも理解されるようなものが望ましいが、将来的にその土地に根づく可能性があり、普遍的な街並みの美しさを実現できるかどうかは、関心の無い市民の判断は反対に不適切になる可能性がある。その判断は設置者、作者、市民、都市の専門家の議論によって多面的になされることで実現に近づく。市民もまちづくりや都市の環境に関心を抱き、市民自らがさまざまな都市政策にかかわるような仕組みを作り出すことが、これからのパブリックアートをより開かれた民主的なものにする上で必要なことである。

特に、設置に際しては注目してもその後のメンテナンスや撤去についてどうするかといったことについての取り決めは明確ではない。そのため、ケースバイケースで対応することになり統一的な扱いが難しい。将来を見通したパブリックアートの生かし方を考えていく必要があるだろう。

今回調査したものの活用であるが、ここにあがったもの以外にも金沢市内には多くのパブリックアートが存在する。将来的には全件のデータベースとして、設置や撤去の基礎資料として活用できるものになれば望ましい。

(4) 今後パブリックアートに望まれること

今回の調査の結果、今後パブリックアートの設置を検討していく上で検討すべき点、留意すべき点、改善が望まれる点などを以下に列記する。

【屋外に設置するものとしての要件】

- ・歩道に設置されているものは、歩行者の通行を妨げないように配慮する必要がある。
- ・歩道や公園など人が多い場所に置かれるため、地震に対する安全性（設置方法の安全性・設置場所の安全性・アート自体の安全性）が求められる。
- ・またパブリックアートには、触ったり、座ったり、乗ったりできるものもあり、遊具などと同様な安全性も求められる。
- ・いったん設置されると風雨にさらされるため、耐腐食性や錆対策が求められる。Corpus Minor#1のように錆が出ることも作品の意図である場合は、設置前にその旨を明らかにする、錆受けを設けるなど周辺に錆が流れ出さない配慮が必要である。
- ・県や市でパブリックアートを一括して管轄する部署がない。継続的で考え方の首尾一貫したパブリックアートの状態を維持するための管理方法を考えていくことが必要である。

【パブリックアートとしての要件】

- ・パブリックアートは、不特定多数が鑑賞することを前提としている。すべての人が納得するものを選ぶことは困難であろうが、特定の人に不快感を当てるもの、侮辱されたと感じられるもの、嫌悪感を催すものなどは避けるべきであろう。この意味から、裸婦像はパブリックアートにはあまりふさわしくないし、身体の一部を強調した作品にも留意する必要がある。身体障害者・女性など一部の人には反感を買う可能性がある。
- ・全体に彫刻が多く、その中でもブロンズ像が多い。壁画やレリーフなどバラエティがほしい。また、動きのあるもの、音の出るものなど、五感を刺激するようなものがあつたほうがいい。
- ・アートよりも台座のほうが目立つものが見られる。台座が高すぎるものが多い。
- ・設置した当初の意図が見えないものが多い。できれば地区ごとにテーマ性を持たせるといったように、楽しく鑑賞できるような工夫もあってよいのではないか。本来パブリックアートには、歴史性や、場所性、ストーリー性などが必要と考えられる。既存のパブリックアートは、金沢らしさや前田家などの歴史を感じさせる作品が少ない。
- ・軽薄であつたり安っぽかつたりするようなものは少なかったのは、評価すべき点である。
- ・パブリックアートは周辺の汚いものを隠す意味を持っていたが、管理状態が悪いと汚いものを際立たせてしまう場合もある。
- ・写真を撮りたくなるような金沢らしいスポット（品があり、記念となるもの）を作ることで、よりまちの魅力を増すことができるのではないか。

【既存のものに対する改善点】

- ・公園や緑地に設置するアートに台座は不必要と思う。台座を作る場合には、本体より目立たないものがほしい。
- ・地区ごとに、統一した視点が欲しい。その場所や歴史などの始点がほしい。
- ・市民レベルの親しみのあるものが欲しい。触れるものや上れるもの、あるいは一緒に写真に納まりたくなるようなものがほしい。
- ・遊び心のあるもの（騙し絵など）も、ある程度存在させてもいいと思う。

（５）来年度へ向けて

このプロジェクトは来年度も継続して生きたいと考えている。初年度で明らかになった点についてもう少し深掘りをし、議論を深めておくことが必要と考えている。そのため、来年度は以下のような活動をしていきたい。

- ・初年度の評価の公表とそれに対する反応の収集を継続的に行っていく。
- ・望ましいパブリックアートの設置方法の検討を行う。
- ・パブリックアートについて、設置者や作家も含めた議論の場を設ける。
- ・パブリックアートに対する市民の関心が高まるような活動を行っていく。

5-3. 参考文献・URL

本報告書をまとめるにあたって参照した文献・URLは以下の通りである。

【参考文献】

- (1) 「PUBLIC ART ヨーロッパ 50 都市の環境彫刻」、樋口正一郎著、誠文堂新光社、1996 年
- (2) 「Sculpture of a City: Philadelphia's Treasures in Bronze and Stone」、Fairmount Park Art Association 編、Walker、1974 年
- (3) 「世界の広場と彫刻 SCULPTURES IN PUBLIC PLACES」、現代彫刻懇談会編、中央公論社、1983 年
- (4) 「アーバンアート」、今井祝雄著、学芸出版社、1994 年
- (5) 「パブリックアートが街を語る」、杉村莊吉著、東洋経済新報社、1995 年
- (6) 「空間づくりにアートを活かす」、池村明生著、学芸出版社、2006 年
- (7) 「金沢市パブリックアートリーフレット」、金沢市

【参照 URL】

- (1) 「What is public art?」、http://www.fpaa.org/what_is_pa.html
- (2) 「WIKIPEDIA」、http://en.wikipedia.org/wiki/Public_art
- (3) 「YOKOHAMA ゆめおおおか」、<http://www.city.yokohama.jp/me/yumeooka/>
- (4) 「アートプロジェクト STAR LIGHTS」、<http://www.yumeooka.org/art-pro/art-pro12.html>
- (5) 「e-gallery artgene」、http://www.artgene.net/library/artworddata/a_j/faren_tachikawa.php
- (6) 「金沢市ホームページ：いいねっと金沢」、<http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/>
- (7) 「金沢観光協会ホームページ」、<http://www.kanazawa-kankoukyoukai.gr.jp/>

5-4. 報告書の執筆者

本報告書は、検討会の協力を受けて、以下のメンバーが作成を行った。なお、最終的な編集は金沢工業大学の谷が行った。

編集責任：	金沢工業大学建築系	谷 明 彦
	同	土 田 義 郎
	金沢美術工芸大学	鏑 隆 弘
	(株)東洋設計	上 坂 達 朗
	金沢工業大学谷研究室	穂 刈 英 樹
	同	内 山 健